

第4章 公共施設類型分類別の分析

本章では、施設を中分類又は小分類別に、主として利用者数やコスト、延床面積といった情報を基に分析することで、公共施設の現状を明らかにしていきます。

各図・表の見方を簡単に解説します。

【図・表例とデータの見方】

1. 施設一覧(中分類別)

小分類	地区	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	老朽化度(%)	主要建物建築年度	主要建物構造
コミュニティセンター	〇〇	1	〇〇コミュニティセンター	直営		1,932	62.86	平成 2年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	××	2	××コミュニティセンター	指定管理者	●	4,167	42.11	平成 10年度	鉄筋コンクリート
小計						6,099			
公民館	〇〇	1	〇〇中央公民館	貸付		83	104.00	昭和 37年度	鉄筋コンクリート
	〇〇	2	〇〇東地区公民館	管理委託		41	100.00	昭和 59年度	軽量鉄骨造
	△△	3	△△中央公民館	指定管理者		798	110.78	昭和 48年度	鉄骨造
	△△	4	△△地区公民館	指定管理者		105	142.07	昭和 60年度	鉄骨造
小計						1,027			
その他集会所	〇〇	1	〇〇ふるさと会館	直営		150	181.82	昭和 49年度	木造
小計						150			
合計						7,276			

◆ 公共施設類型分類別の施設の基本情報の一覧です。所在する地区と施設名称、運営主体、複合施設、延床面積、老朽化度、主要建物建築年度と構造の状況を整理しています。

運 営 主 体	施設の運営主体者を示しています。 本市が直接運営する施設は「直営」、指定管理者制度(公の施設の管理を民間事業者を含む自治体外の団体(指定管理者)に委託することができる制度)を導入している施設は「指定管理者」と表記しています。
複 合 施 設	一つの施設に複数の機能が存在する施設で、該当する施設に「●」を表示しています。建物ごとに機能が分かれている場合は、この限りではありません。
老 朽 化 度	【計算式】 ① 経過年数÷耐用年数＝【1棟毎老朽化度】 ② (A棟延床面積×A棟老朽化度+B棟延床面積×B棟老朽化度+C棟・・・)÷施設延床面積＝【1施設毎老朽化度】 ○ 100%以上の場合、経過年数が耐用年数を超えた状態にあり、数値が大きいほど老朽化が進んでいることを示します。逆に、100%未満の場合は、経過年数が耐用年数を下回っている状態にあり、指標値が低いほど新設に近いことを示します。 ○ 1つの施設の中に複数の棟がある場合は、延床面積をベースとした加重平均値として算出しています。したがって、主要建物建築年度は古くても、その他の建物が新しい施設は老朽化度 100%未満の数値として算出されるなどの場合があります。 ○ 耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に準拠しています。なお、減価償却は、あくまで適切なコスト計算のために実施するものであり、耐用年数を超えたとしても、直ちに施設を安全に使用できない訳ではありません。
主要建物建築年度	施設内の主要建物(学校の校舎等施設の主な機能を持つ建物)が建築された年度を表記しています。
主 要 建 物 構 造	施設内の主要建物の建築構造を表記しています。グラウンドや公園等の屋外施設の場合は、施設内にある事務所やトイレ等の構造を表記しています。

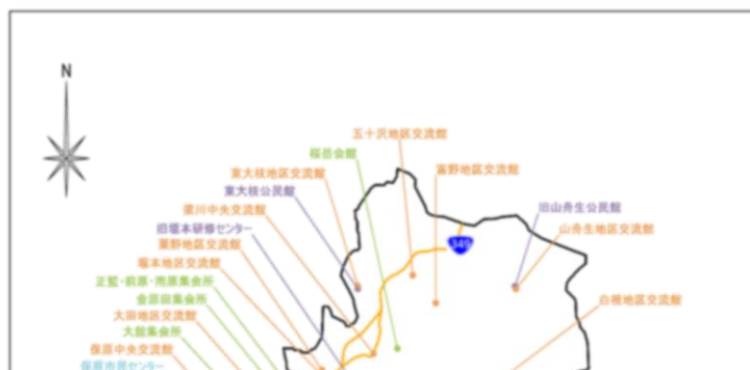
2. 利用度・コスト一覧(中分類別)

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者 数 (人)	利用者 1人当たりの コスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
コミュニティセンター											
〇〇コミュニティセンター	3,810	11,816	15,627	7,433	2,102	3,677	19,304	2,597	65	19,239	—
× ×コミュニティセンター	3,819	6	3,826	5,316	719	813	4,640	872	512	4,127	0
小計	9,516	12,936	22,453	43,058	521	9,835	32,288	749	1,248	31,040	0
公民館											
〇〇中央公民館	5,023	6,005	11,028	41,722	264	3,974	15,003	359	61	14,941	—
〇〇東地区公民館	2,938	1,838	4,777	5,514	866	2,491	7,268	1,318	433	6,835	—
△△中央公民館	6,063	498	6,562	52,679	124	8,929	15,491	294	198	15,293	0
△△地区公民館	1,012	520	1,533	8,580	178	2,358	3,891	453	0	3,891	0
小計	54,463	65,091	119,555	326,507	366	65,967	185,522	568	2,725	182,796	0
その他集会所											
〇〇ふるさと会館	16,954	7,785	24,740	38,323	645	7,282	32,023	835	5,015	27,007	—
小計	16,988	9,259	26,248	38,323	684	10,402	36,650	956	5,015	31,634	0
合計	82,498	91,156	173,655	412,688	420	91,003	264,659	641	9,019	255,639	0

- ◆ 施設ごとに利用度やコストを明らかにしています。
- ◆ 維持管理費と事業運営費の合計をコスト、建物の老朽化の進行を表す減価償却費を含めたコストをフルコスト、フルコストから利用者等から受け取る収入を差し引いたものをネットコストとして整理しています。

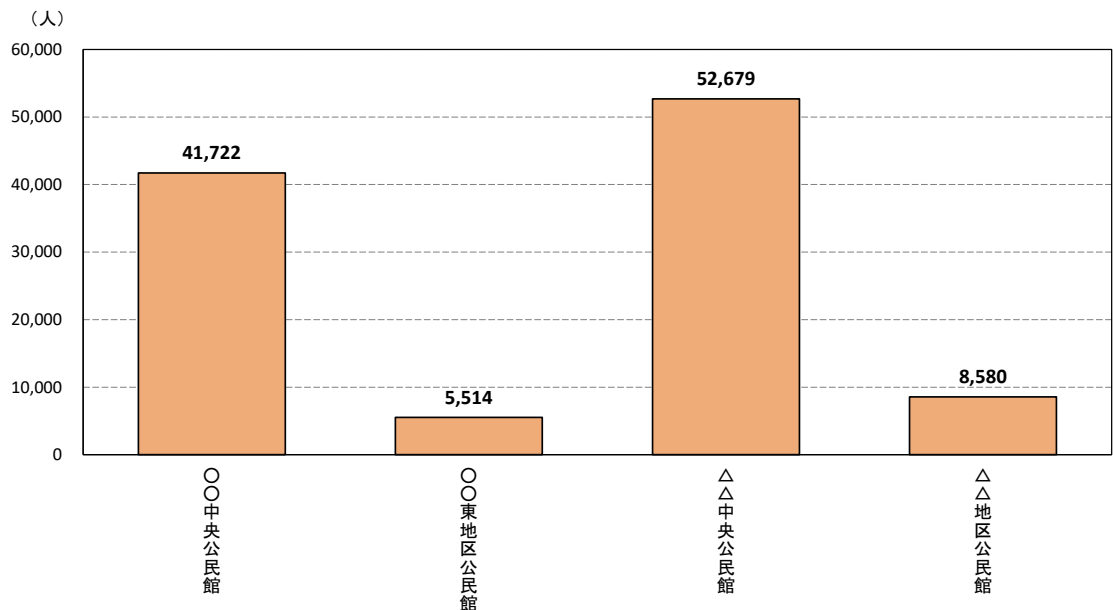
維持管理費	改修・修繕にかかる費用(修繕費)とランニングコスト(光熱水費等、土地建物賃貸借料)です。
事業運営費	事業を運営するためにかかる費用(人件費、運営業務委託費等)です。
コスト	維持管理費＋事業運営費 支出ベースの年間のコストを表しています。
利用者数	平成 26 年度に施設を利用した人数です。
減価償却費	建物の取得価額を耐用年数で除した額で、建設コストの毎年度の負担額です。
フルコスト	維持管理費＋事業運営費＋減価償却費 減価償却費を含めた発生ベースの年間のコストを表しています。
収入	施設使用料、手数料等受益者負担として収入した金額です。
ネットコスト	維持管理費＋事業運営費＋減価償却費－収入 フルコストから収入を控除したもので、発生コストの純額を表しています。
指定管理料	市から指定管理者へ支払われる委託費です。

3. 施設配置状況(中分類別)



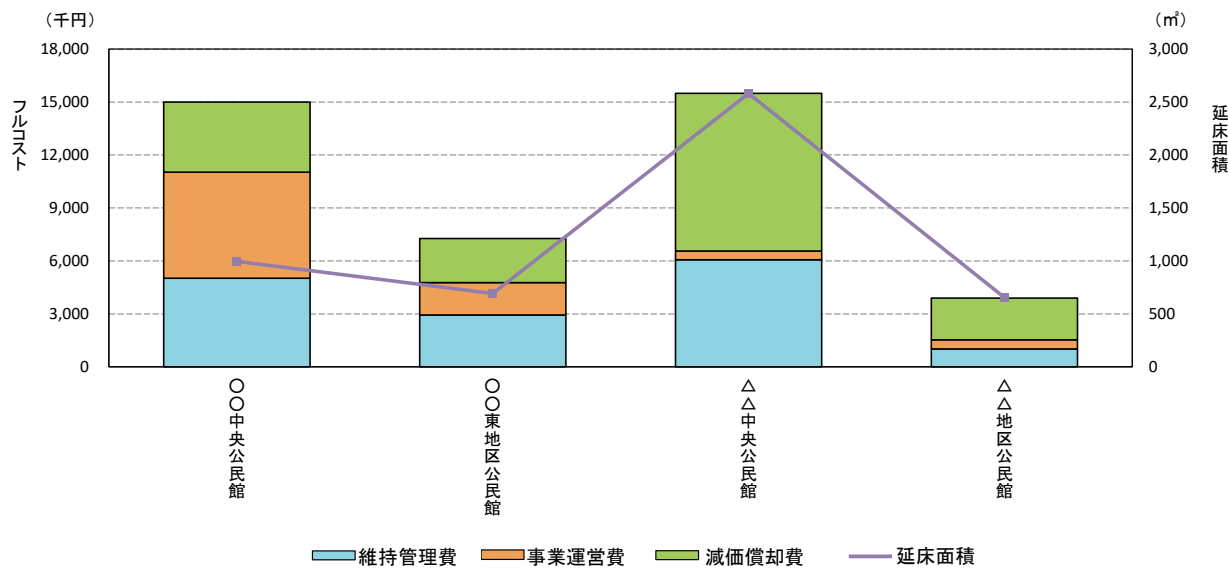
- ◆ 公共施設類型分類別に該当施設の配置状況を地図情報で明らかにしています。
- ◆ 地図情報をもとに、公共施設の配置が適切であるかどうかの検討の参考とします。

4. 利用者数(小分類別)

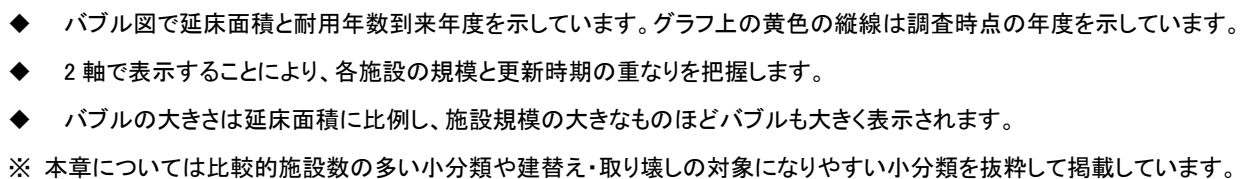
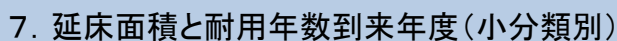


- ◆ 棒グラフで公共施設類型分類別に各施設の利用者数を示しています。
 - ◆ グラフ形式で比較分析を行うことで、利用度が低い施設の特定等に役立てます。
- ※ 分類内に 1 施設のみの場合は、比較の目的を果たさないためグラフの掲載無しとしています。

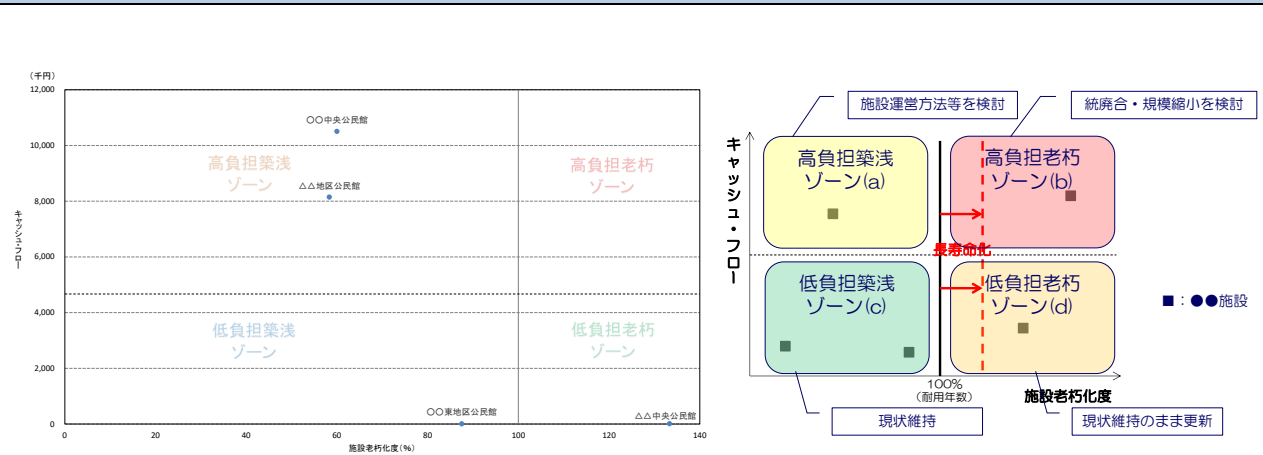
5. フルコストと延床面積(小分類別)



- ◆ 棒グラフでフルコストとその内訳、折れ線で延床面積を示しています。
 - ◆ グラフ形式で比較分析を行うことで、類型内における各施設の規模や財政的な影響を把握します。
- ※ 分類内に 1 施設のみの場合は、比較の目的を果たさないためグラフの掲載無しとしています。



8. キャッシュ・フローと老朽化度（小分類別）



- ◆ 散布図でキャッシュ・フローと老朽化度を示しています。
 - ◆ 縦に引かれた実線は老朽化度 100%を示します。これより右側は耐用年数を経過した施設であることを、左側はまだ耐用年数未経過であることを示します。建設時は左端の 0%からスタートし、毎年経過するごとに徐々に右側に移動します。
 - ◆ 横に引かれた点線は、キャッシュ・フローの平均値を示します。施設によっては収入超過となるものがあり、その場合は、マイナスの値として示されます。
 - ◆ キャッシュ・フローの平均値と老朽化度 100%の水準で 4 象限を作り、施設がプロットされたゾーンごとに公費負担度合いと老朽化度を一目で把握します。老朽化度 100%を超えているもの(ないし 100%に近いもの)は更新等の対応を検討すべき施設です。また、老朽化度が 100%未満であっても、キャッシュ・フローが大きく、高コスト体質(公費負担が重い)とされるものは、早急にコストの削減等を検討し、施設利用期間におけるトータルコストの圧縮を検討する必要があります。
- ※ 分類内に 1 施設のみの場合は、比較の目的を果たさないためグラフの掲載無しとしています。

キャッシュ・フロー	維持管理費＋事業運営費－収入 コストから収入を控除したもので、支出コストの純額を表しています、いわゆる、毎年の公費負担額を表しています。プラスは支出超過の状態を、マイナスは収入超過の状態を表しています。
-----------	--

1 集会施設の状況

表 4-1-1 集会施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
公民館	本庁	1	中央公民館	指定管理者	●	1,046	68.0	昭和 55年度	鉄筋コンクリート
	向能代	2	向能代公民館	直営	●	397	80.0	昭和 49年度	鉄筋コンクリート
	扇淵	3	東部公民館	直営	●	483	78.9	昭和 52年度	鉄筋コンクリート
	檜山	4	檜山公民館	直営	●	538	16.7	平成 22年度	木造
	鶴形	5	鶴形公民館	直営	●	209	125.0	昭和 59年度	木造
	浅内	6	南部公民館	直営	●	514	66.7	平成 10年度	木造
	ニツ井	7	ニツ井公民館	直営		2,085	74.3	昭和 52年度	鉄筋コンクリート
	ニツ井	8	ニツ井公民館切石分館	直営	●	251	281.8	昭和 27年度	木造
	ニツ井	9	ニツ井公民館荷上場分館	直営		207	127.3	昭和 61年度	木造
	ニツ井	10	ニツ井公民館田代分館	直営	●	208	270.8	昭和 24年度	木造
	ニツ井	11	ニツ井公民館仁鮎分館	直営	●	276	281.8	昭和 27年度	木造
	ニツ井	12	ニツ井公民館天神分館	直営	●	255	290.9	昭和 25年度	木造
	ニツ井	13	ニツ井公民館種梅分館	直営	●	39	150.0	昭和 56年度	木造
	ニツ井	14	ニツ井公民館ニツ井分館	直営		534	95.8	平成 3年度	木造
	ニツ井	15	ニツ井公民館馬子岱分館	直営		86	202.8	昭和 55年度	木造
	ニツ井	16	ニツ井公民館濁川分館	直営		206	258.3	昭和 27年度	木造
	富根	17	ニツ井公民館富根分館	直営	●	163	383.3	大正 11年度	木造
小計						7,496			
集会所施設	本庁	1	勤労青少年ホーム	指定管理者		1,111	86.8	昭和 56年度	鉄筋コンクリート
	本庁	2	働く婦人の家	指定管理者		711	84.2	昭和 57年度	鉄筋コンクリート
	本庁	3	保坂福祉会館松寿園	指定管理者		401	71.7	昭和 54年度	鉄筋コンクリート
	本庁	4	サン・ウッド能代	直営		1,319	173.3	昭和 63年度	木造
	常盤	5	常盤地域連携施設	直営	●	326	50.0	平成 15年度	木造
	ニツ井	6	ニツ井伝承ホール	直営		1,006	122.5	昭和 62年度	木造
	ニツ井	7	農林漁家婦人活動促進施設	指定管理者		407	81.8	平成 8年度	木造
	ニツ井	8	種梅ふるさとの家	指定管理者		159	59.1	平成 13年度	木造
	ニツ井	9	竹原集会所	直営		55	63.6	平成 12年度	木造
	ニツ井	10	山根集会所	直営		62	154.6	昭和 55年度	木造
	富根	11	ブナの森ふれあい伝承館	指定管理者		503	55.1	平成 14年度	木造
小計						6,061			
合計						13,557			

公民館は、市内に 17 施設あり、延床面積は合計 7,496 ㎡です。

集会所施設は、市内に 11 施設あり、延床面積は合計 6,061 ㎡です。

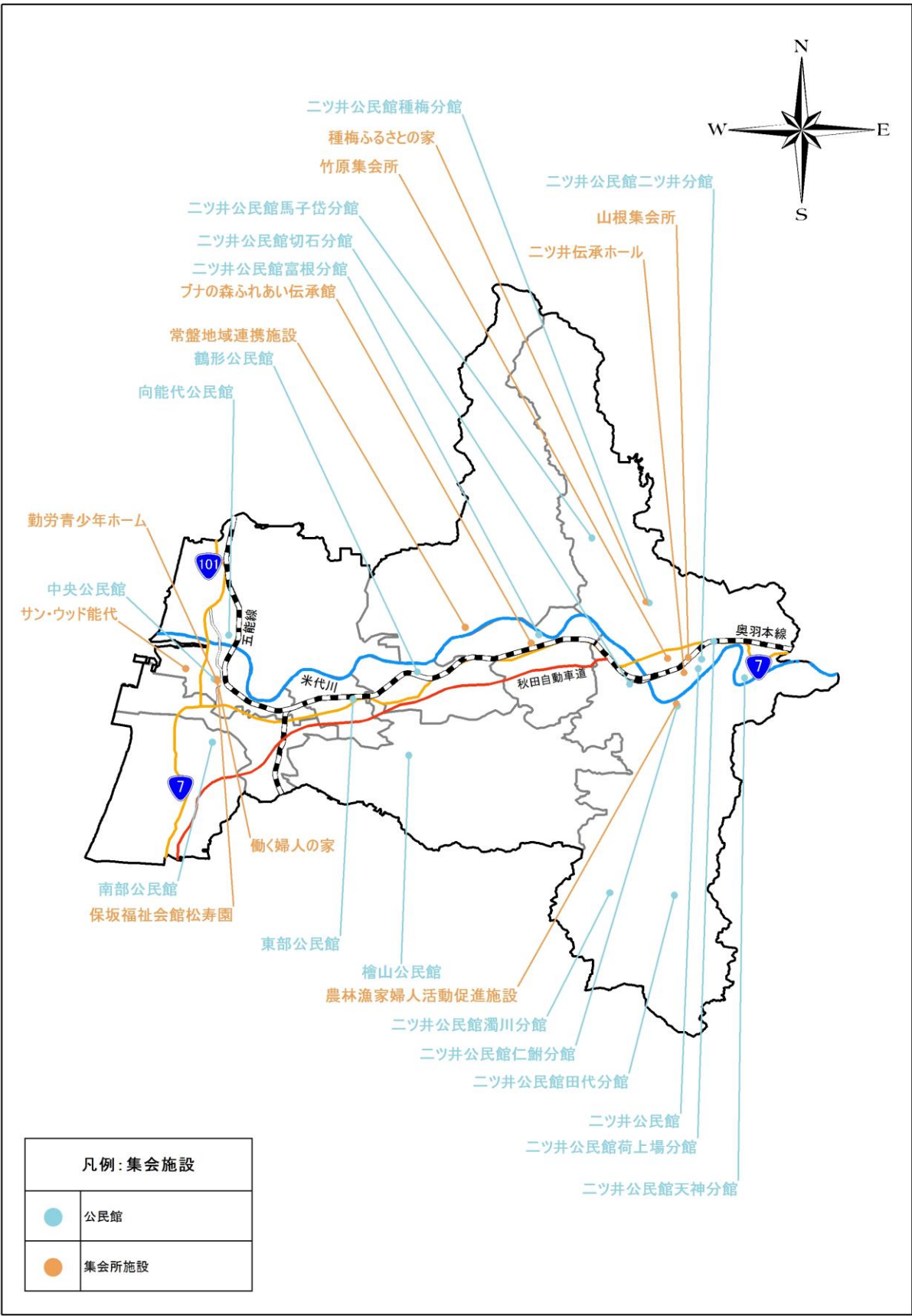
表 4-1-2 集会施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
公民館											
中央公民館	25,149	12,957	38,107	33,276	1,145	3,766	41,874	1,258	2,036	39,838	23,842
向能代公民館	3,570	8,887	12,457	9,886	1,260	1,430	13,888	1,404	208	13,679	—
東部公民館	4,305	9,767	14,072	7,777	1,809	1,684	15,757	2,026	597	15,160	—
檜山公民館	3,045	9,782	12,827	4,633	2,768	4,580	17,407	3,757	135	17,272	—
鶴形公民館	2,126	9,290	11,417	4,941	2,310	0	11,417	2,310	86	11,331	—
南部公民館	4,004	9,352	13,356	17,404	767	7,375	20,732	1,191	522	20,209	—
ニツ井公民館	15,431	39,977	55,408	19,985	2,772	7,429	62,838	3,144	1,220	61,617	—
ニツ井公民館切石分館	0	0	0	45	0	0	0	0	0	0	—
ニツ井公民館荷上場分館	1,160	36	1,197	1,892	632	0	1,197	632	4	1,192	—
ニツ井公民館田代分館	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	—
ニツ井公民館仁鮎分館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
ニツ井公民館天神分館	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	—
ニツ井公民館種梅分館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
ニツ井公民館ニツ井分館	1,595	3,973	5,568	13,293	418	2,130	7,699	579	760	6,939	—
ニツ井公民館馬子岱分館	18	1	19	331	58	0	19	58	4	14	—
ニツ井公民館濁川分館	40	0	40	54	747	0	40	747	0	39	—
ニツ井公民館富根分館	387	6,495	6,883	0	0	0	6,883	0	119	6,763	—
小計	60,834	110,522	171,357	113,567	1,508	28,399	199,756	1,758	5,698	194,057	23,842
集会所施設											
勤労青少年ホーム	11,606	5,459	17,066	21,353	799	3,898	20,965	981	1,431	19,533	6,081
働く婦人の家	11,317	5,547	16,865	14,699	1,147	2,494	19,359	1,317	623	18,735	7,645
保坂福祉会館松寿園	1,001	2,344	3,346	8,140	411	1,574	4,920	604	354	4,566	2,792
サン・ウッド能代	4,965	7,042	12,008	43,608	275	0	12,008	275	2,479	9,528	—
常盤地域連携施設	519	9,503	10,022	4,629	2,165	1,422	11,444	2,472	85	11,359	—
ニツ井伝承ホール	1,162	2,642	3,805	3,226	1,179	17	3,822	1,184	257	3,564	—
農林漁家婦人活動促進施設	486	791	1,278	1,800	710	4,475	5,753	3,196	102	5,650	1,246
種梅ふるさとの家	165	7	172	446	387	1,540	1,713	3,842	0	1,713	0
竹原集会所	0	0	0	—	—	480	480	—	0	480	—
山根集会所	0	8	8	—	—	0	8	—	0	8	—
ブナの森ふれあい伝承館	1,032	1,915	2,948	2,550	1,156	4,084	7,032	2,757	134	6,898	2,355
小計	32,257	35,262	67,520	100,451	672	19,988	87,509	871	5,468	82,040	20,119
合計	93,092	145,785	238,877	214,018	1,116	48,388	287,265	1,342	11,167	276,097	43,961

公民館の利用者数の合計は113,567人です。これらの施設にかかるフルコストは199,756千円です。

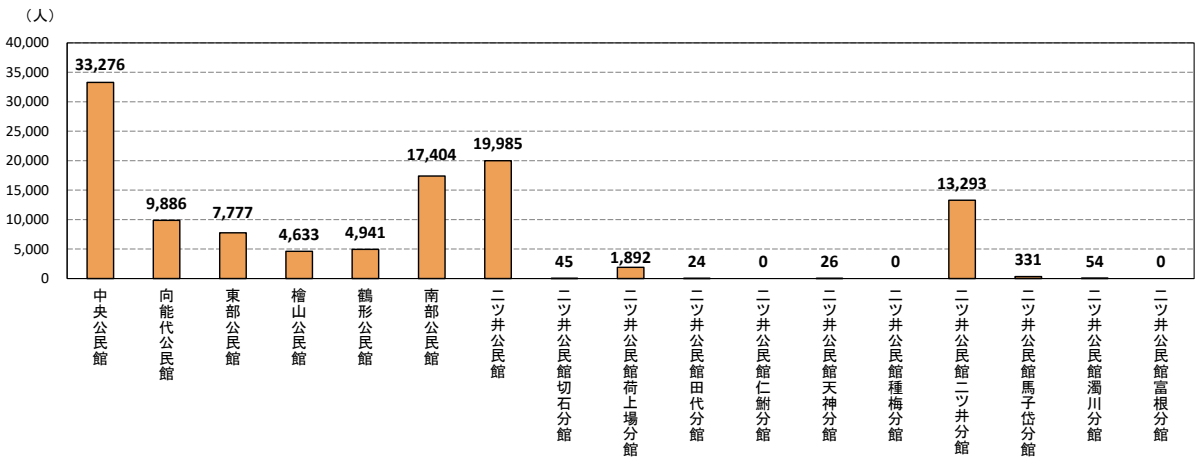
集会所施設の利用者数の合計は100,451人です。これらの施設にかかるフルコストは87,509千円です。

図 4-1-1 集会施設の配置状況



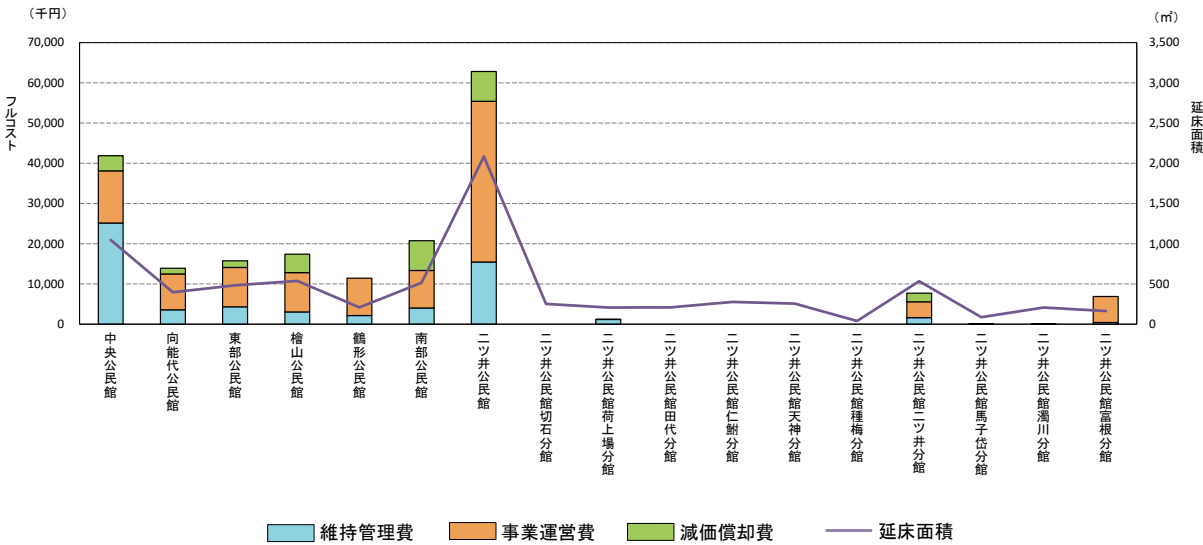
① 〔集会施設〕 公民館の状況

図 4-1-2 公民館の利用者数(平成 26 年度)



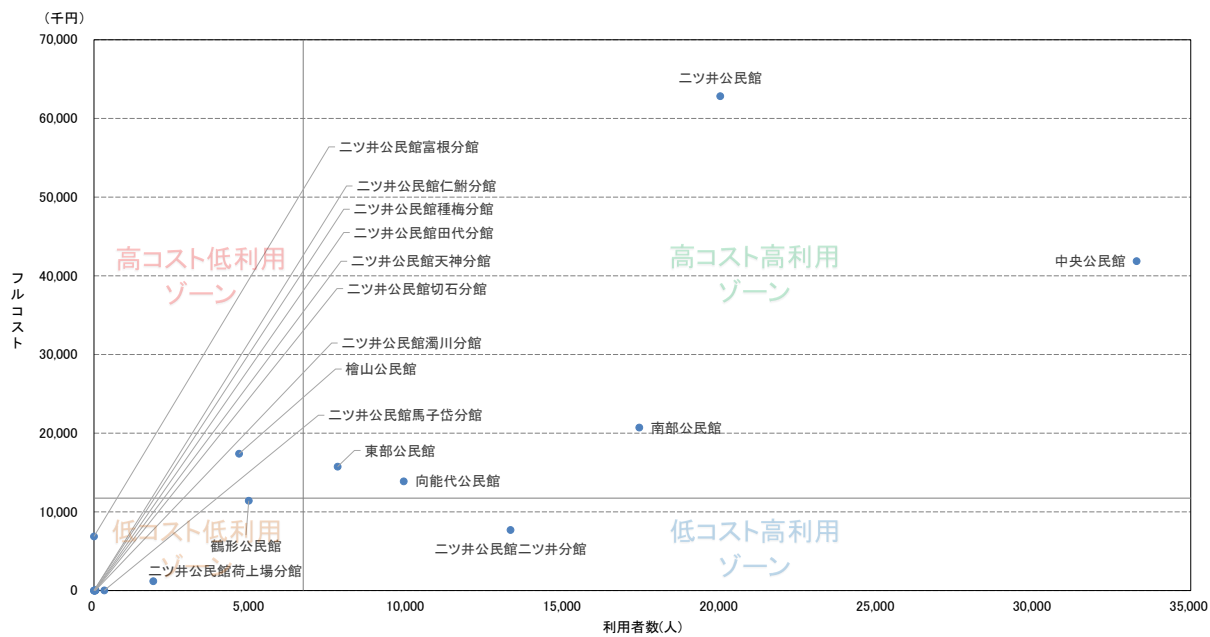
公民館のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、中央公民館（33,276 人）であり、2 番目はニツ井公民館（19,985 人）です。

図 4-1-3 公民館のフルコストと延床面積



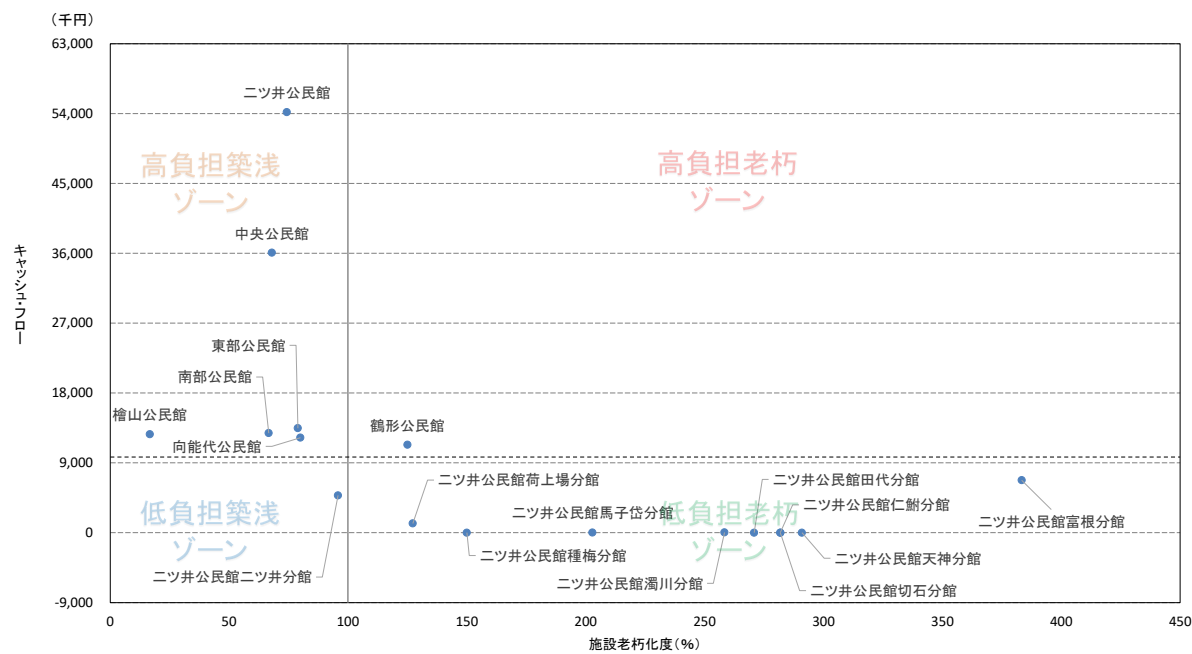
公民館のうち、延床面積が最も広い施設は、ニツ井公民館（2,085 m²）であり、2 番目は中央公民館（1,046 m²）です。また、フルコストが最も高い施設は、ニツ井公民館（62,838 千円）であり、2 番目は中央公民館（41,874 千円）です。

図 4-1-4 公民館の利用者数とフルコスト



ニツ井公民館は利用者数に対するフルコストが他の施設に比べて高く、利用者数が同程度の南部公民館の 7.3 倍、利用者数が 3 万人を超える中央公民館の 1.5 倍となっています。

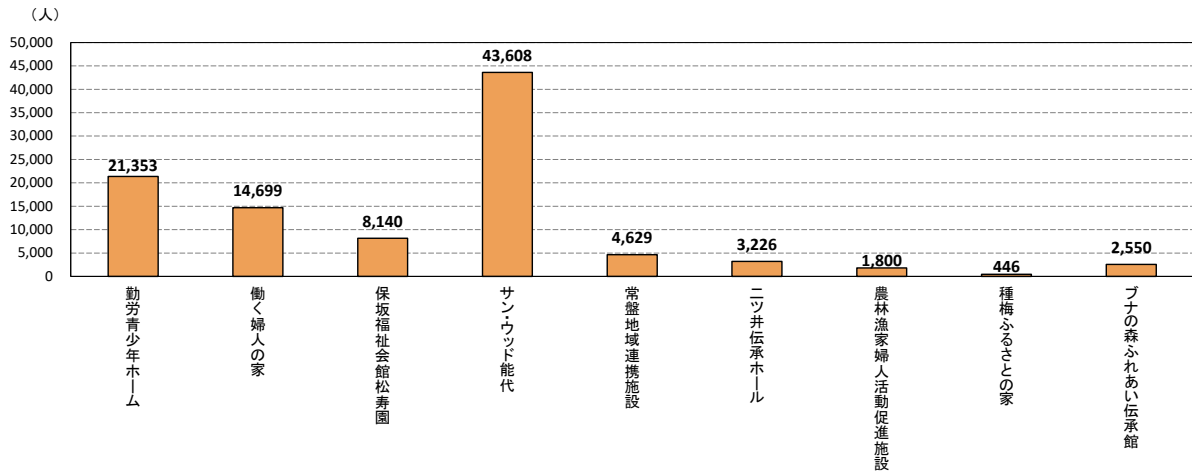
図 4-1-5 公民館のキャッシュ・フローと老朽化度



半数以上の施設で老朽化度が 100%を超えており、施設の老朽化が進んでいます。キャッシュ・フローの負担は、ニツ井公民館、中央公民館が突出しています。

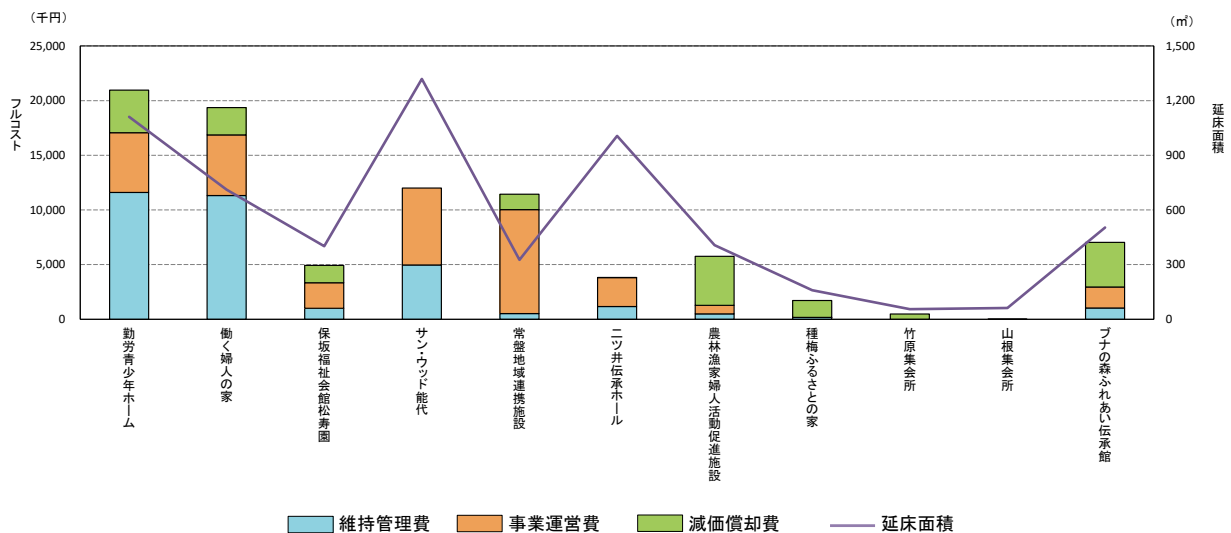
② 〔集会施設〕 集会所施設の状況

図 4-1-6 集会所施設の利用者数(平成 26 年度)



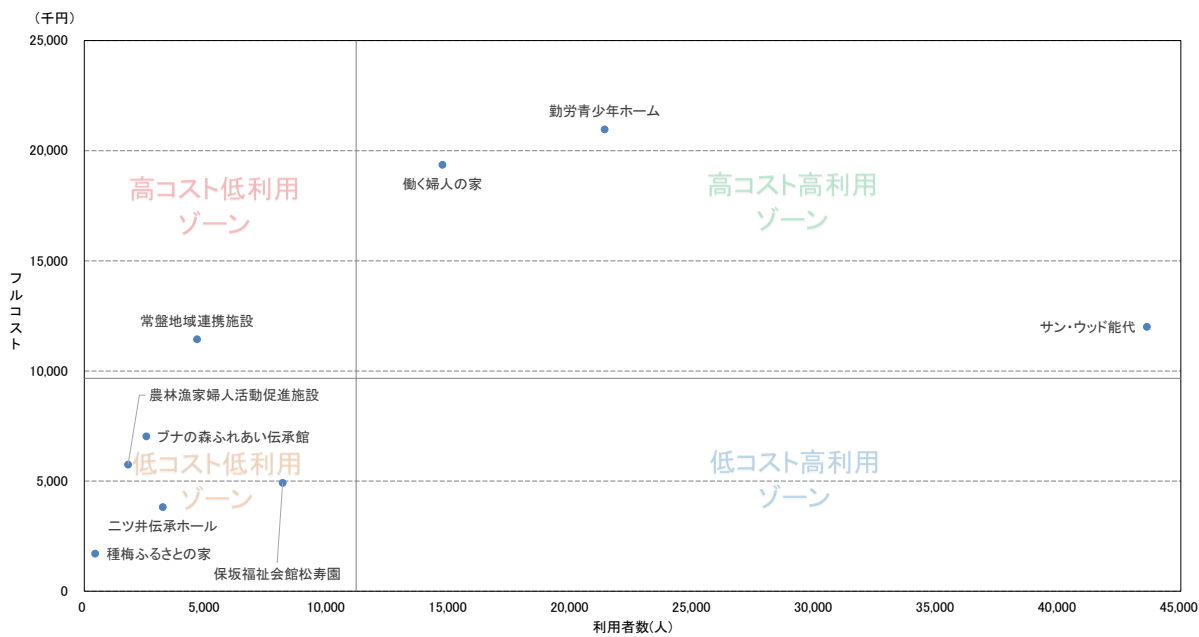
集会所施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、サン・ウッド能代(43,608人)であり、2番目は勤労青少年ホーム(21,353人)です。最も利用者数が少ない施設は、種梅ふるさとの家(446人)であり、2番目は農林漁家婦人活動促進施設(1,800人)です。

図 4-1-7 集会所施設のフルコストと延床面積



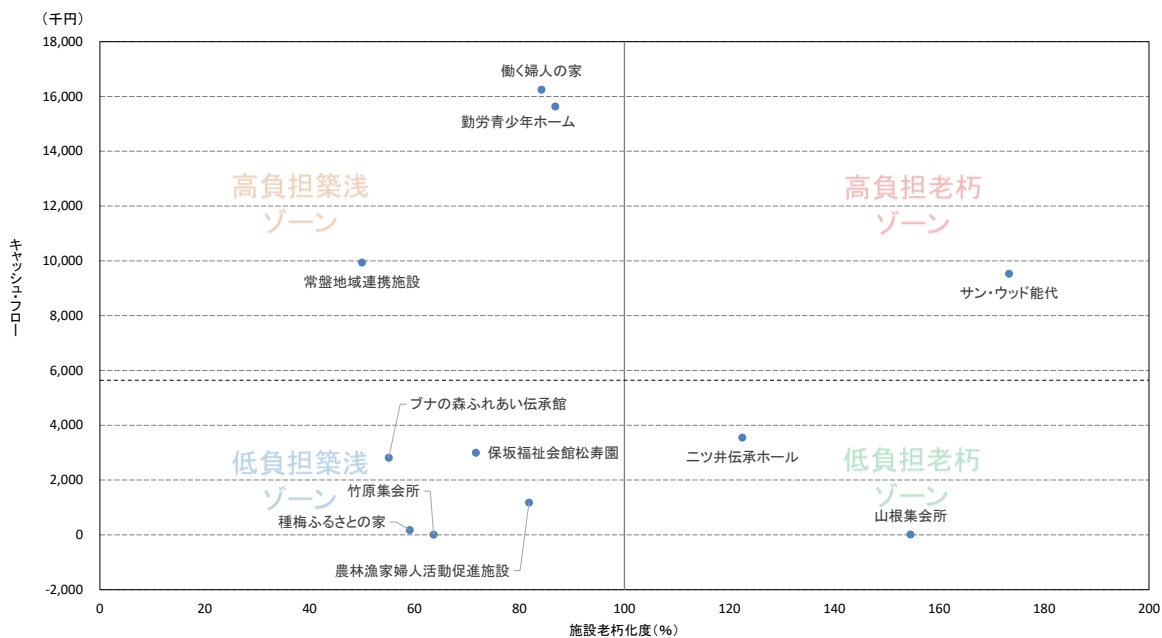
集会所施設のうち、延床面積が最も広いのは、サン・ウッド能代(1,319㎡)であり、2番目は勤労青少年ホーム(1,111㎡)です。また、フルコストが最も高いのは、勤労青少年ホーム(20,965千円)であり、2番目は働く婦人の家(19,359千円)です。

図 4-1-8 集会所施設の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、働く婦人の家、勤労青年ホーム、サン・ウッド能代で 10,000 人を超えています。高コストとなっている勤労青少年ホームのフルコストは、利用者数が約 2 倍のサン・ウッド能代の 1.7 倍となっています。

図 4-1-9 集会所施設のキャッシュ・フローと老朽化度



集会所施設ではサン・ウッド能代の老朽化度 170%を超えており、キャッシュ・フローの負担も大きくなっています。また勤労青少年ホーム、働く婦人の家、常盤地域連携施設では、老朽化度は 100%に満たないまでも、キャッシュ・フローの負担が大きくなっています。

2 文化施設の状況

表 4-2-1 文化施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
文化会館	本庁	1	文化会館	指定管理者	●	5,017	72.9	昭和 55年度	鉄筋コンクリート
小計						5,017			
合計						5,017			

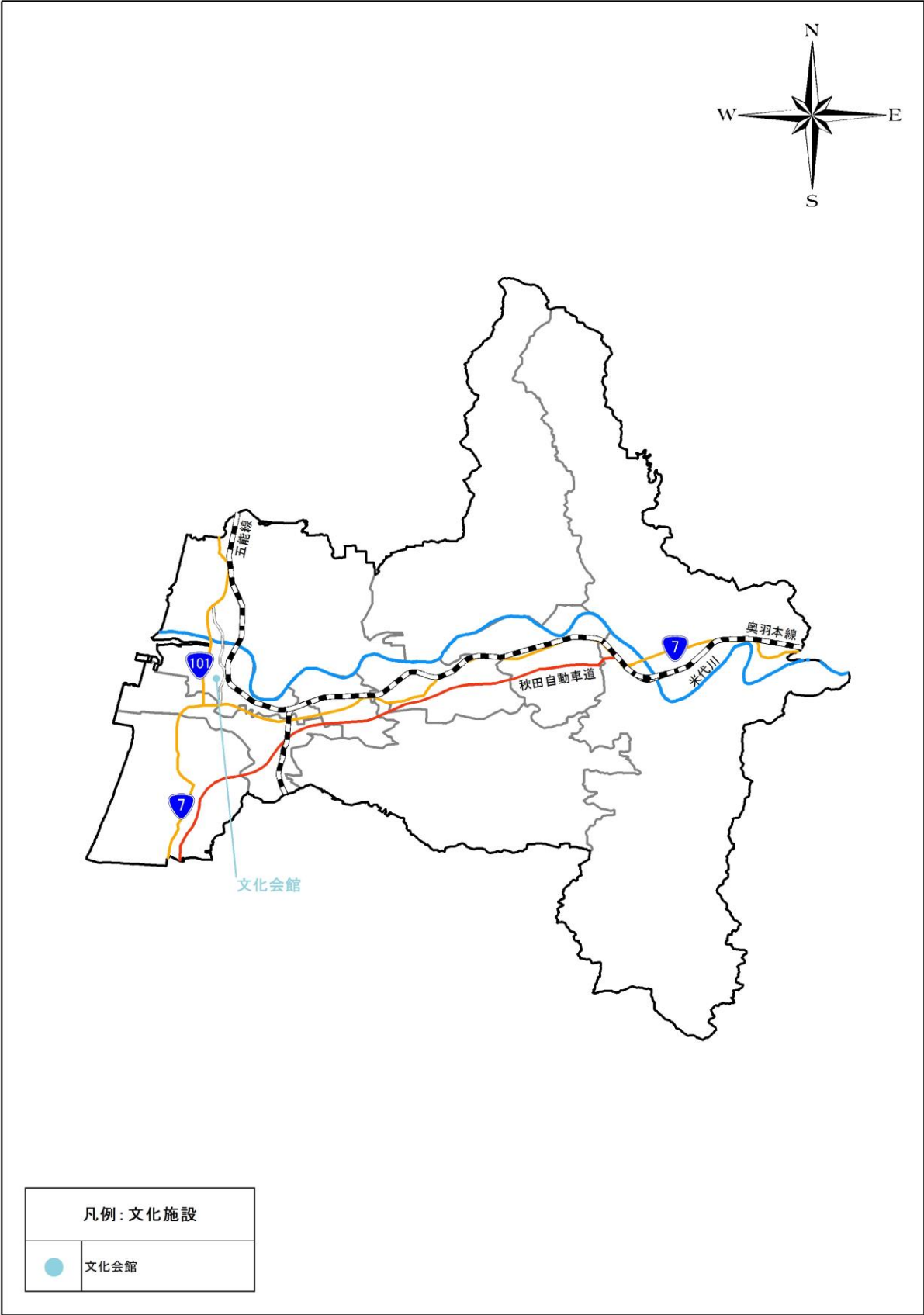
文化会館は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 5,017 ㎡です。

表 4-2-2 文化施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
文化会館											
文化会館	81,832	30,817	112,650	104,621	1,076	19,577	132,227	1,263	16,726	115,501	67,766
小計	81,832	30,817	112,650	104,621	1,076	19,577	132,227	1,263	16,726	115,501	67,766
合計	81,832	30,817	112,650	104,621	1,076	19,577	132,227	1,263	16,726	115,501	67,766

文化会館の利用者数の合計は 104,621 人です。これらの施設にかかるフルコストは 132,227 千円です。

図 4-2 文化施設の配置状況



3 図書館の状況

表 4-3-1 図書館の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
図書館	本庁	1	図書館	直営		2,198	47.7	平成 2 年度	鉄筋コンクリート
小計						2,198			
合計						2,198			

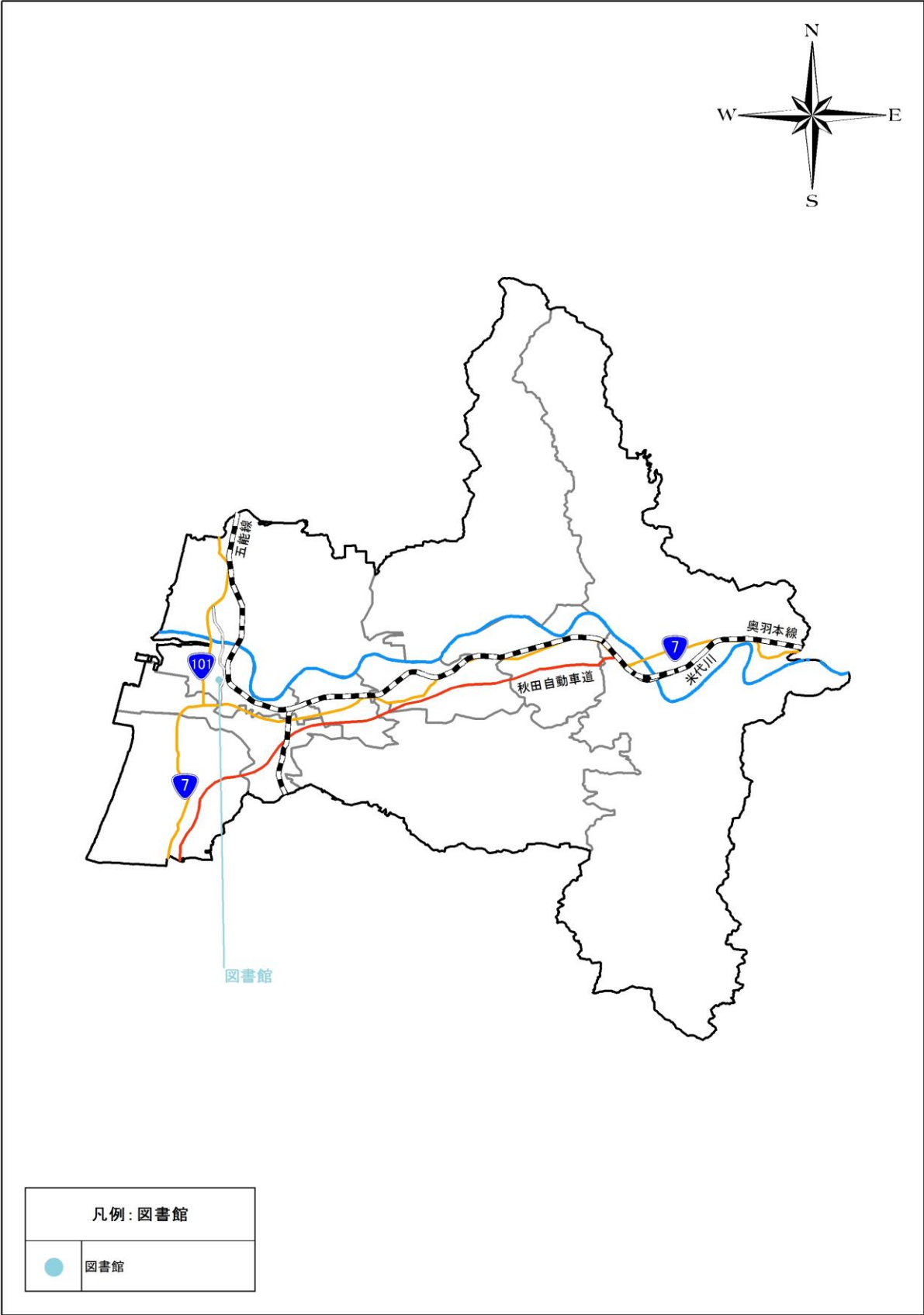
図書館は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 2,198 ㎡です。平成 27 年度より指定管理者制度を導入し、運営コストの削減に努めています。

表 4-3-2 図書館の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
図書館											
図書館	13,056	52,915	65,971	90,115	732	9,954	75,926	842	14	75,911	—
小計	13,056	52,915	65,971	90,115	732	9,954	75,926	842	14	75,911	0
合計	13,056	52,915	65,971	90,115	732	9,954	75,926	842	14	75,911	0

図書館の利用者数の合計は 90,115 人です。これらの施設にかかるフルコストは 75,926 千円です。

図 4-3 図書館の配置状況



4 博物館等の状況

表 4-4-1 博物館等の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
資料館等	本庁	1	子ども館	直営		1,498	56.0	昭和 61年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	2	二ツ井町歴史資料館	直営		775	45.4	平成 4年度	鉄筋コンクリート
小計						2,273			
合計						2,273			

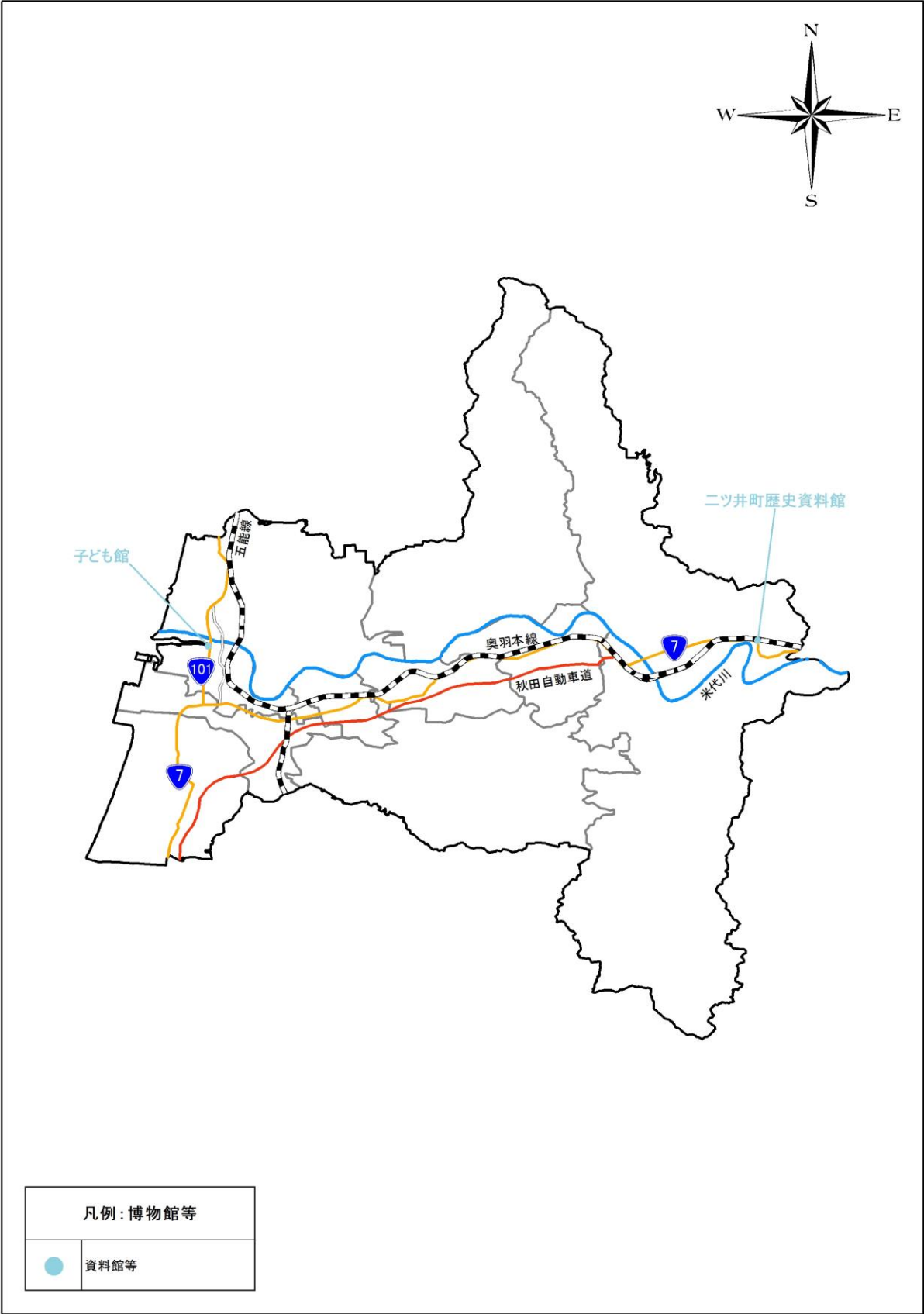
資料館等は、市内に 2 施設あり、延床面積は合計 2,273 ㎡です。

表 4-4-2 博物館等の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
資料館等											
子ども館	15,197	26,839	42,036	36,242	1,159	6,594	48,630	1,341	674	47,956	—
二ツ井町歴史資料館	3,812	100	3,913	7,703	507	4,037	7,950	1,032	4	7,946	—
小計	19,010	26,939	45,949	43,945	1,045	10,631	56,580	1,287	678	55,902	0
合計	19,010	26,939	45,949	43,945	1,045	10,631	56,580	1,287	678	55,902	0

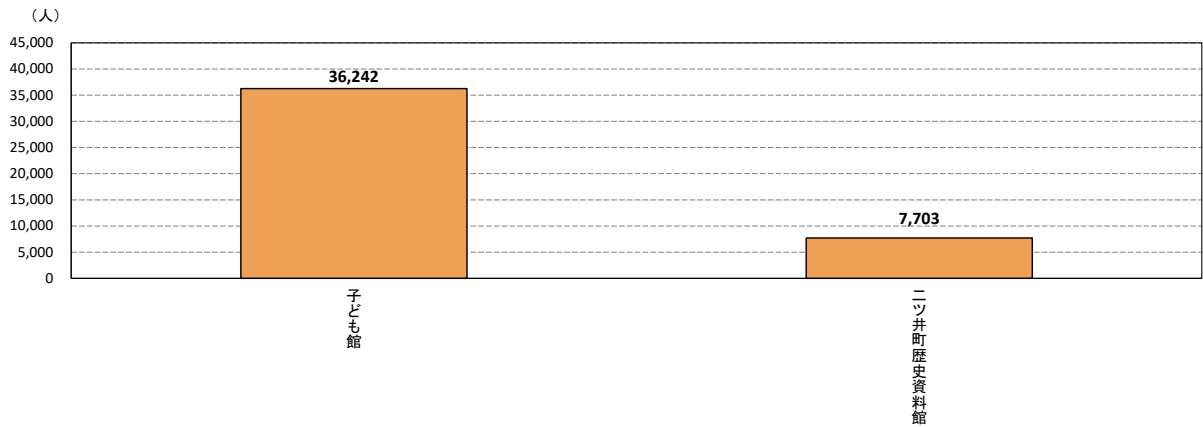
資料館等の利用者数の合計は 43,945 人です。これらの施設にかかるフルコストは 56,580 千円です。

図 4-4-1 博物館等の配置状況



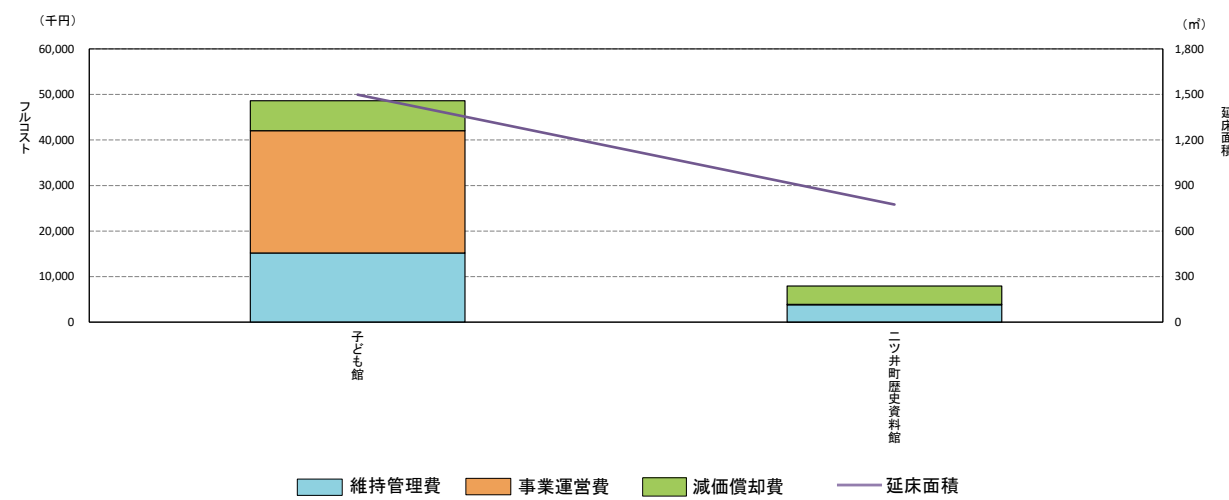
① 〔博物館等〕資料館等の状況

図 4-4-2 資料館等の利用者数(平成 26 年度)



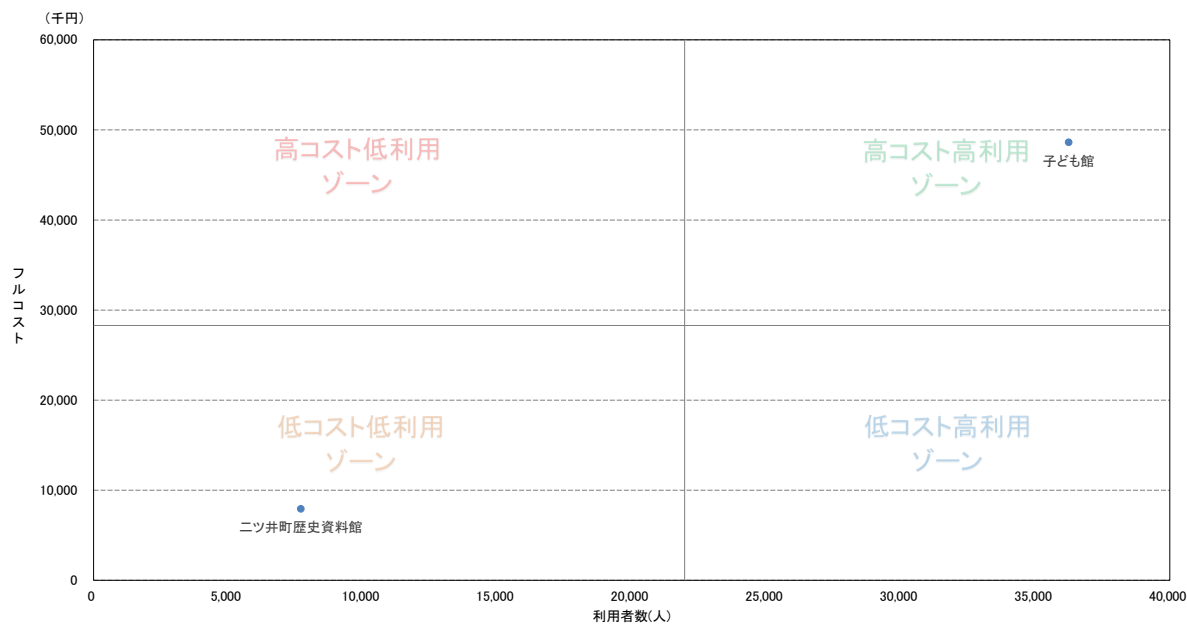
資料館等の年間の利用者数は、子ども館が 36,242 人であり、ニツ井町歴史資料館が 7,703 人です。

図 4-4-3 資料館等のフルコストと延床面積



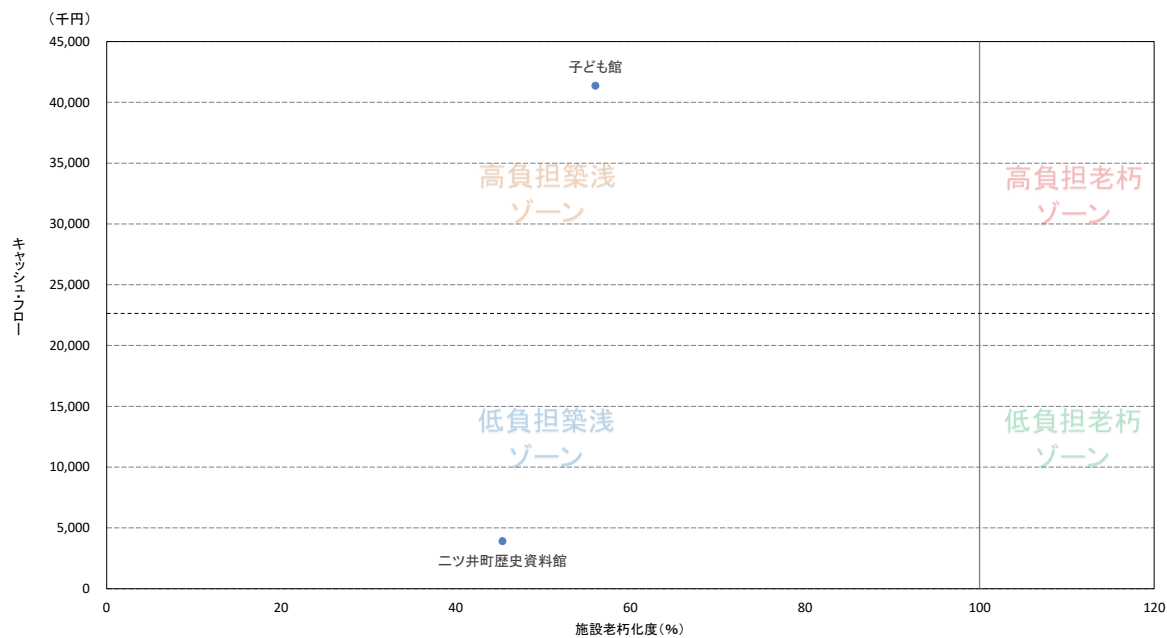
資料館等の延床面積は、子ども館が 1,498 m²であり、ニツ井町歴史資料館が 775 m²です。また、フルコストは、子ども館が 48,630 千円であり、ニツ井町歴史資料館が 7,950 千円です。

図 4-4-4 資料館等の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、子ども館で 36,242 人、ニツ井町歴史資料館で 7,703 人となっています。利用者数とフルコストの関係では、子ども館は高コスト高利用となっており、ニツ井町歴史資料館は低コスト低利用となっています。

図 4-4-5 資料館等のキャッシュ・フローと老朽化度



資料館等ではいずれも老朽化度は低くなっていますが、子ども館のキャッシュ・フローの負担は大きくなっています。

5 スポーツ施設の状況

表 4-5-1 スポーツ施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
体育館	本庁	1	総合体育館	指定管理者		6,998	44.7	平成 5年度	鉄筋コンクリート
	本庁	2	市民体育館	指定管理者		2,532	114.5	昭和 36年度	鉄筋コンクリート
	向能代	3	B&G海洋センター	指定管理者		1,828	74.2	昭和 55年度	鉄筋コンクリート
	向能代	4	土床体育館	指定管理者		1,350	52.9	平成 8年度	鉄骨造
	二ツ井	5	二ツ井町総合体育館	指定管理者		7,177	33.5	平成 17年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	6	荷上場体育館	指定管理者		738	46.8	平成 4年度	鉄筋コンクリート
小計						20,622			
プール	本庁	1	市民プール	指定管理者		1,498	97.2	昭和 56年度	鉄骨造
小計						1,498			
テニスコート	本庁	1	公園テニスコート	指定管理者		30	140.0	平成 5年度	木造
	向能代	2	落合テニスコート	指定管理者		230	94.2	平成 5年度	木造
	二ツ井	3	二ツ井テニスコート	指定管理者		73	87.5	平成 5年度	木造
小計						333			
野球場	本庁	1	市民球場	指定管理者		38	376.7	昭和 29年度	木造
	向能代	2	能代球場	指定管理者		989	62.1	昭和 59年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	向能代	3	誠邦園球場	指定管理者		0	-	昭和 60年度	
	向能代	4	落合第一球場	指定管理者		31	114.1	昭和 58年度	軽量鉄骨造
	向能代	5	落合三面球場	指定管理者		67	70.5	平成 23年度	木造
	浅内	6	赤沼球場	指定管理者		222	56.0	昭和 61年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	7	二ツ井球場	指定管理者		493	67.6	昭和 61年度	鉄筋コンクリート
小計						1,841			
その他 スポーツ施設	本庁	1	陸上競技場	指定管理者		401	22.1	平成 22年度	鉄筋コンクリート
	向能代	2	弓道場	指定管理者		169	111.2	昭和 61年度	木造
	二ツ井	3	旧切石小学校スキー場ヒュッテ	貸付		58	252.9	昭和 46年度	木造
小計						627			
合計						24,921			

※体育館のうち、市民体育館は耐震基準を満たしていないため、平成 27 年 12 月 17 日から使用を禁止しています。

体育館は、市内に 6 施設あり、延床面積は合計 20,622 ㎡です。

プールは、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 1,498 ㎡です。

テニスコートは、市内に 3 施設あり、延床面積は合計 333 ㎡です。

野球場は、市内に 7 施設あり、延床面積は合計 1,841 ㎡です。

その他スポーツ施設は、市内に 3 施設あり、延床面積は合計 627 ㎡です。

表 4-5-2 スポーツ施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
体育館											
総合体育館	14,997	45,059	60,057	91,560	655	58,432	118,489	1,294	7,142	111,346	61,279
市民体育館	1,905	7,892	9,798	22,112	443	0	9,798	443	1,278	8,520	8,520
B&G海洋センター	2,101	7,751	9,853	27,672	356	7,148	17,001	614	1,420	15,580	8,432
土床体育館	1,792	835	2,627	13,709	191	8,027	10,655	777	501	10,153	2,125
二ツ井町総合体育館	8,237	14,463	22,701	66,967	338	28,420	51,121	763	2,641	48,479	20,089
荷上場体育館	464	3,703	4,168	5,245	794	2,922	7,090	1,351	1,427	5,663	2,740
小計	29,499	79,706	109,205	227,265	480	104,950	214,156	942	14,412	199,744	103,188
プール											
市民プール	6,422	6,732	13,154	6,727	1,955	1,558	14,713	2,187	337	14,375	12,816
小計	6,422	6,732	13,154	6,727	1,955	1,558	14,713	2,187	337	14,375	12,816
テニスコート											
公園テニスコート	223	403	627	5,832	107	0	627	107	311	315	315
落合テニスコート	432	786	1,218	4,895	248	1,159	2,378	485	287	2,090	931
二ツ井テニスコート	578	2,614	3,192	5,894	541	707	3,900	661	353	3,546	2,839
小計	1,233	3,805	5,038	16,621	303	1,867	6,905	415	952	5,952	4,085
野球場											
市民球場	71	599	671	7,115	94	0	671	94	60	610	610
能代球場	1,576	12,639	14,216	12,593	1,128	4,818	19,034	1,511	592	18,442	13,623
誠邦園球場	70	442	512	10,372	49	0	512	49	50	462	462
落合第一球場	9	432	441	2,793	158	14	455	163	56	399	385
落合三面球場	501	667	1,168	27,690	42	1,214	2,383	86	210	2,173	958
赤沼球場	3	695	698	7,404	94	675	1,373	185	67	1,306	631
二ツ井球場	255	863	1,119	3,479	321	1,536	2,656	763	62	2,593	1,057
小計	2,487	16,340	18,828	71,446	263	8,259	27,088	379	1,099	25,988	17,728
その他スポーツ施設											
陸上競技場	700	8,006	8,706	28,589	304	2,511	11,218	392	160	11,057	8,546
弓道場	49	391	441	1,463	301	89	530	362	117	413	323
旧切石小学校スキー場ヒュッテ	354	605	960	345	2,783	0	960	2,783	960	0	—
小計	1,104	9,003	10,108	30,397	332	2,601	12,709	418	1,238	11,470	8,869
合計	40,747	115,587	156,335	352,456	443	119,237	275,573	781	18,041	257,531	146,688

体育館の利用者数の合計は 227,265 人です。これらの施設にかかるフルコストは 214,156 千円です。

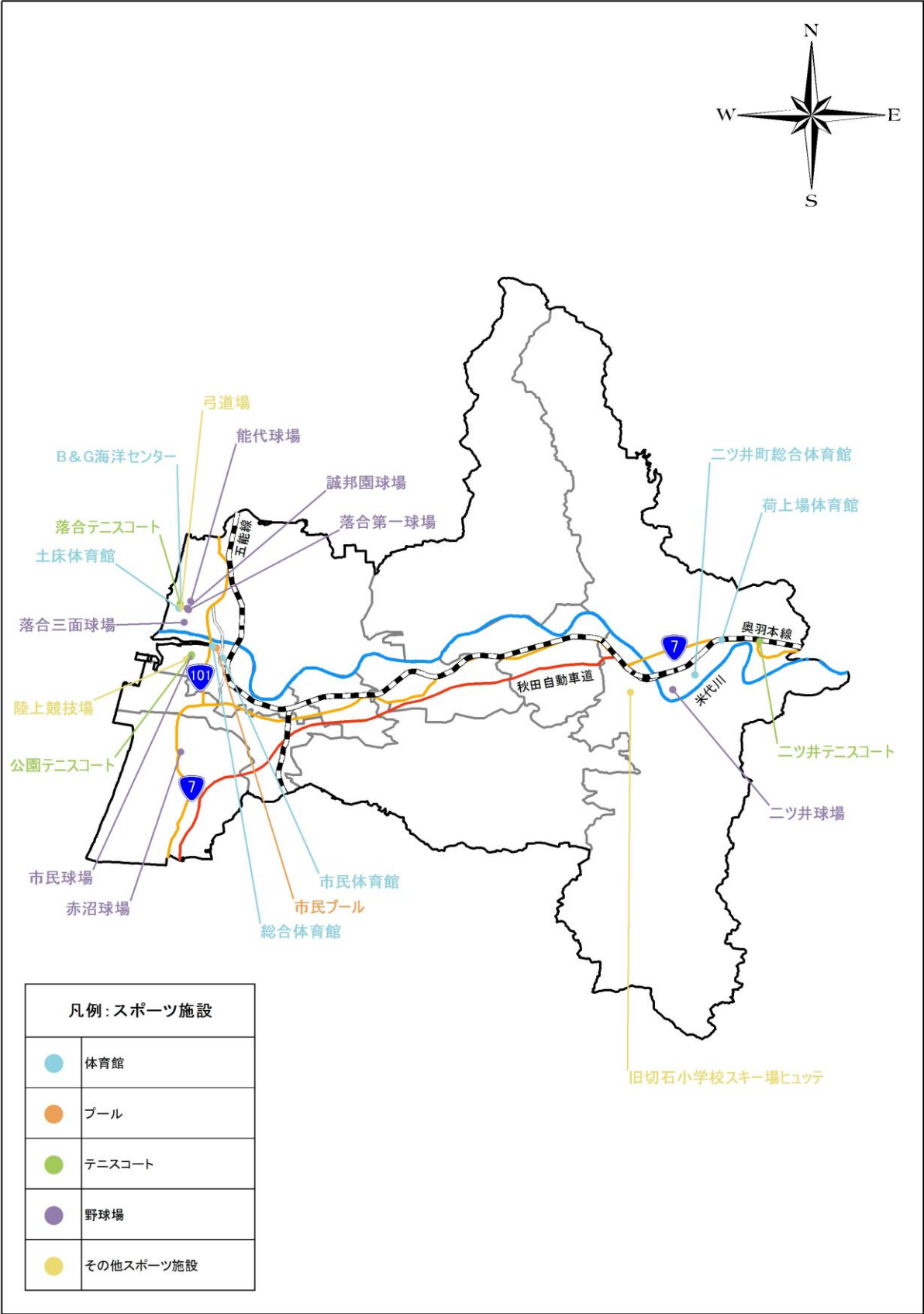
プールの利用者数の合計は 6,727 人です。これらの施設にかかるフルコストは 14,713 千円です。

テニスコートの利用者数の合計は 16,621 人です。これらの施設にかかるフルコストは 6,905 千円です。

野球場の利用者数の合計は 71,446 人です。これらの施設にかかるフルコストは 27,088 千円です。

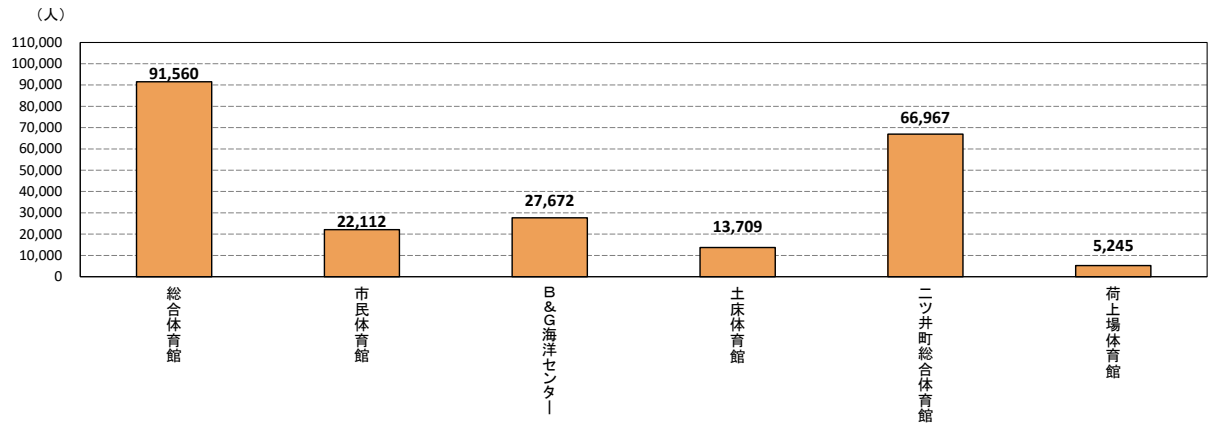
その他スポーツ施設の利用者数の合計は 30,397 人です。これらの施設にかかるフルコストは 12,709 千円です。

図 4-5-1 スポーツ施設の配置状況



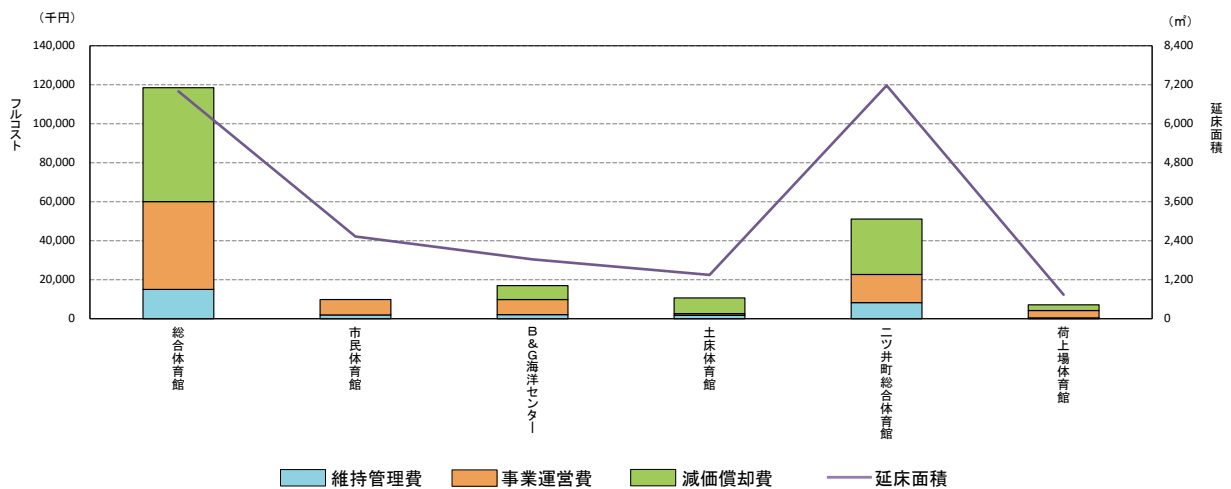
① 「スポーツ施設」 体育館の状況

図 4-5-2 体育館の利用者数(平成 26 年度)



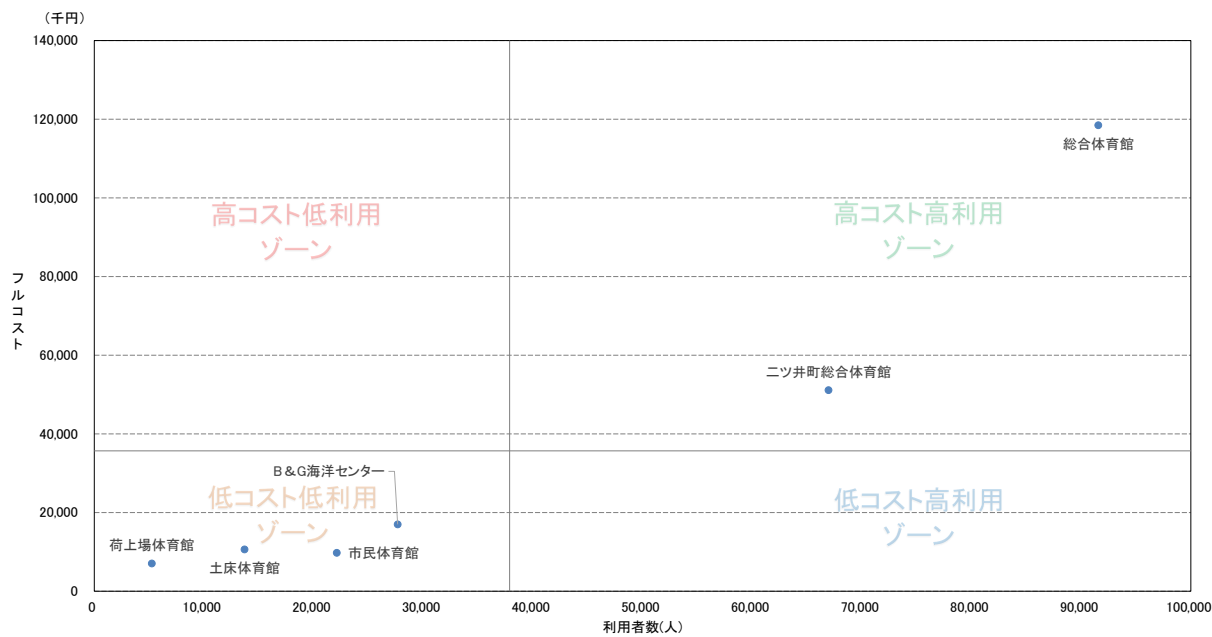
体育館のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、総合体育館（91,560 人）であり、2 番目はニツ井町総合体育館（66,967 人）です。最も利用者数が少ない施設は、荷上場体育館（5,245 人）であり、2 番目は土床体育館（13,709 人）です。

図 4-5-3 体育館のフルコストと延床面積



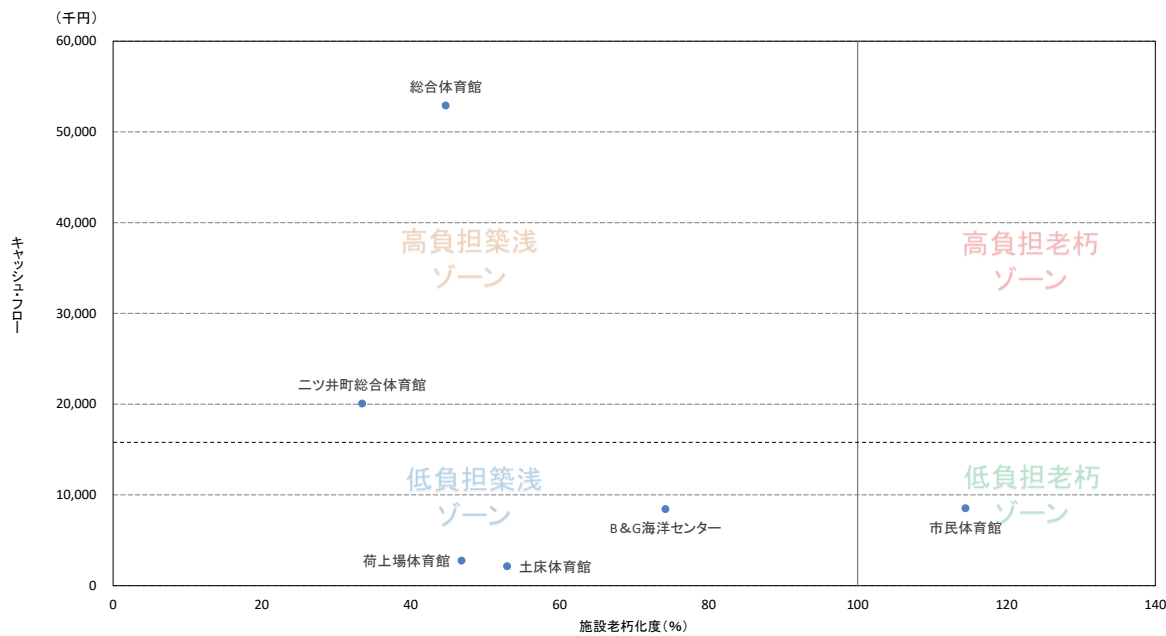
体育館のうち、延床面積が最も広いのは、ニツ井町総合体育館（7,177 m²）であり、2 番目は総合体育館（6,998 m²）です。また、フルコストが最も高いのは、総合体育館（118,489 千円）であり、2 番目はニツ井町総合体育館（51,121 千円）です。

図 4-5-4 体育館の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、総合体育館で 91,560 人、ニツ井町総合体育館で 66,967 人と高くなっています。利用者数とフルコストの関係では、総合体育館は利用者数も多いが、フルコストも高くなっています。

図 4-5-5 体育館のキャッシュ・フローと老朽化度



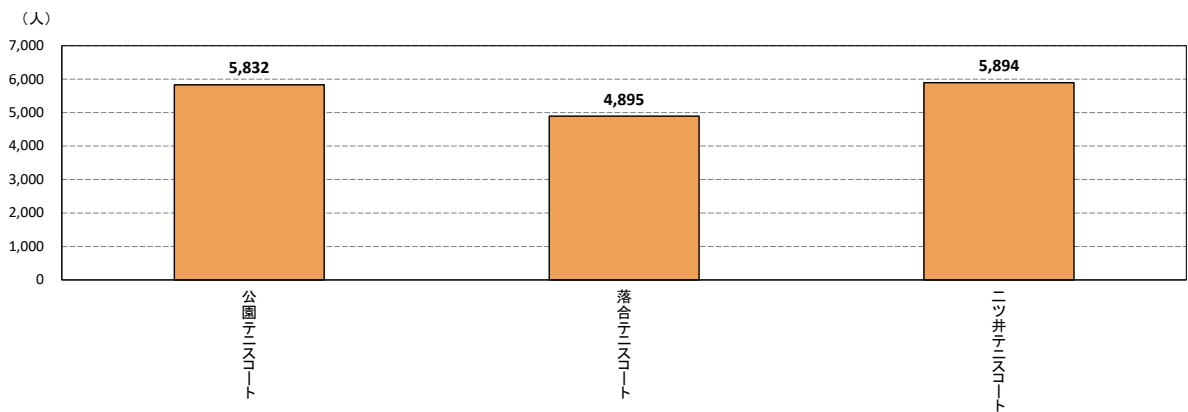
市民体育館は建築後 50 年以上経過しており、老朽化度が高くなっています。総合体育館は老朽化度は低いものの、キャッシュ・フローの負担が多くなっています。

② 「スポーツ施設」プールの状況

市民プールの年間の利用者数は、6,727 人です。また、延床面積は 1,498 ㎡、フルコストは 14,713 千円です。

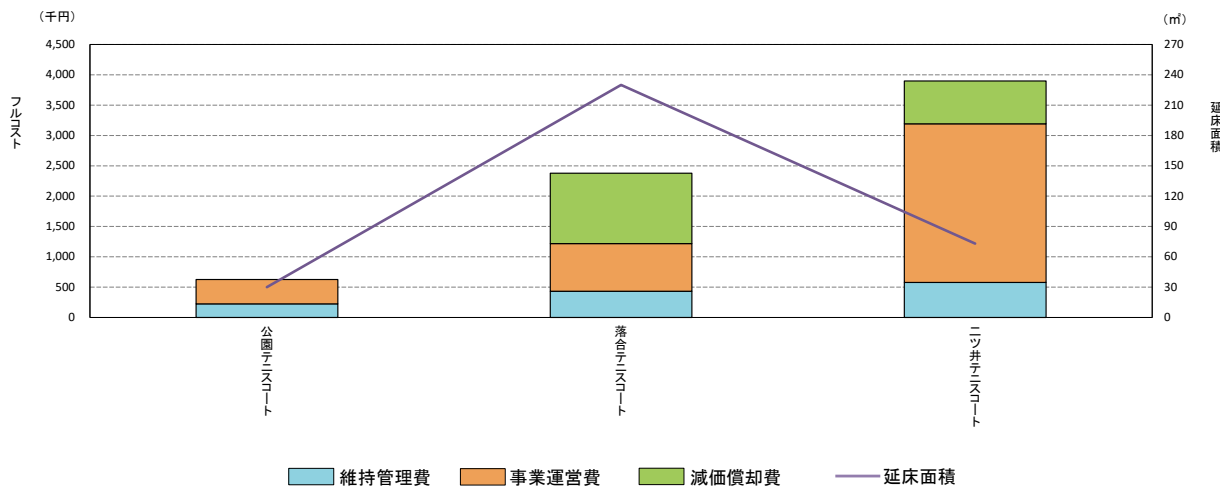
③ 「スポーツ施設」テニスコートの状況

図 4-5-6 テニスコートの利用者数(平成 26 年度)



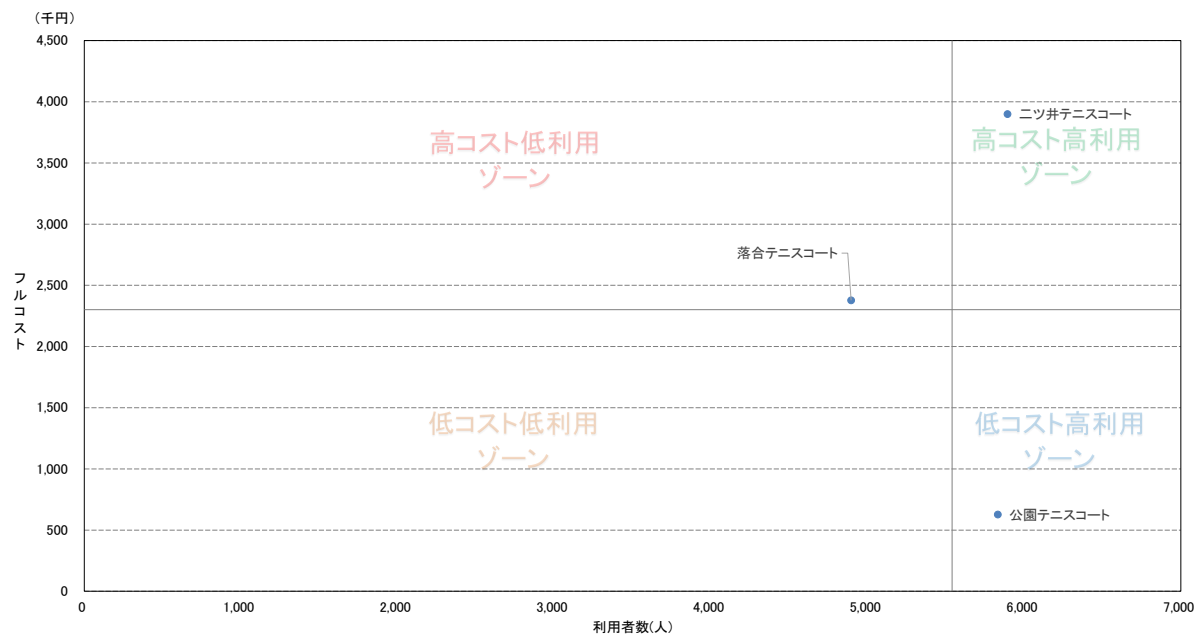
テニスコートの年間の利用者数は 5,000 人前後で、各施設とも同水準です。

図 4-5-7 テニスコートのフルコストと延床面積



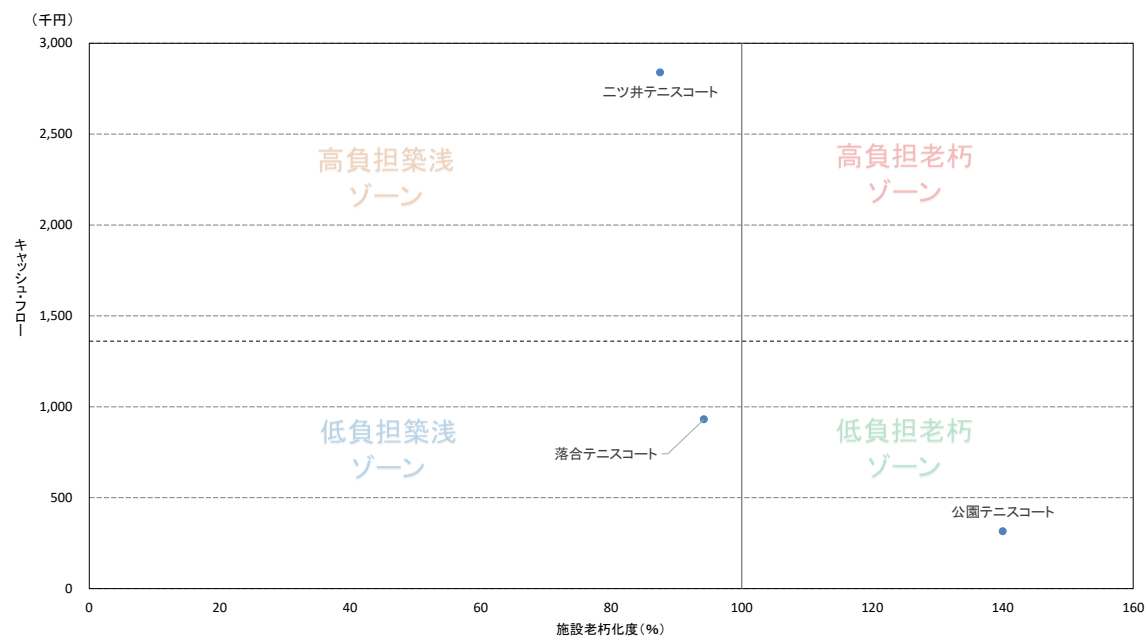
テニスコートのうち、延床面積が最も広いのは、落合テニスコート（230 ㎡）であり、2 番目はニツ井テニスコート（73 ㎡）です。また、フルコストが最も高いのは、ニツ井テニスコート（3,900 千円）であり、2 番目は落合テニスコート（2,378 千円）です。

図 4-5-8 テニスコートの利用者数とフルコスト



年間利用者数では、各施設とも 5,000 人前後で、ほぼ同水準となっていますが、ニツ井テニスコートは公園テニスコートの約 6 倍のフルコストが発生しています。

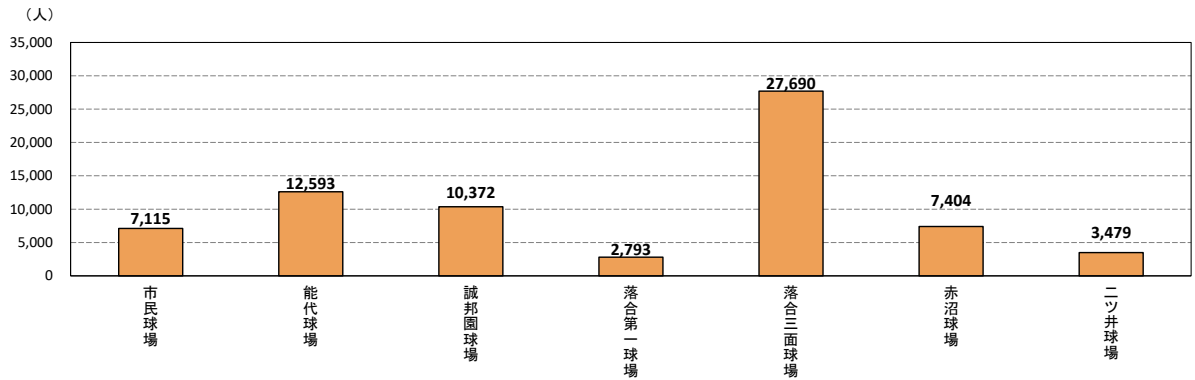
図 4-5-9 テニスコートのキャッシュ・フローと老朽化度



テニスコートではいずれも建築後 20 年以上経過しており、老朽化度が高くなっています。ニツ井テニスコートはキャッシュ・フローの負担が多くなっています。

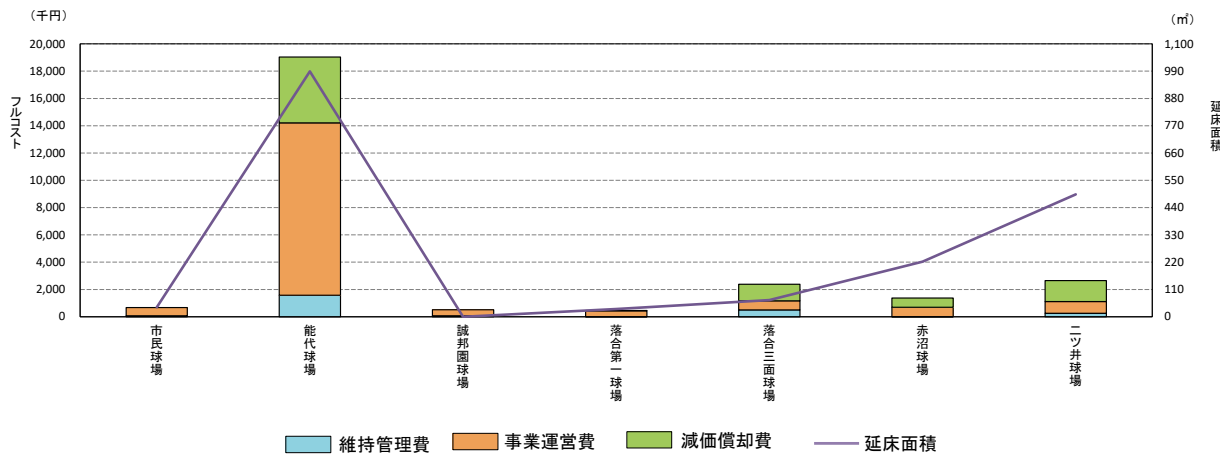
④ 「スポーツ施設」野球場の状況

図 4-5-10 野球場の利用者数(平成 26 年度)



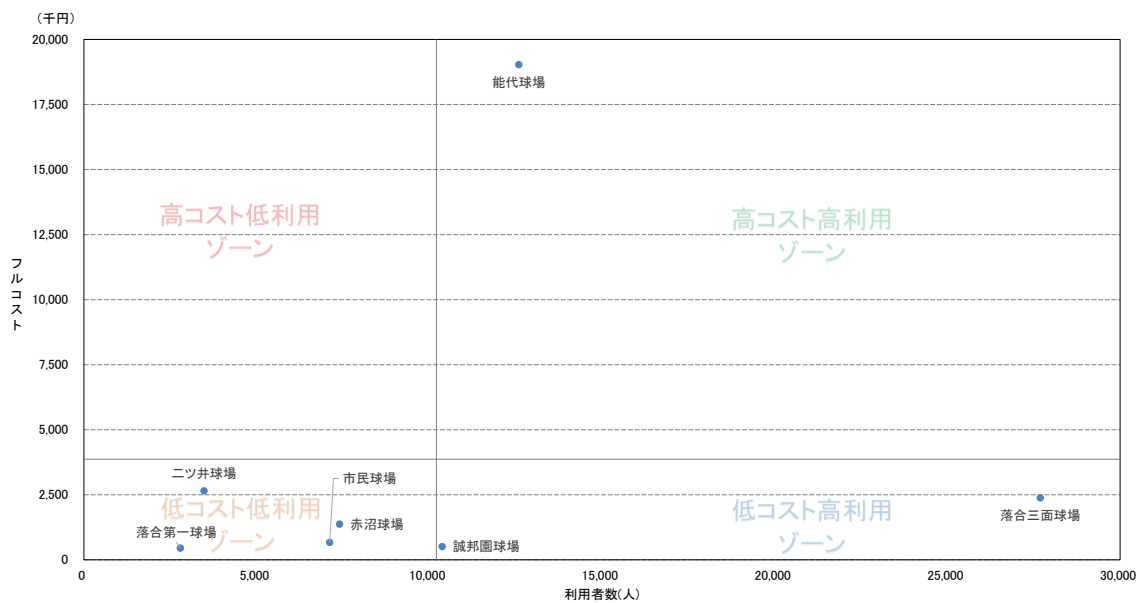
野球場のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、落合三面球場（27,690 人）であり、2 番目は能代球場（12,593 人）です。最も利用者数が少ない施設は、落合第一球場（2,793 人）であり、2 番目はニツ井球場（3,479 人）です。

図 4-5-11 野球場のフルコストと延床面積



野球場のうち、延床面積が最も広い施設は、能代球場（989 m²）であり、2 番目はニツ井球場（493 m²）です。また、フルコストは能代球場が 19,034 千円と突出しています。

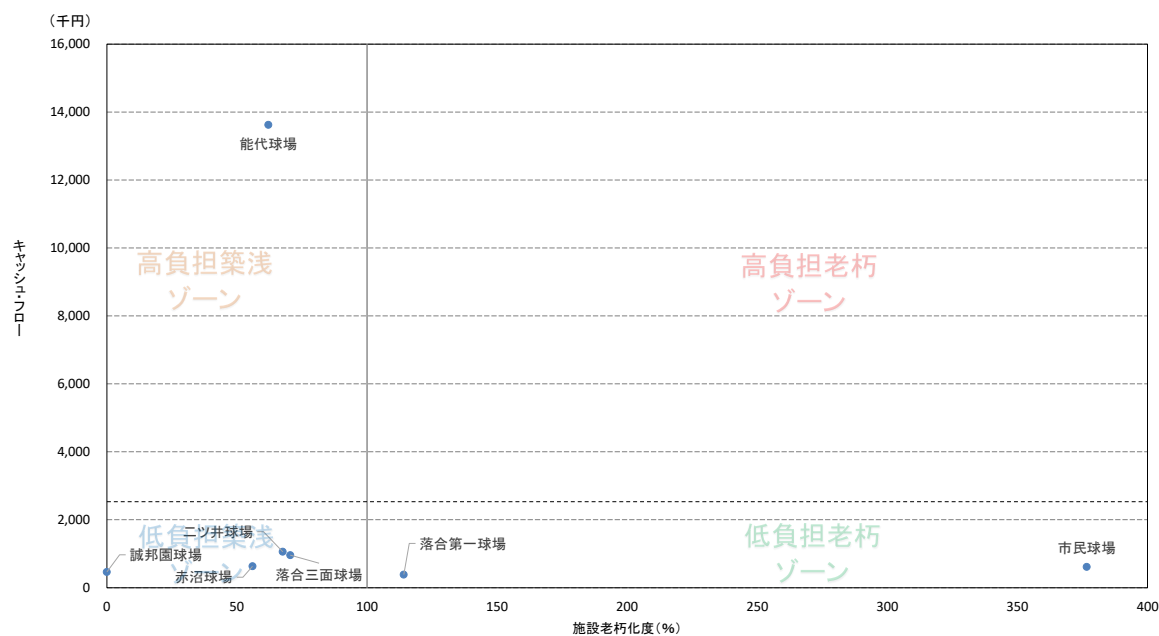
図 4-5-12 野球場の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、落合三面球場で 27,690 人、能代球場で 12,593 人と多くなっていますが、落合第一球場で 2,793 人、ニツ井球場で 3,479 人と利用者が少なくなっています。利用者数とフルコストの関係では、能代球場でフルコストが高くなっており、利用者数が 2 倍を超える落合三面球場の 8 倍のフルコストが発生しています。

また、本市の野球場の数や人口あたりの施設面積は類似団体の平均を超えています。

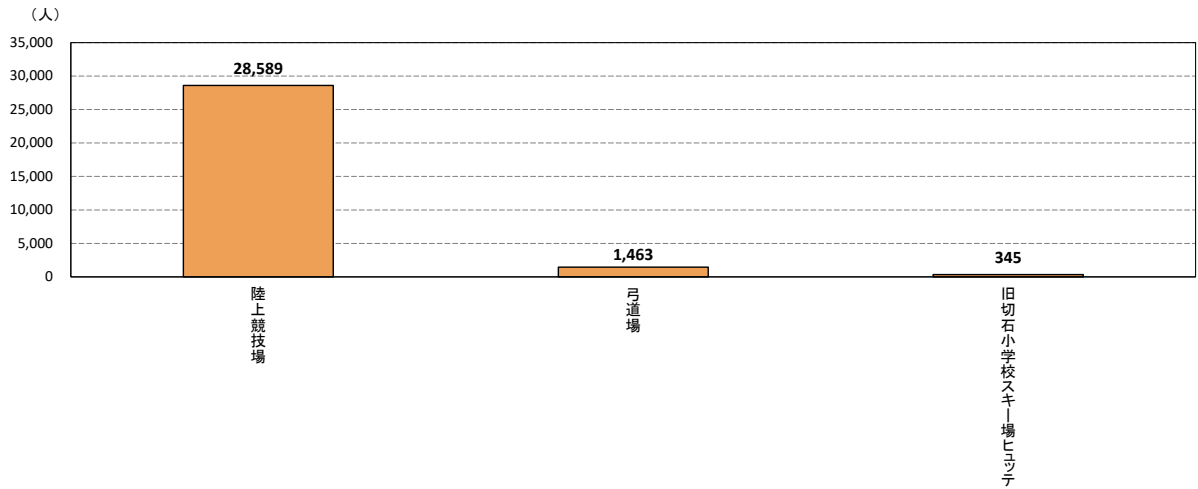
図 4-5-13 野球場のキャッシュ・フローと老朽化度



市民球場は老朽化度が 350%を超えており、老朽化が進んでいます。また、能代球場は老朽化度が低くなっていますが、キャッシュ・フローの負担が多くなっています。

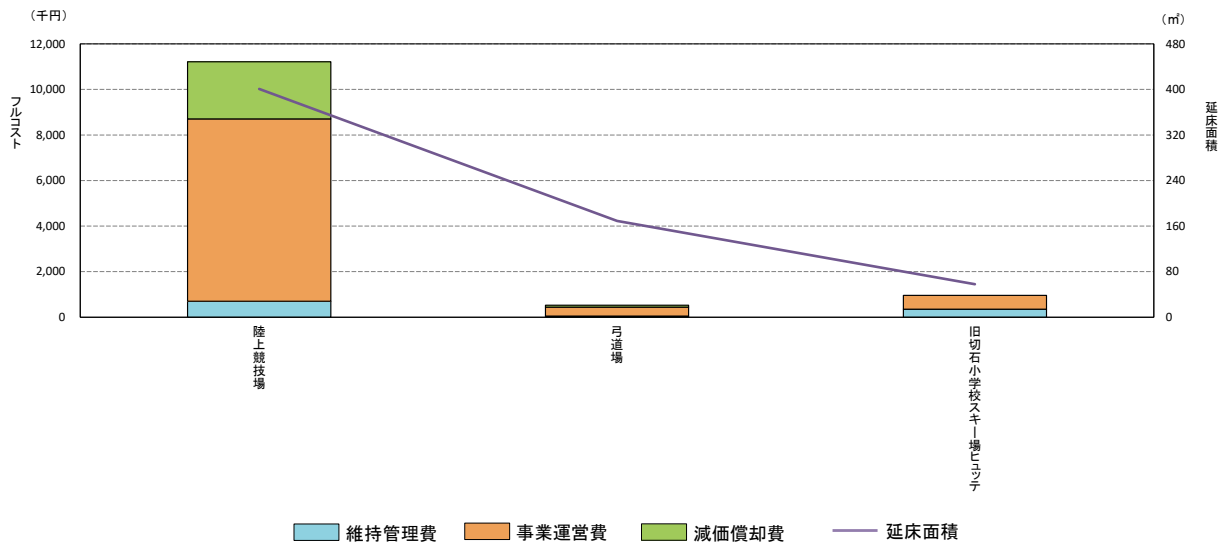
⑤ 「スポーツ施設」その他スポーツ施設の状況

図 4-5-14 その他スポーツ施設の利用者数(平成 26 年度)



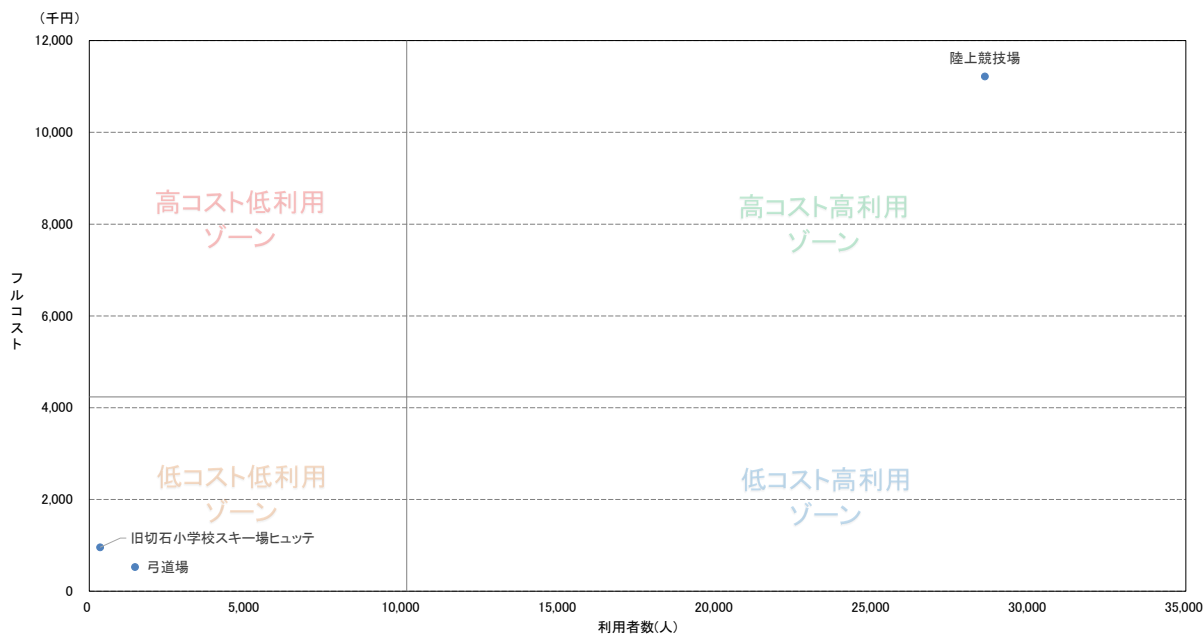
陸上競技場の年間の利用者数が 28,589 人と突出しています。

図 4-5-15 その他スポーツ施設のフルコストと延床面積



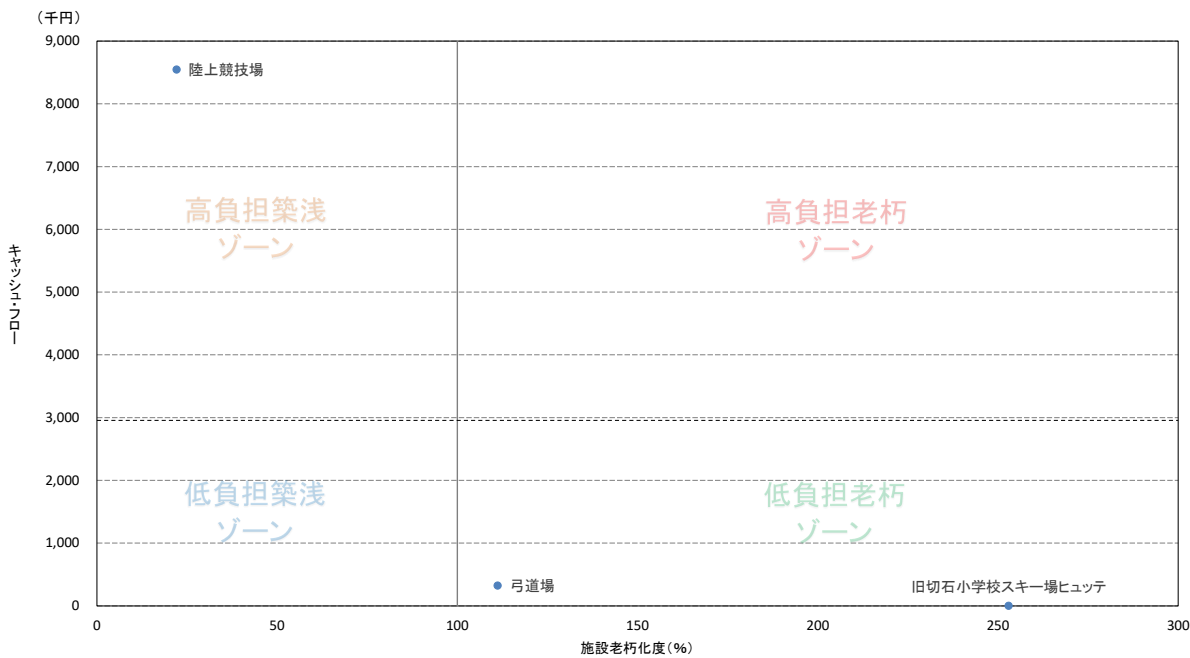
その他スポーツ施設のうち、陸上競技場の延床面積が 401 m²、フルコストが 11,218 千円と突出しています。

図 4-5-16 その他スポーツ施設の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、陸上競技場で 28,589 人と多くなっていますが、一方、旧切石小学校スキー場ヒュッテで 345 人と利用者が少なくなっています。利用者数とフルコストの関係では、陸上競技場で高コスト高利用となっています。

図 4-5-17 その他スポーツ施設のキャッシュ・フローと老朽化度



その他スポーツ施設では、旧切石小学校スキー場ヒュッテが建築後 40 年以上経過しており、老朽化度が高くなっています。

6 観光施設の状況

表 4-6-1 観光施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
観光施設	本庁	1	旧料亭金勇	指定管理者		1,162	298.6	昭和 12年度	木造
	常盤	2	毘沙門憩の森	指定管理者		311	124.9	平成 2年度	木造
	二ツ井	3	二ツ井総合観光センター	指定管理者		1,414	64.0	昭和 57年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	4	ふたつい白神郷土の森	直営		170	59.4	平成 9年度	鉄筋コンクリート
小計						3,056			
観光用 自転車施設	二ツ井	1	二ツ井駅前自転車駐車場	直営		358	86.7	平成 13年度	木造
	二ツ井	2	道の駅自転車駐車場	直営		305	80.0	平成 14年度	木造
	二ツ井	3	サイクルステーション(天神荘)	直営		13	93.3	平成 12年度	木造
	二ツ井	4	サイクルステーション(旧役場跡地)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	5	サイクルステーション (勤労者体育センター)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	6	サイクルステーション (道の駅ふたつい)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	7	サイクルステーション (桜づつみ公園)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	8	サイクルステーション (荷上場体育館)	直営		13	93.3	平成 12年度	木造
	二ツ井	9	サイクルステーション(桜新町)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	10	サイクルステーション (仁鮎中台健康広場)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	11	サイクルステーション (福祉会館駐車場)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	12	サイクルステーション(特養よねしろ)	直営		13	100.0	平成 11年度	木造
	二ツ井	13	サイクルステーション(ふっちゃん)	直営		13	93.3	平成 12年度	木造
小計						806			
合計						3,862			

観光施設は、市内に 4 施設あり、延床面積は合計 3,056 ㎡です。

観光用自転車施設は、市内に 13 施設あり、延床面積は合計 806 ㎡です。

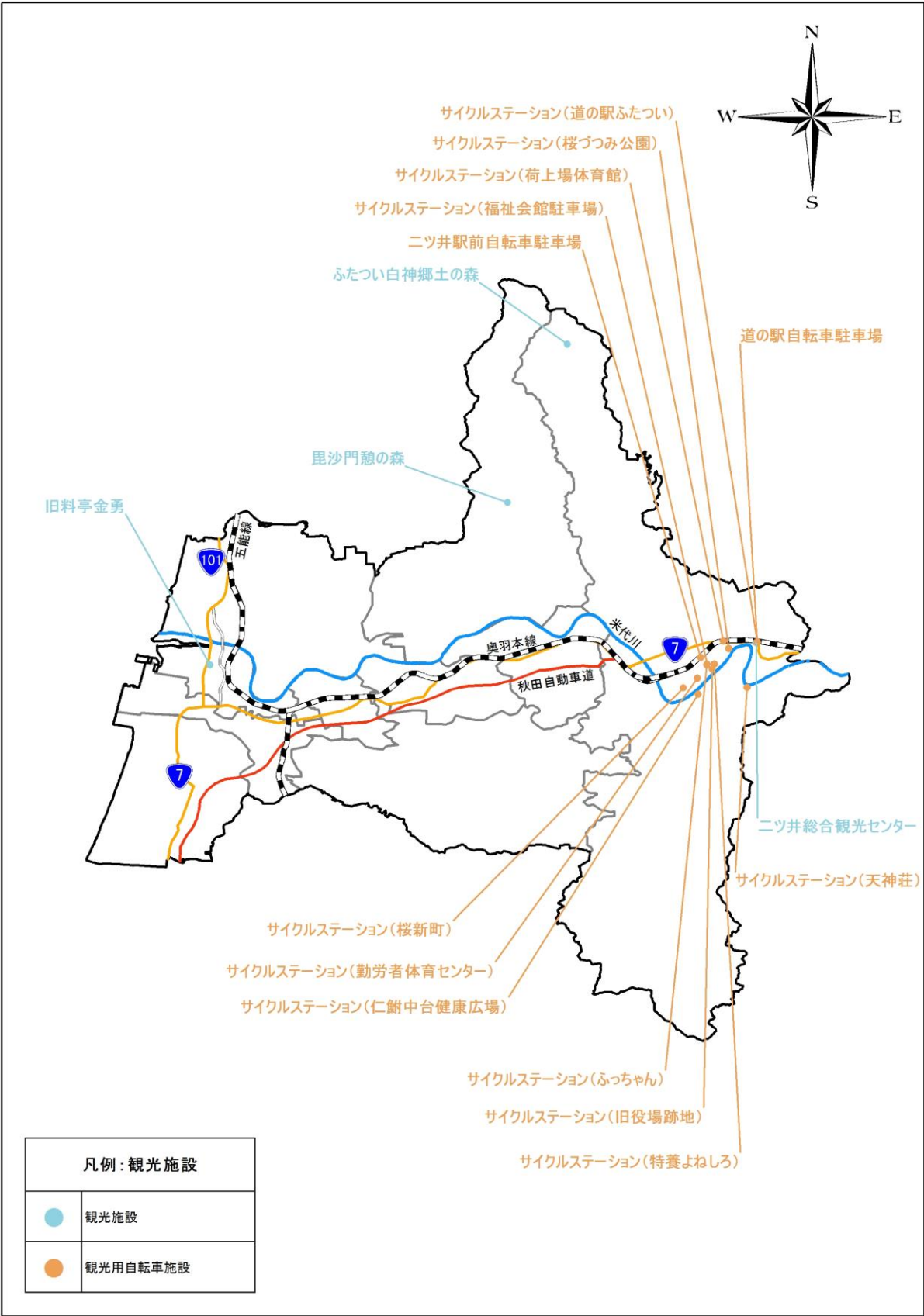
表 4-6-2 観光施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
観光施設											
旧料亭金勇	5,048	9,601	14,650	25,531	573	665	15,316	599	1,507	13,808	15,421
毘沙門憩の森	1,434	1,478	2,913	2,630	1,107	494	3,408	1,295	39	3,369	1,827
二ツ井総合観光センター	8,858	52,892	61,751	62,832	982	3,676	65,427	1,041	64,309	1,118	0
ふたつ白神郷土の森	59	101	160	—	—	1,101	1,262	—	0	1,262	—
小計	15,401	64,074	79,476	90,993	873	5,938	85,414	938	65,855	19,558	17,248
観光用自転車施設											
二ツ井駅前自転車駐車場	1,632	38	1,671	—	—	1,439	3,111	—	0	3,111	—
道の駅自転車駐車場	49	0	49	—	—	1,224	1,274	—	38	1,236	—
サイクルステーション(天神荘)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (旧役場跡地)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (勤労者体育センター)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (道の駅ふたつ)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (桜づつみ公園)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (荷上場体育館)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション(桜新町)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (仁鮎中台健康広場)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (福祉会館駐車場)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (特養よねしろ)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
サイクルステーション (ふっちゃん)	0	0	0	—	—	52	52	—	0	52	—
小計	1,682	38	1,721	0	0	3,239	4,960	0	38	4,922	0
合計	17,083	64,113	81,197	90,993	892	9,177	90,375	993	65,894	24,481	17,248

観光施設の利用者数の合計は 90,993 人です。これらの施設にかかるフルコストは 85,414 千円です。

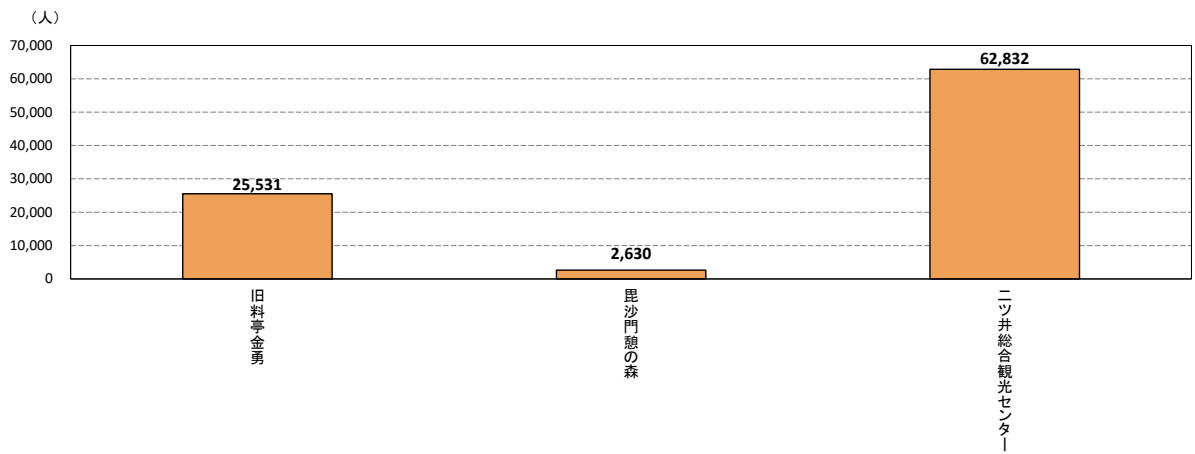
観光用自転車施設にかかるフルコストは 4,960 千円です。

図 4-6-1 観光施設の配置状況



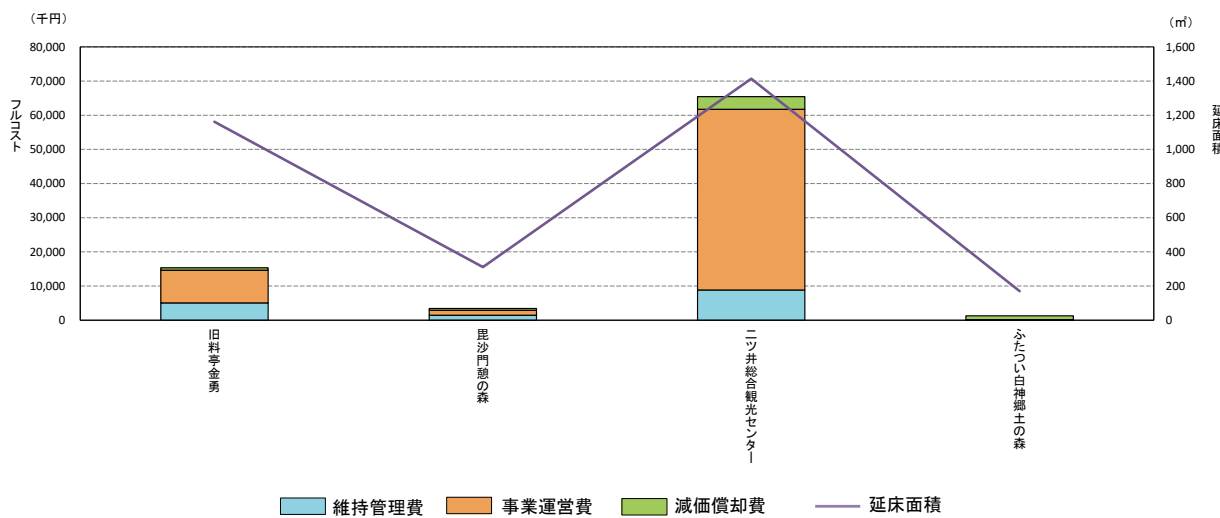
① 〔観光施設〕観光施設の状況

図 4-6-2 観光施設の利用者数(平成 26 年度)



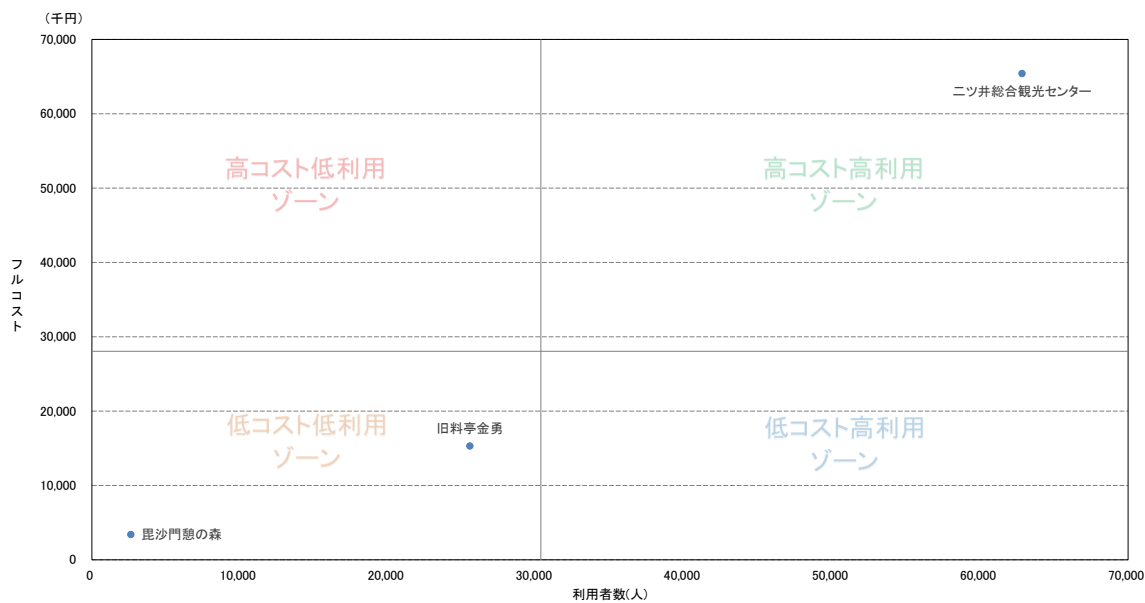
観光施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、ニツ井総合観光センターの 62,832 人です。

図 4-6-3 観光施設のフルコストと延床面積



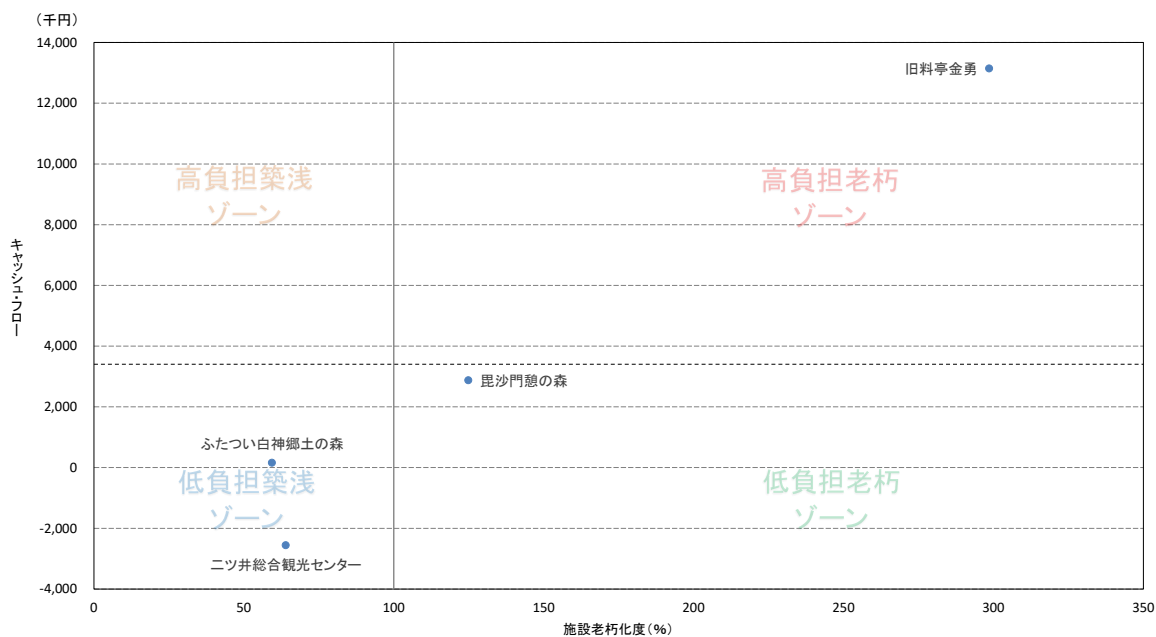
観光施設では、ニツ井総合観光センターで延床面積、フルコストが共に大きくなっています。

図 4-6-4 観光施設の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、ニツ井総合観光センターで 62,832 人と多く、フルコストも高くなっています。

図 4-6-5 観光施設のキャッシュ・フローと老朽化度

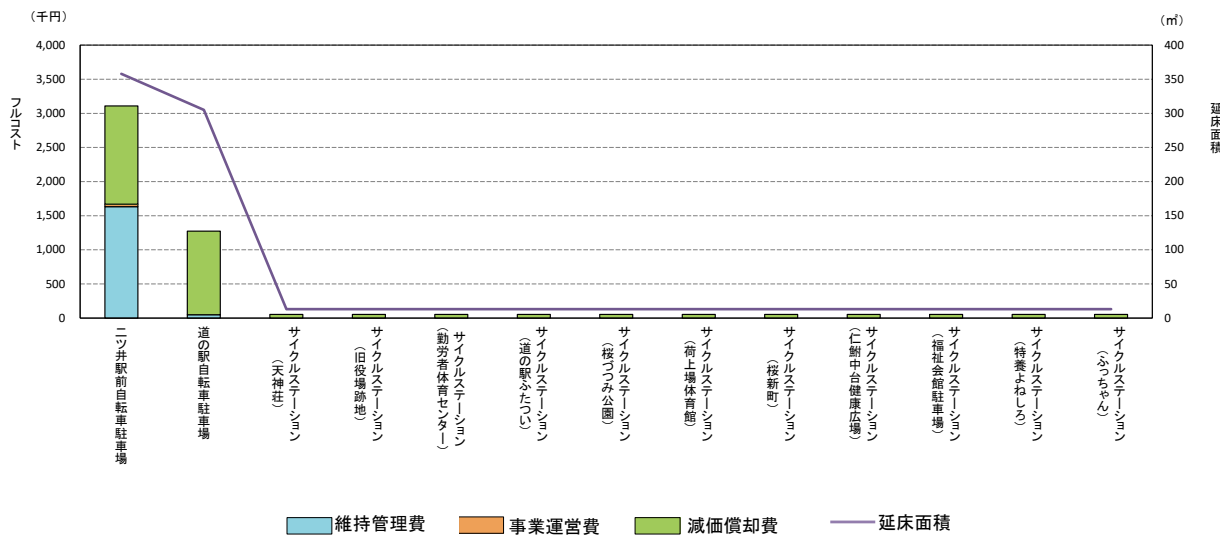


観光施設では旧料亭金勇が建築後 70 年以上経過しており、老朽化度が高くなっています。旧料亭金勇は国の登録有形文化財に登録されており、今後も適切に維持・管理していく必要があります。

ニツ井総合観光センターはキャッシュ・フローがマイナスとなっており、利益が出ていることを示しています。

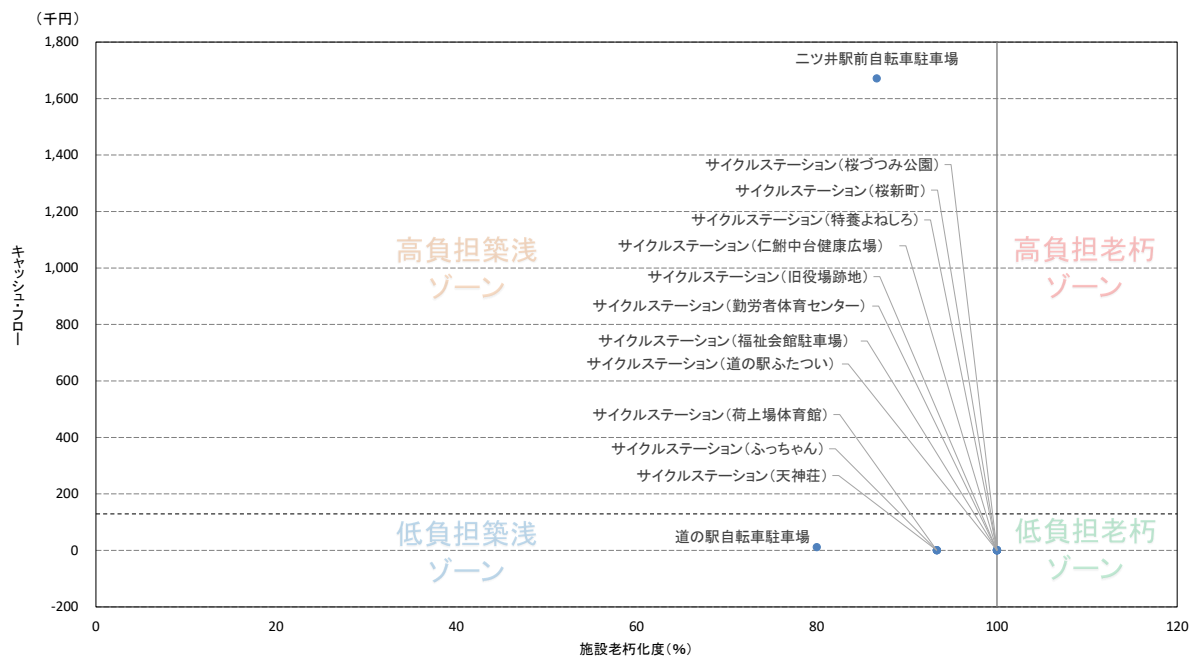
② 〔観光施設〕観光用自転車施設の状況

図 4-6-6 観光用自転車施設のフルコストと延床面積



観光用自転車施設のうち、延床面積が最も広い施設は、二ツ井駅前自転車駐車場（358 ㎡）であり、2 番目は道の駅自転車駐車場（305 ㎡）です。また、フルコストが最も高い施設は、二ツ井駅前自転車駐車場（3,111 千円）であり、2 番目は道の駅自転車駐車場（1,274 千円）です。

図 4-6-7 観光用自転車施設のキャッシュ・フローと老朽化度



観光施設はいずれも平成 11 年以降に建設された比較的新しい施設ですが、老朽化度が高くなってきています。

7 産業系施設の状況

表 4-7-1 産業系施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
産業センター	向能代	1	農業技術センター	直営		2,074	127.5	昭和 43年度	鉄骨造
	扇淵	2	総合技能センター	指定管理者		587	120.3	昭和 53年度	鉄骨造
	浅内	3	技術開発センター	指定管理者		763	112.3	昭和 57年度	鉄骨コンクリート
小計						3,424			
その他 産業系施設	扇淵	1	能代工業団地交流会館	指定管理者		667	95.5	平成 5年度	木造
	浅内	2	木の学校	指定管理者		944	101.7	平成 1年度	鉄骨造
	二ツ井	3	二ツ井農産物直売所	指定管理者		143	37.5	平成 17年度	木造
小計						1,755			
合計						5,179			

産業センターは、市内に 3 施設あり、延床面積は合計 3,424 ㎡です。

その他産業系施設は、市内に 3 施設あり、延床面積は合計 1,755 ㎡です。

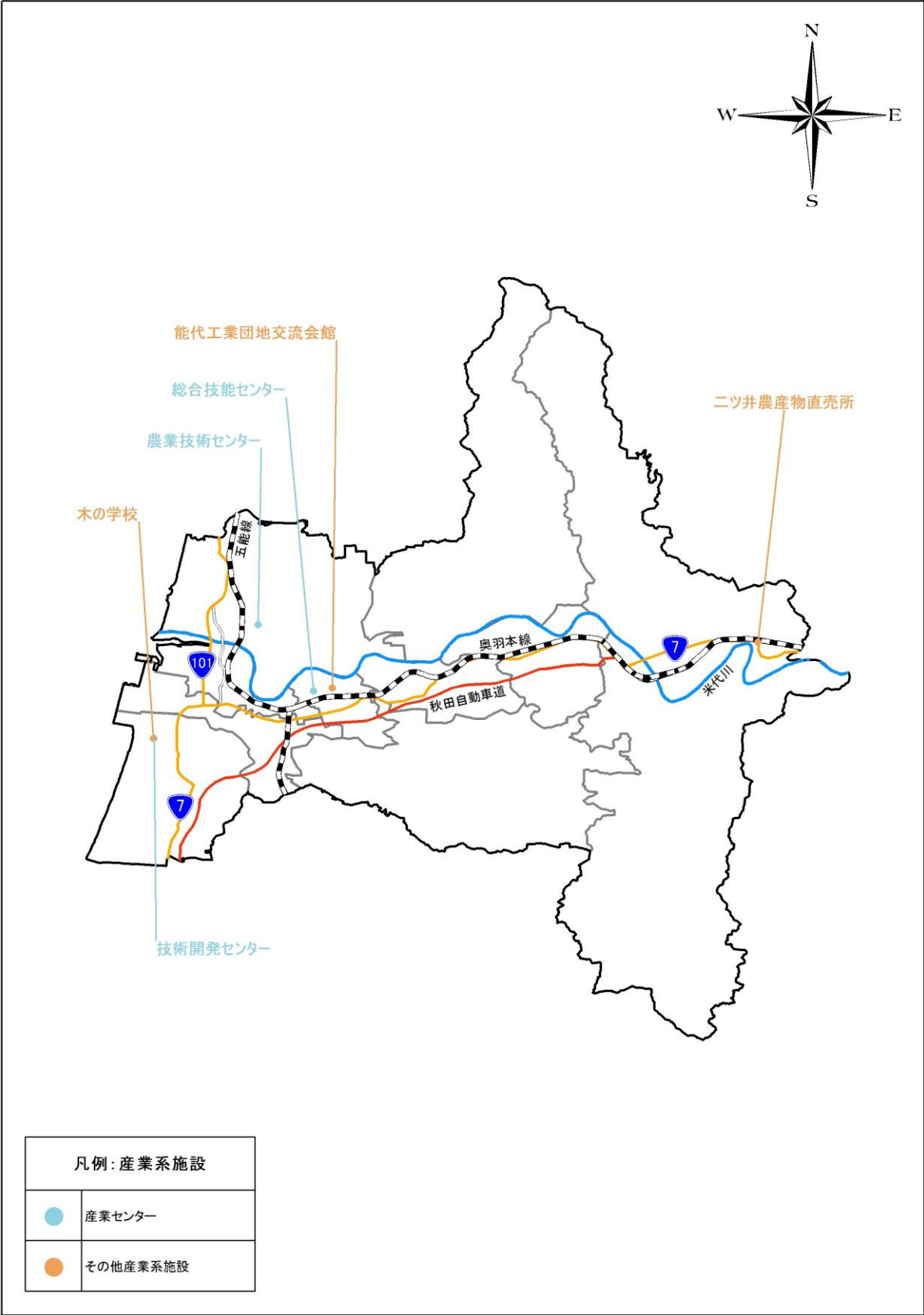
表 4-7-2 産業系施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
産業センター											
農業技術センター	2,900	21,893	24,794	320	77,483	83	24,878	77,743	709	24,168	—
総合技能センター	303	5,088	5,392	600	8,987	0	5,392	8,987	4,712	680	547
技術開発センター	5,596	10,449	16,045	1,914	8,383	0	16,045	8,383	875	15,169	13,878
小計	8,800	37,431	46,232	2,834	16,313	83	46,316	16,343	6,297	40,018	14,426
その他産業系施設											
能代工業団地交流会館	2,421	2,397	4,818	24,526	196	9,182	14,000	571	1,152	12,848	3,796
木の学校	2,973	13,454	16,428	5,408	3,037	1,217	17,645	3,262	1,941	15,704	13,878
二ツ井農産物直売所	1,113	8,425	9,539	57,778	165	991	10,530	182	9,009	1,521	0
小計	6,507	24,278	30,785	87,712	351	11,391	42,177	481	12,103	30,073	17,674
合計	15,308	61,710	77,018	90,546	851	11,474	88,493	977	18,401	70,092	32,100

産業センターの利用者数の合計は 2,834 人です。これらの施設にかかるフルコストは 46,316 千円です。

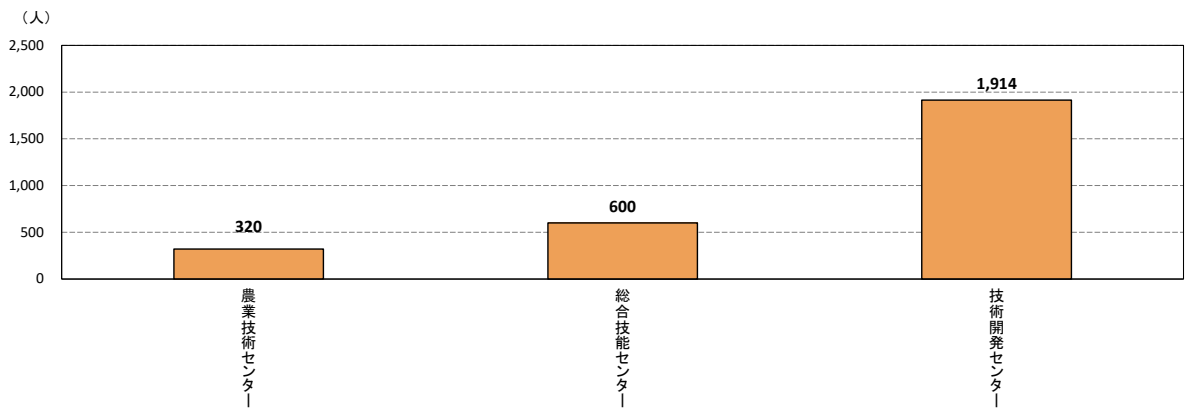
その他産業系施設の利用者数の合計は 87,712 人です。これらの施設にかかるフルコストは 42,177 千円です。

図 4-7-1 産業系施設の配置状況



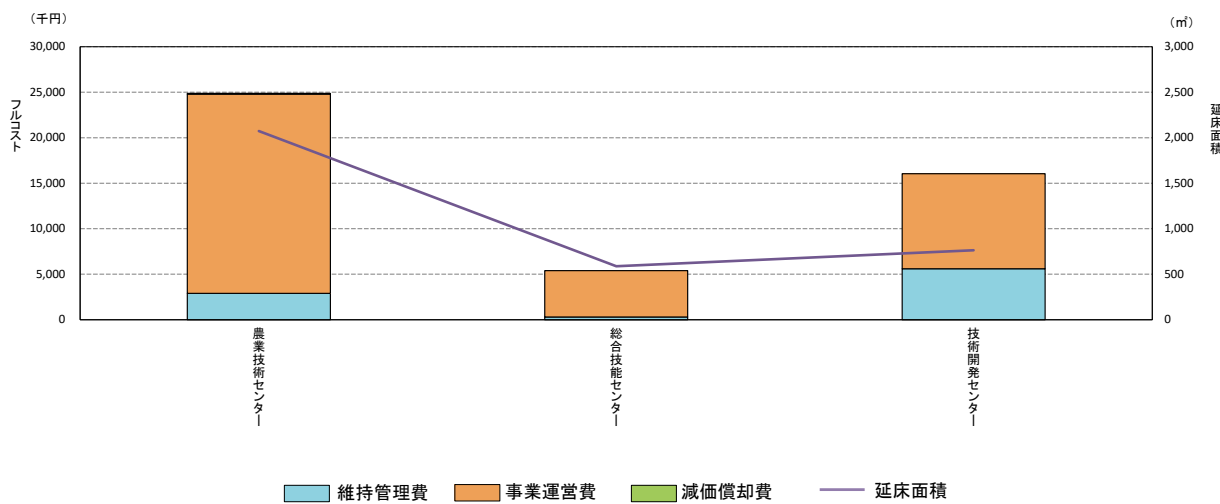
① 〔産業系施設〕産業センターの状況

図 4-7-2 産業センターの利用者数(平成 26 年度)



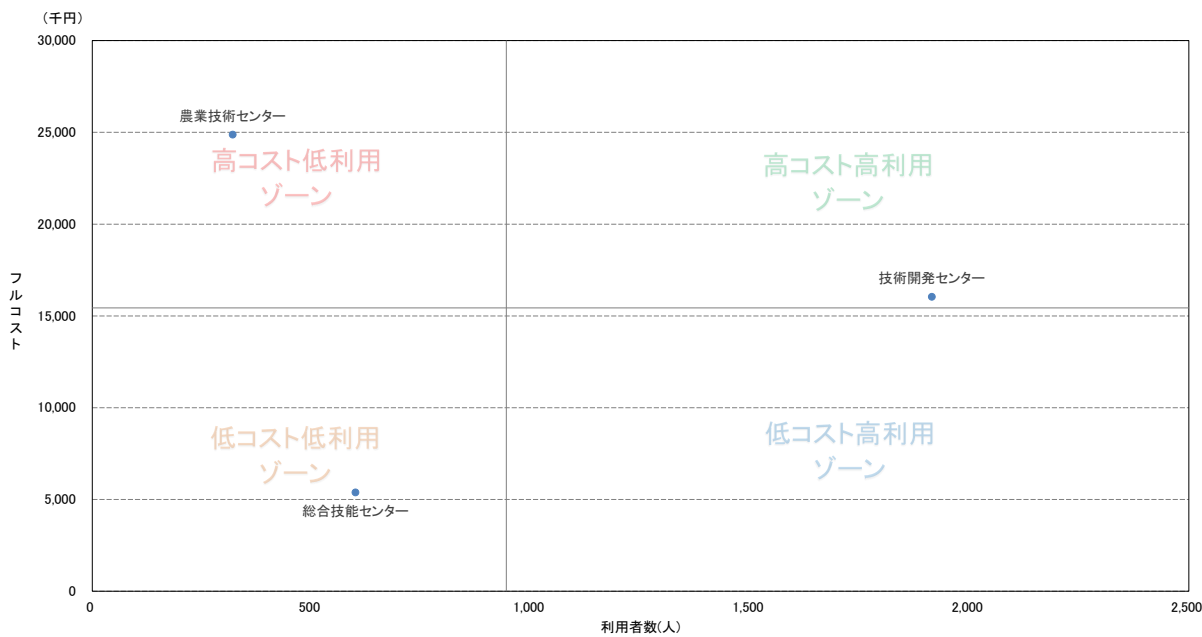
産業センターのうち、年間の利用者数が最も多い施設は、技術開発センターの 1,914 人です。

図 4-7-3 産業センターのフルコストと延床面積



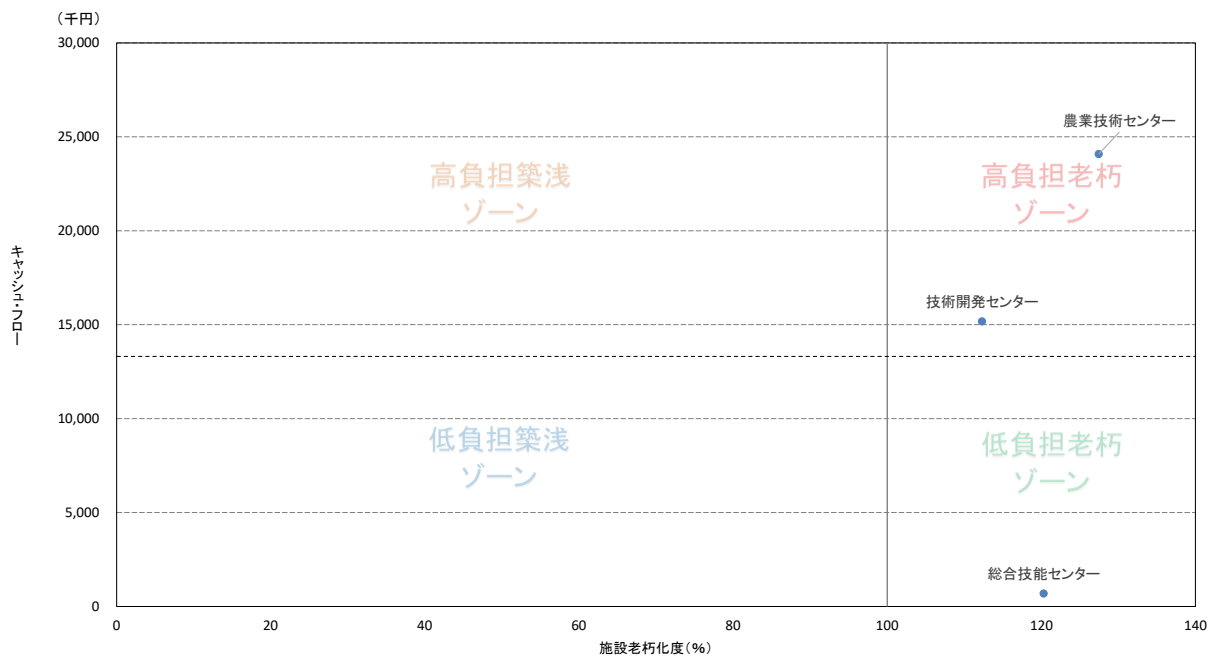
産業センターでは、農業技術センターで延床面積、フルコスト共に大きくなっています。

図 4-7-4 産業センターの利用者数とフルコスト



年間利用者数では、技術開発センターで 1,914 人と多くなっています。利用者数とフルコストの関係では、農業技術センターのフルコストが高くなっています。

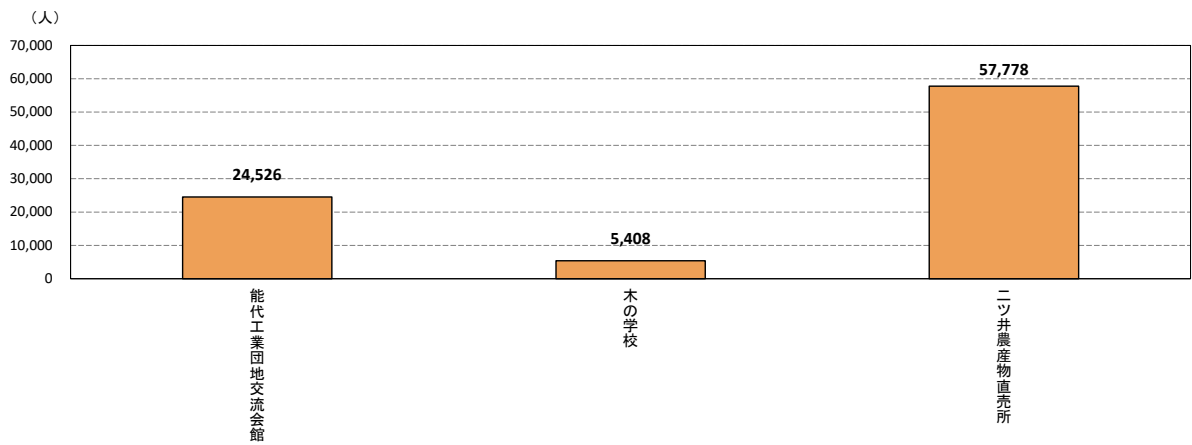
図 4-7-5 産業センターのキャッシュ・フローと老朽化度



産業センターではいずれの施設も老朽化度が 100%を超えおり、老朽化が進んでいます。

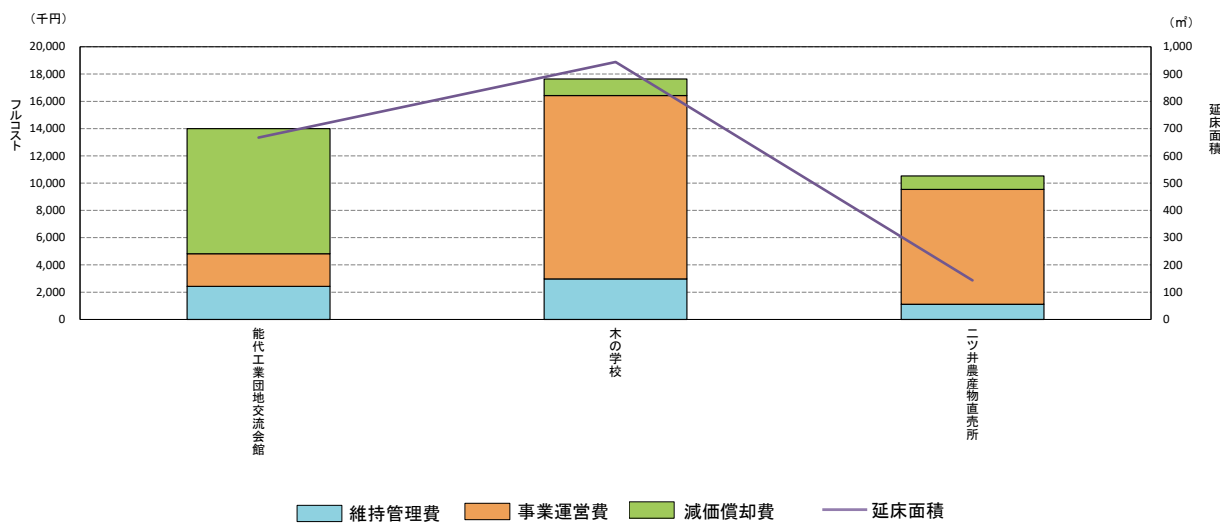
② 〔産業系施設〕その他産業系施設の状況

図 4-7-6 その他産業系施設の利用者数(平成 26 年度)



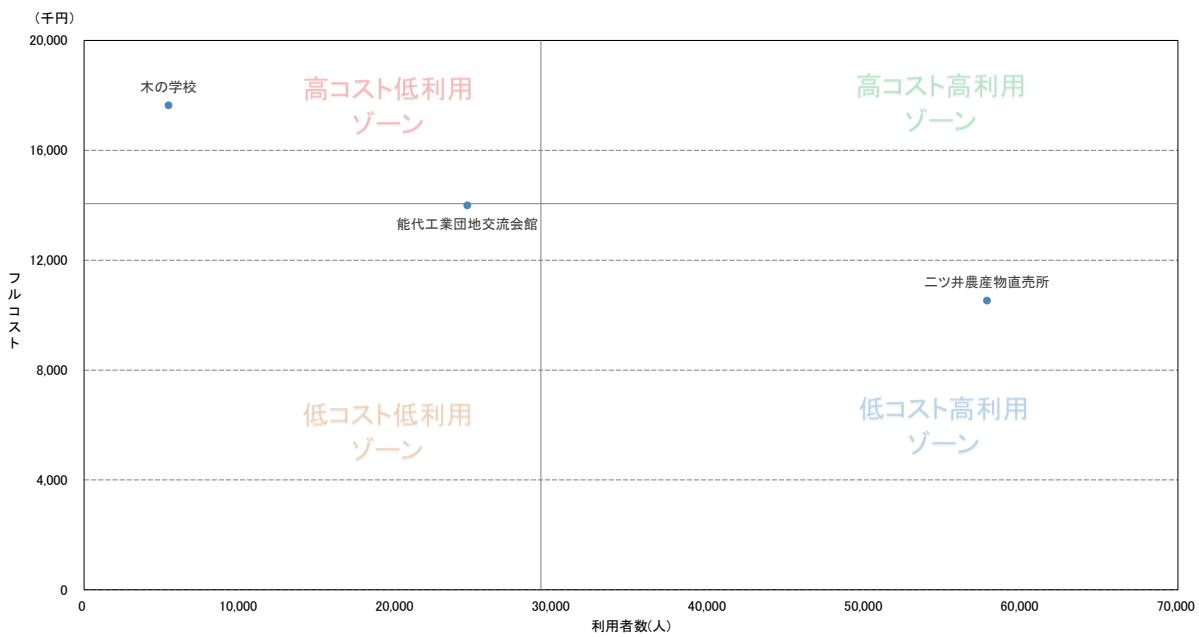
その他産業系施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、ニツ井農産物直売所の 57,778 人となっています。

図 4-7-7 その他産業系施設のフルコストと延床面積



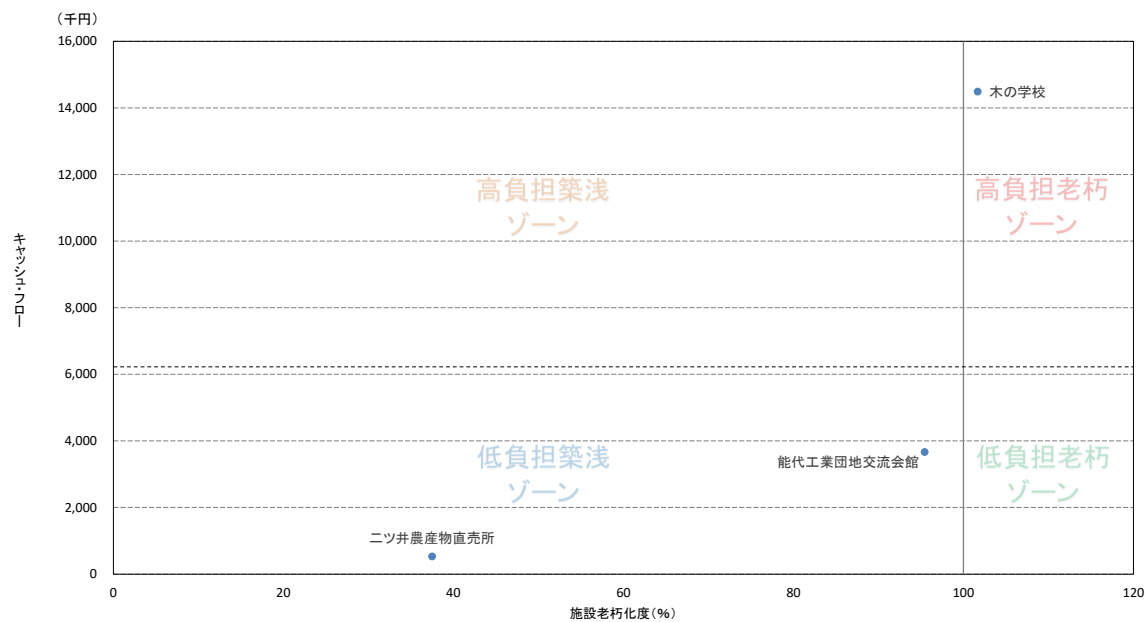
その他産業系施設のうち、木の学校で延床面積、フルコストともに大きくなっています。

図 4-7-8 その他産業系施設の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、ニツ井農産物直売所で 57,778 人と多くなっており、木の学校は 5,408 人と利用者が少なくなっています。利用者数とフルコストの関係は、木の学校が高コスト低利用となっています。

図 4-7-9 その他産業系施設のキャッシュ・フローと老朽化度



その他産業系施設では、木の学校の老朽化度が 100%を超えており、キャッシュ・フローの負担も多くなっています。

8 学校の状況

表 4-8-1 学校の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
小学校	本庁	1	淳城西小学校	直営		5,137	97.9	昭和 44年度	鉄筋コンクリート
	本庁	2	淳城南小学校	直営		6,187	82.7	昭和 53年度	鉄筋コンクリート
	本庁	3	第四小学校	直営		7,997	20.5	平成 21年度	木造
	向能代	4	向能代小学校	直営		5,786	79.3	昭和 55年度	鉄筋コンクリート
	向能代	5	朴瀬小学校	直営		2,802	78.5	昭和 57年度	鉄筋コンクリート
	向能代	6	竹生小学校	直営		2,720	79.5	昭和 57年度	鉄筋コンクリート
	扇淵	7	第五小学校	直営		5,264	71.6	平成 7年度	木造
	檜山	8	崇徳小学校	直営		3,848	88.1	平成 6年度	木造
	鶴形	9	鶴形小学校	直営		3,078	87.6	昭和 52年度	鉄筋コンクリート
	浅内	10	浅内小学校	直営		5,139	40.2	平成 17年度	木造
	常盤	11	常盤小学校	直営		2,522	40.6	平成 15年度	木造
	二ツ井	12	二ツ井小学校	直営		6,711	22.6	平成 21年度	木造
小計						57,191			
中学校	本庁	1	能代第一中学校	直営		6,999	92.3	昭和 48年度	鉄筋コンクリート
	本庁	2	能代第二中学校	直営		8,181	64.5	昭和 61年度	鉄筋コンクリート
	向能代	3	東雲中学校	直営		8,367	56.0	平成 11年度	木造
	扇淵	4	能代東中学校	直営		6,548	57.3	平成 1年度	鉄筋コンクリート
	浅内	5	能代南中学校	直営		5,751	69.7	昭和 58年度	鉄筋コンクリート
	常盤	6	常盤中学校	直営		3,765	42.4	平成 15年度	木造
	二ツ井	7	二ツ井中学校	直営		9,385	104.5	昭和 46年度	鉄筋コンクリート
小計						48,996			
合計						106,187			

小学校は、市内に 12 施設あり、延床面積は合計 57,191 ㎡です。

中学校は、市内に 7 施設あり、延床面積は合計 48,996 ㎡です。

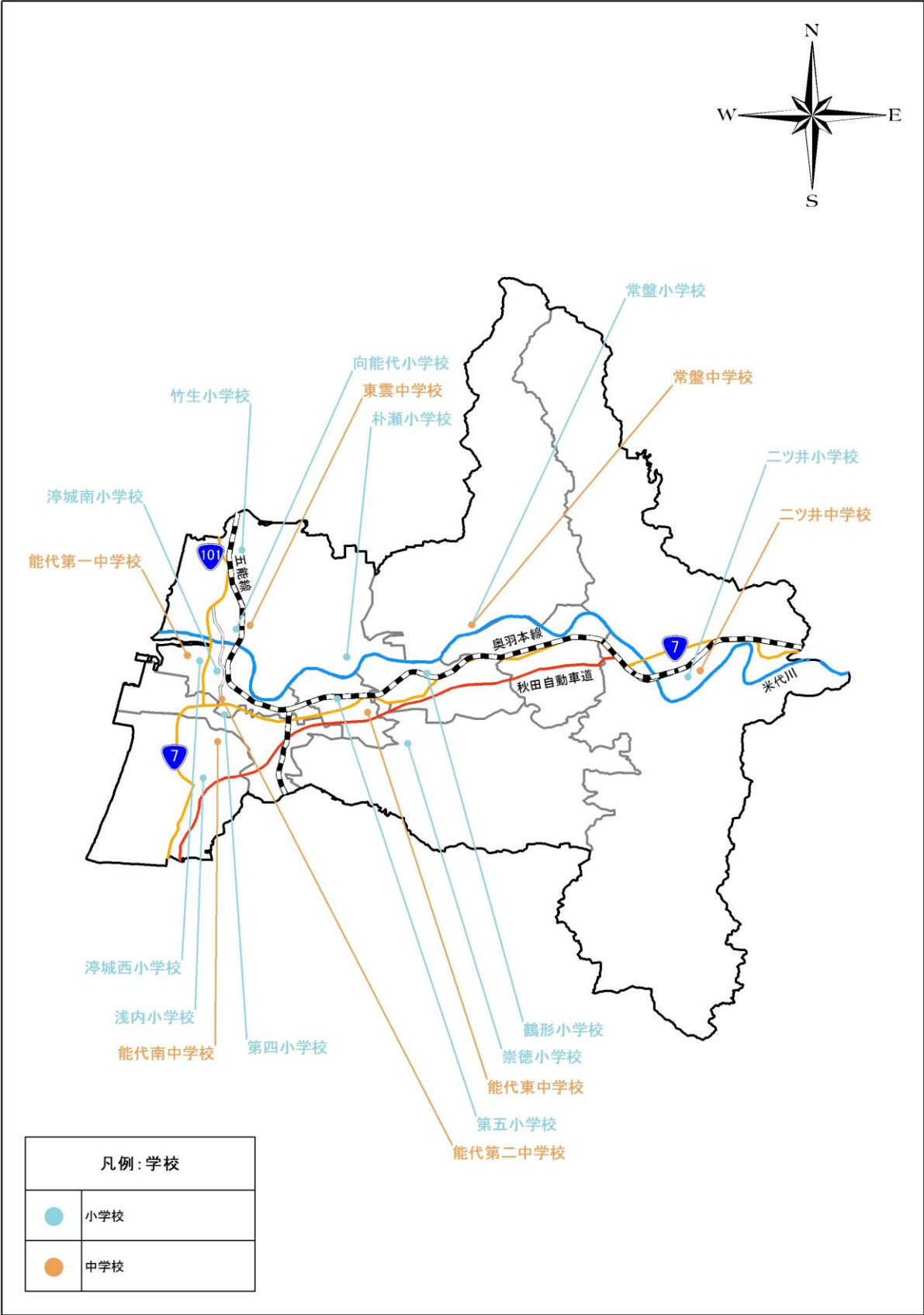
表 4-8-2 学校の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	児童数/ 生徒数 (人)	児童/ 生徒 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	児童/ 生徒 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
小学校											
淳城西小学校	25,976	22,000	47,977	426	112,622	15,080	63,057	148,022	0	63,057	—
淳城南小学校	6,737	26,855	33,593	323	104,005	19,628	53,222	164,774	0	53,222	—
第四小学校	10,541	32,660	43,202	564	76,599	72,752	115,955	205,594	0	115,955	—
向能代小学校	5,621	34,817	40,439	401	100,845	21,315	61,755	154,002	0	61,755	—
朴瀬小学校	4,718	7,753	12,471	22	566,902	9,719	22,191	1,008,698	0	22,191	—
竹生小学校	6,511	8,428	14,939	28	533,569	9,409	24,349	869,625	0	24,349	—
第五小学校	8,504	25,708	34,213	180	190,073	57,793	92,006	511,148	0	92,006	—
崇徳小学校	7,974	8,263	16,238	22	738,094	48,961	65,199	2,963,621	0	65,199	—
鶴形小学校	3,134	8,437	11,571	28	413,283	9,647	21,219	757,841	0	21,219	—
浅内小学校	6,771	17,244	24,016	110	218,328	50,744	74,760	679,643	0	74,760	—
常盤小学校	4,350	12,299	16,650	50	333,009	22,981	39,632	792,648	0	39,632	—
二ツ井小学校	8,205	27,718	35,923	297	120,955	70,221	106,145	357,391	0	106,145	—
小計	99,049	232,188	331,237	2,451	135,143	408,257	739,495	301,711	0	739,495	0
中学校											
能代第一中学校	7,249	30,466	37,716	236	159,815	22,764	60,480	256,274	0	60,480	—
能代第二中学校	8,431	36,427	44,858	312	143,778	29,264	74,123	237,574	0	74,123	—
東雲中学校	11,480	24,475	35,955	251	143,249	75,932	111,887	445,768	0	111,887	—
能代東中学校	5,214	18,146	23,360	152	153,688	27,331	50,692	333,502	0	50,692	—
能代南中学校	10,206	16,456	26,663	212	125,771	21,838	48,502	228,783	0	48,502	—
常盤中学校	9,606	5,367	14,974	34	440,431	37,131	52,106	1,532,532	0	52,106	—
二ツ井中学校	9,723	23,690	33,413	177	188,778	28,761	62,174	351,270	0	62,174	—
小計	61,913	155,029	216,943	1,374	157,892	243,023	459,967	334,765	0	459,967	0
合計	160,963	387,218	548,181	3,825	143,315	651,280	1,199,462	313,584	0	1,199,462	0

小学校の児童数の合計は 2,451 人です。これらの施設にかかるフルコストは 739,495 千円です。

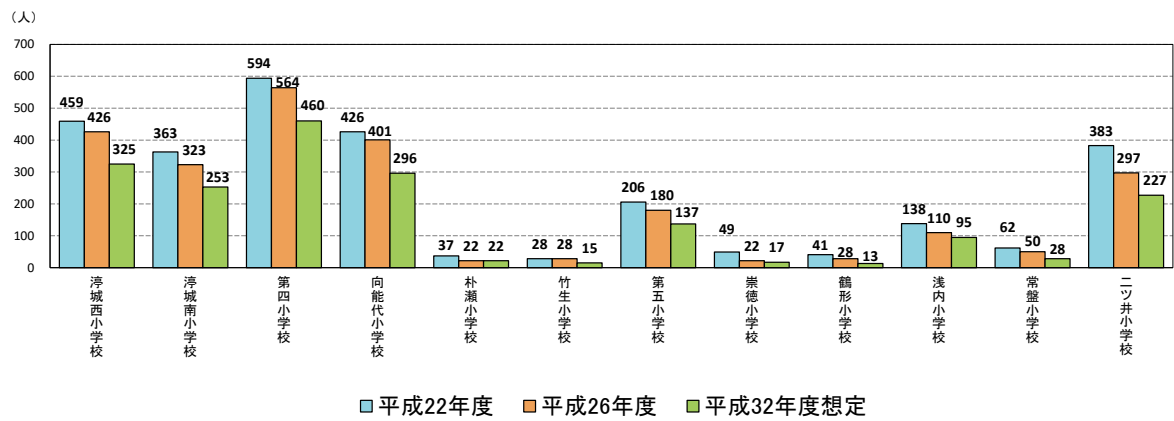
中学校の生徒数の合計は 1,374 人です。これらの施設にかかるフルコストは 459,967 千円です。

図 4-8-1 学校の配置状況



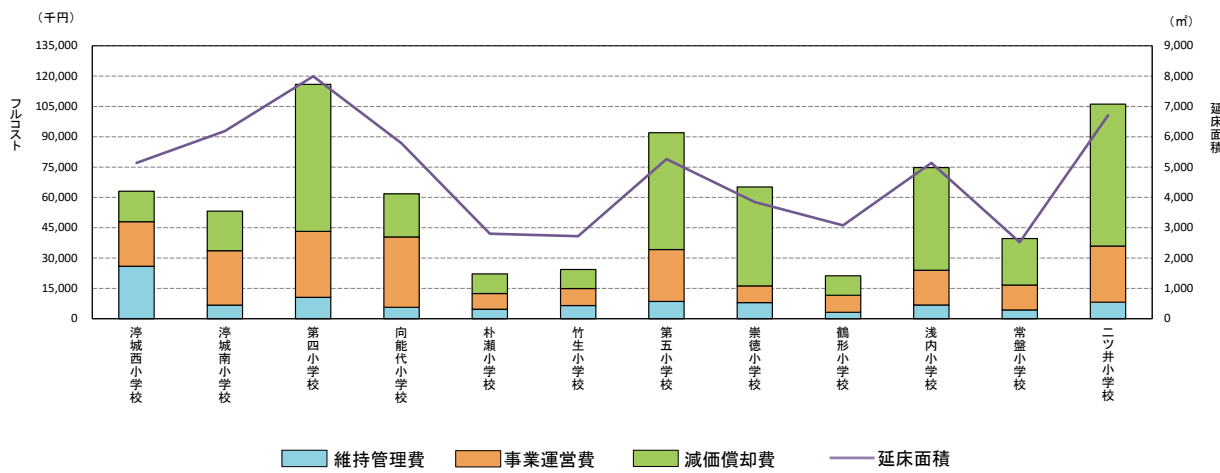
① 〔学校〕 小学校の状況

図 4-8-2 小学校の児童数の推移



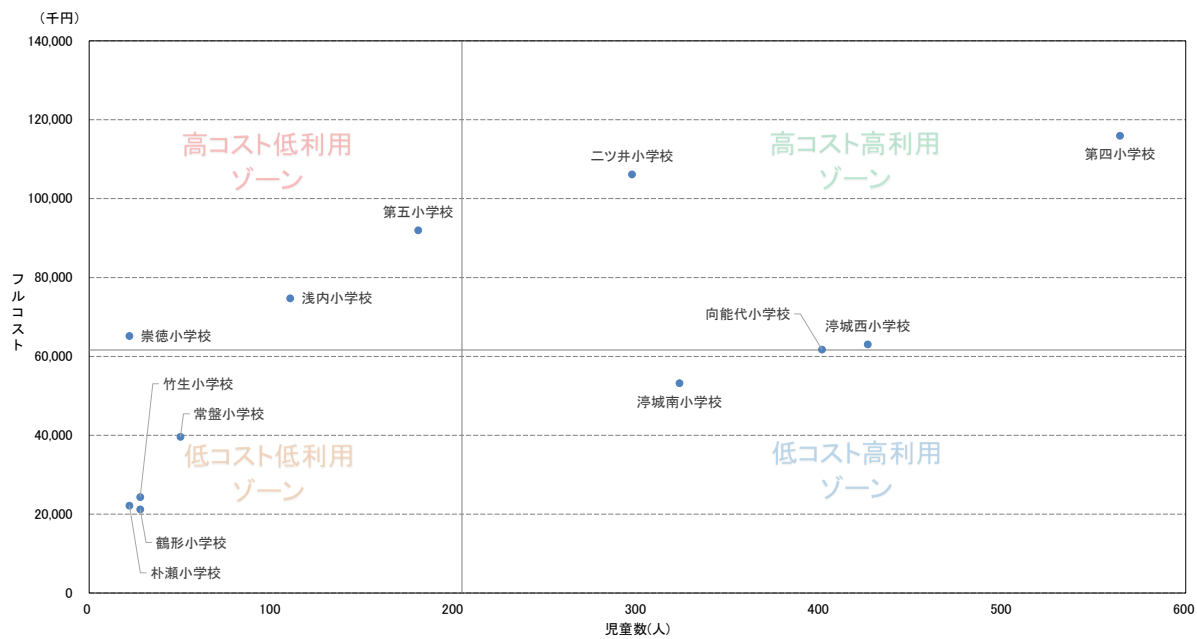
小学校のうち、平成 26 年度の児童数が最も多い施設は、第四小学校（564 人）であり、2 番目は湊城西小学校（426 人）です。全ての施設で児童数が減少しており、児童数が 50 人を下回る施設が 5 施設あります。

図 4-8-3 小学校のフルコストと延床面積



小学校のうち、延床面積が最も広い施設は、第四小学校（7,997 ㎡）であり、2 番目は二ツ井小学校（6,711 ㎡）です。また、フルコストが最も高い施設は、第四小学校（115,955 千円）であり、2 番目は二ツ井小学校（106,145 千円）です。

図 4-8-4 小学校の児童数とフルコスト



児童数は、第四小学校で 564 人、淳城西小学校で 426 人と多くなっています。一方で、児童数が 50 人を下回る施設が 5 施設あります。

図 4-8-5 小学校の延床面積と耐用年数到来年度

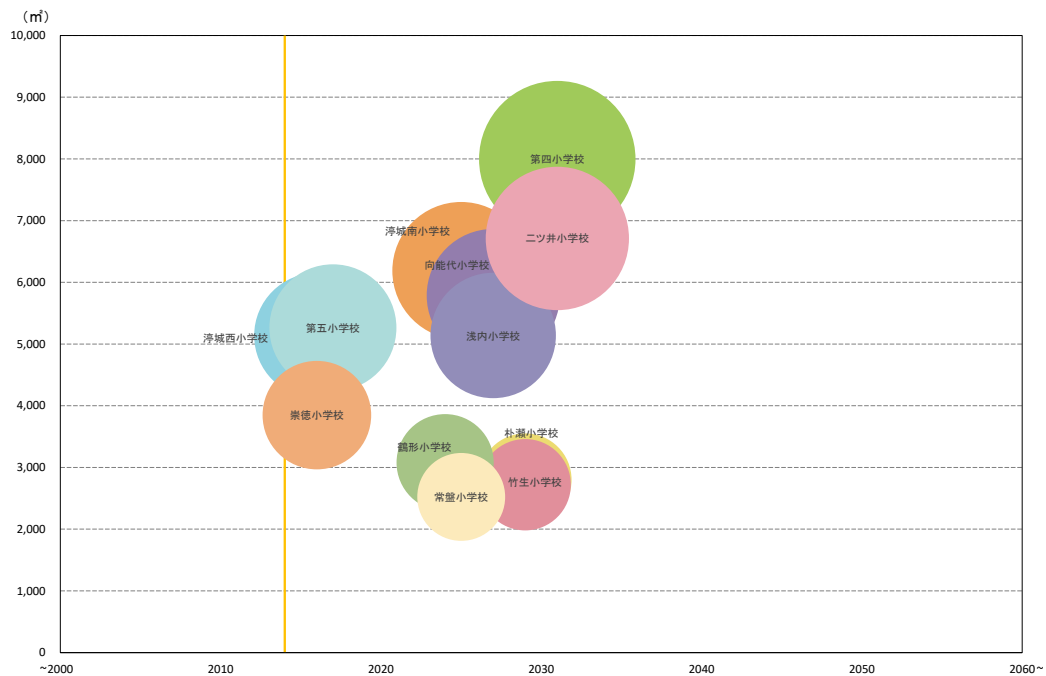
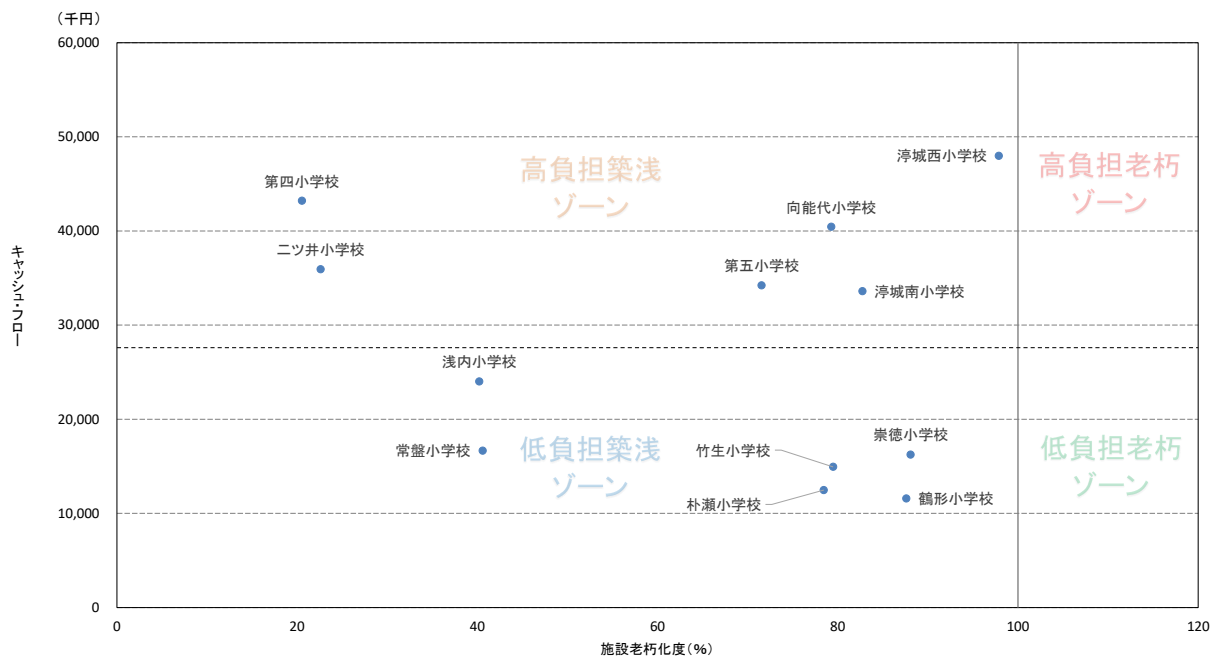


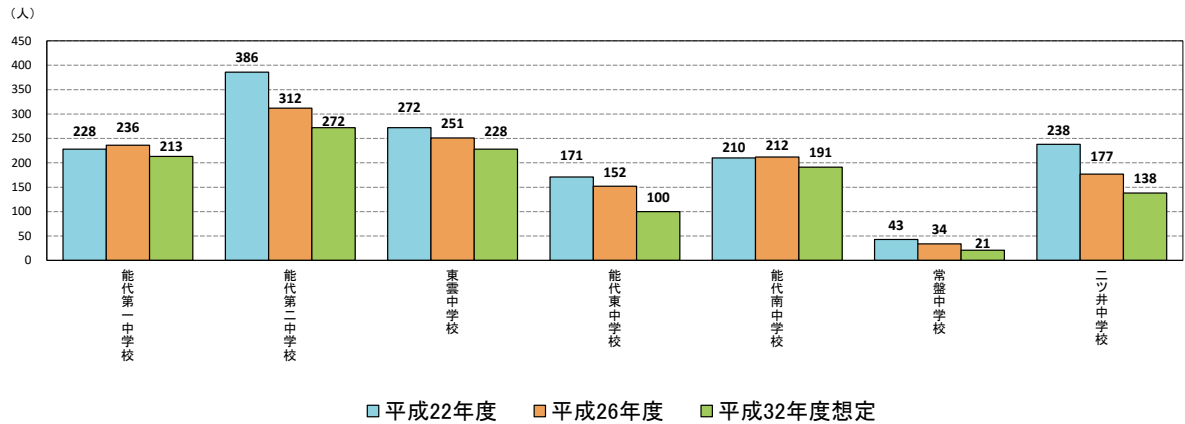
図 4-8-6 小学校のキャッシュ・フローと老朽化度



小学校は、昭和 55 年度以前の旧耐震基準で建築された施設が 4 校ありますが、いずれも耐震化工事が完了しています。

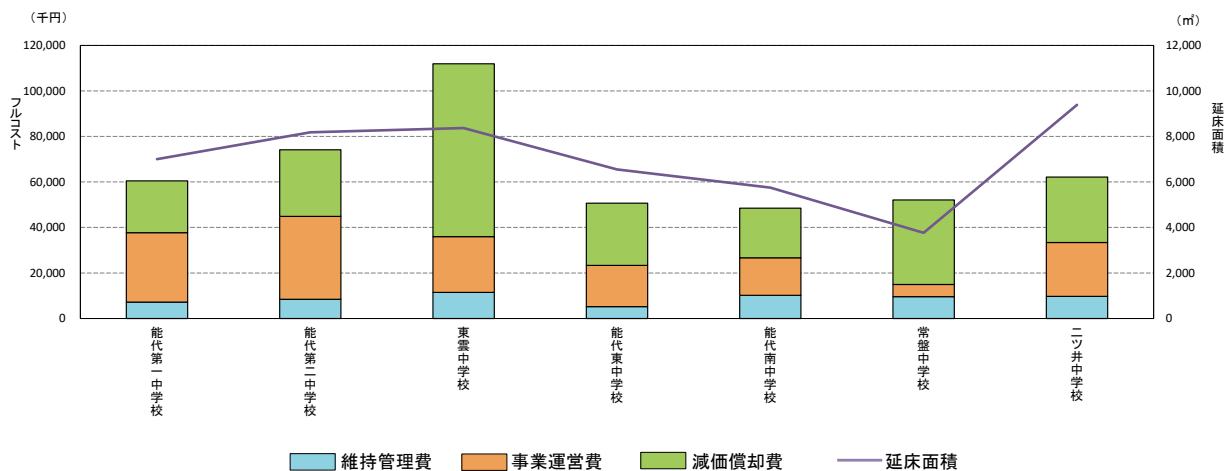
② 【学校】中学校の状況

図 4-8-7 中学校の生徒数の推移



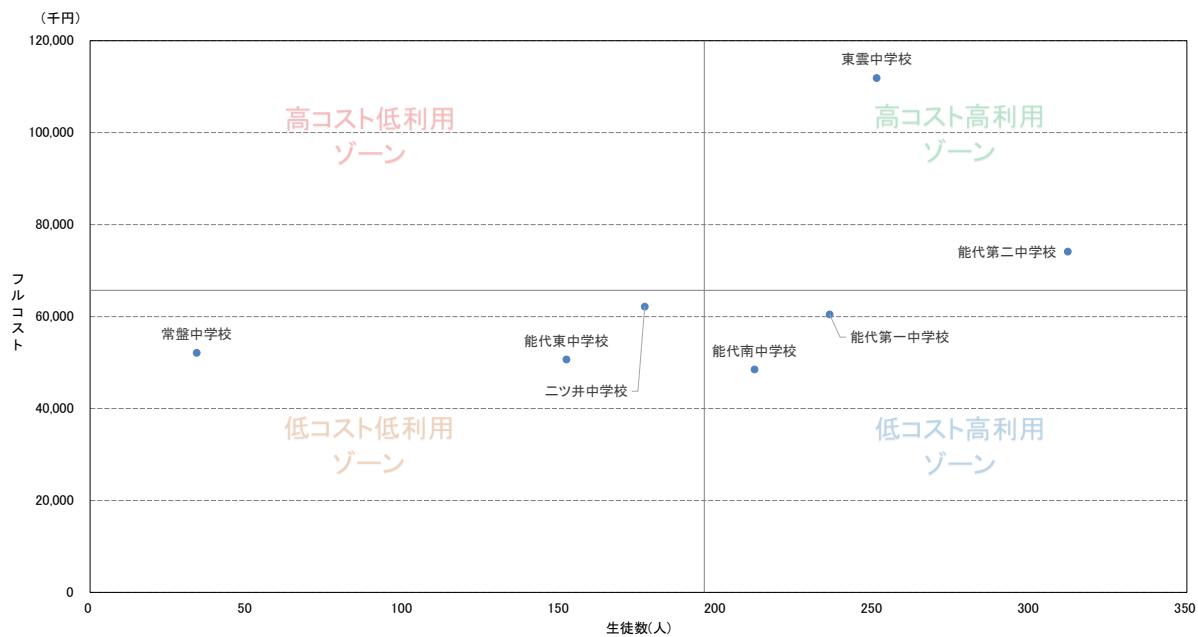
中学校のうち、平成26年度の生徒数が最も多い施設は、能代第二中学校（312人）であり、2番目は東雲中学校（251人）です。最も生徒数が少ない施設は、常盤中学校（34人）です。常盤中学校は常盤小学校と同じ場所に位置し、地域連携施設が併設されています。

図 4-8-8 中学校のフルコストと延床面積



中学校のうち、延床面積が最も広い施設は、ニツ井中学校（9,385㎡）であり、2番目は東雲中学校（8,367㎡）です。また、フルコストが最も高い施設のは、東雲中学校（111,887千円）であり、2番目は能代第二中学校（74,123千円）です。

図 4-8-9 中学校の生徒数とフルコスト



生徒数は、能代第二中学校で 312 人、東雲中学校で 251 人と多くなっていますが、一方、常盤中学校で 34 人と少なくなっています。

図 4-8-10 中学校の延床面積と耐用年数到来年度

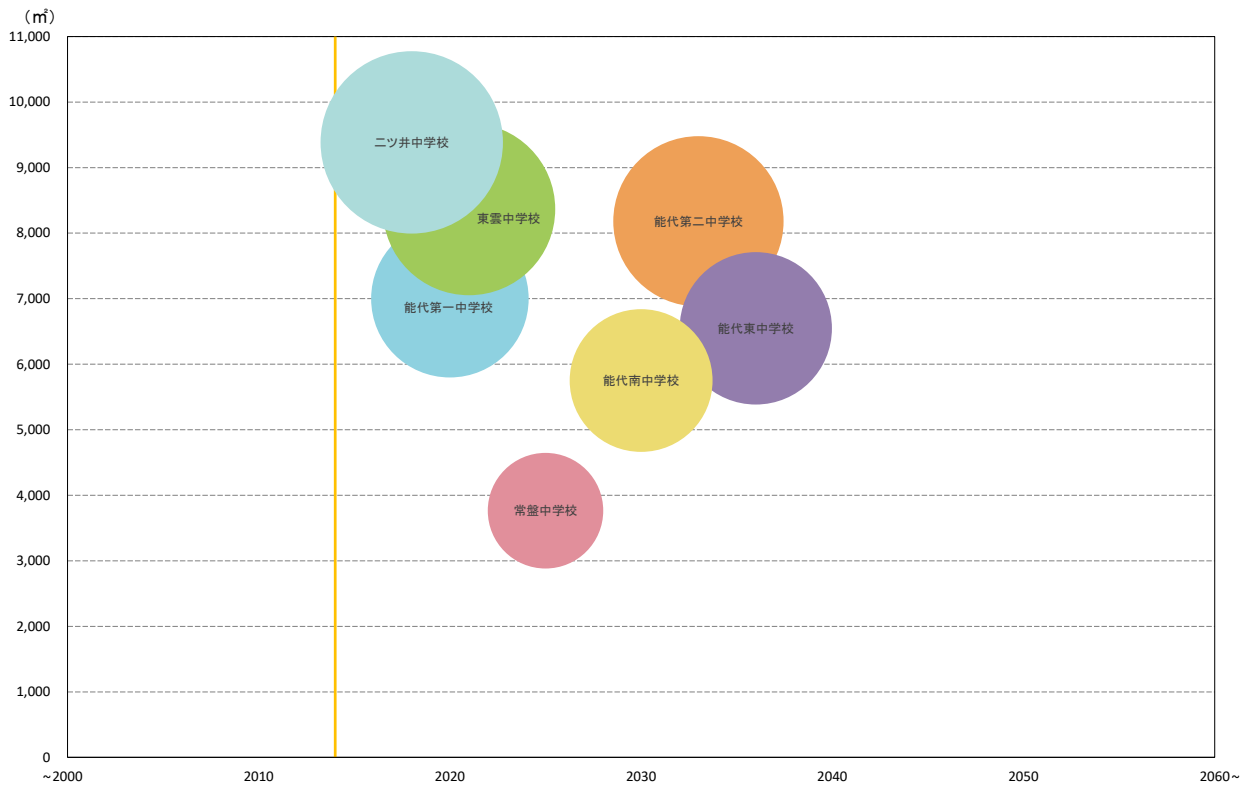
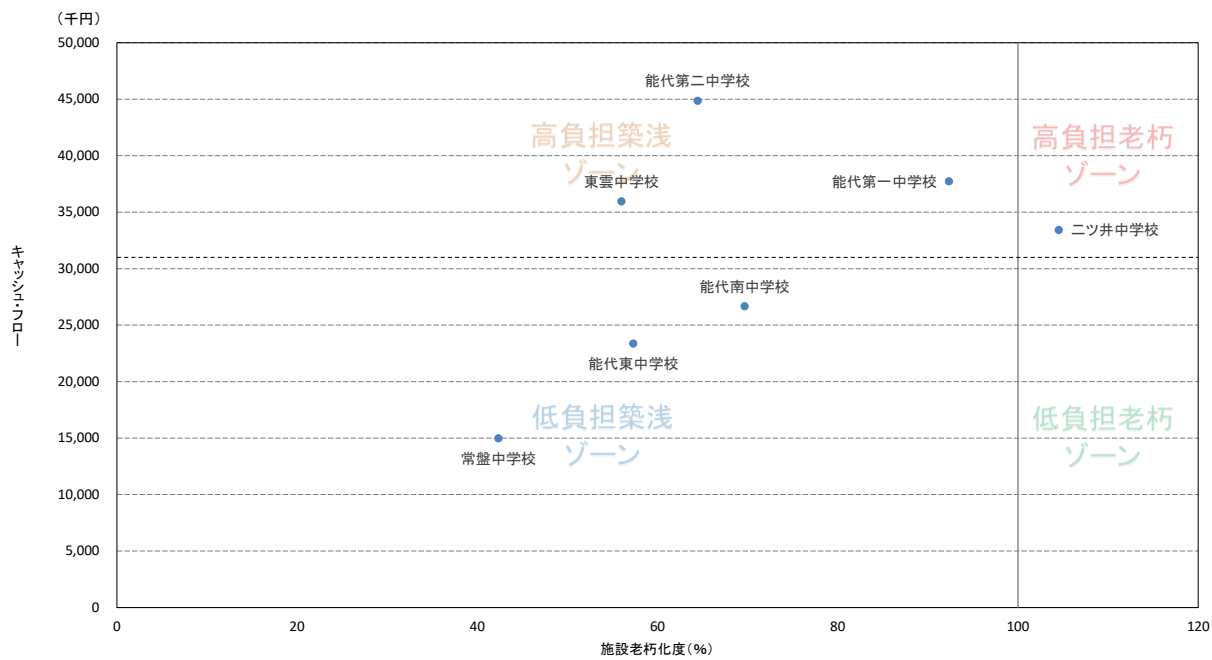


図 4-8-11 中学校のキャッシュ・フローと老朽化度



中学校は、昭和 55 年度以前の旧耐震基準で建築された施設が 2 校ありますが、いずれも耐震化工事が完了しています。

9 その他教育施設の状況

表 4-9-1 その他教育施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
その他 教育施設	本庁	1	南部共同調理場	直営		1,613	12.9	平成 22年度	鉄骨造
	向能代	2	北部共同調理場	直営		621	45.2	平成 12年度	鉄骨造
	二ツ井	3	二ツ井共同調理場	直営		824	16.1	平成 21年度	鉄骨造
	二ツ井	4	旧仁鮎小学校	直営	●	2,020	385.5	昭和 4年度	木造
	二ツ井	5	旧種梅小学校	直営		760	280.1	昭和 27年度	木造
	二ツ井	6	旧田代小学校	直営	●	1,030	293.8	昭和 24年度	木造
	二ツ井	7	旧切石小学校	直営	●	1,590	282.0	昭和 27年度	木造
	二ツ井	8	旧天神小学校	直営	●	255	295.1	昭和 25年度	木造
	富根	9	旧富根小学校	直営		3,231	86.0	昭和 50年度	鉄筋コンクリート
小計						11,943			
合計						11,943			

その他教育施設は、市内に 9 施設あり、延床面積は合計 11,943 ㎡です。

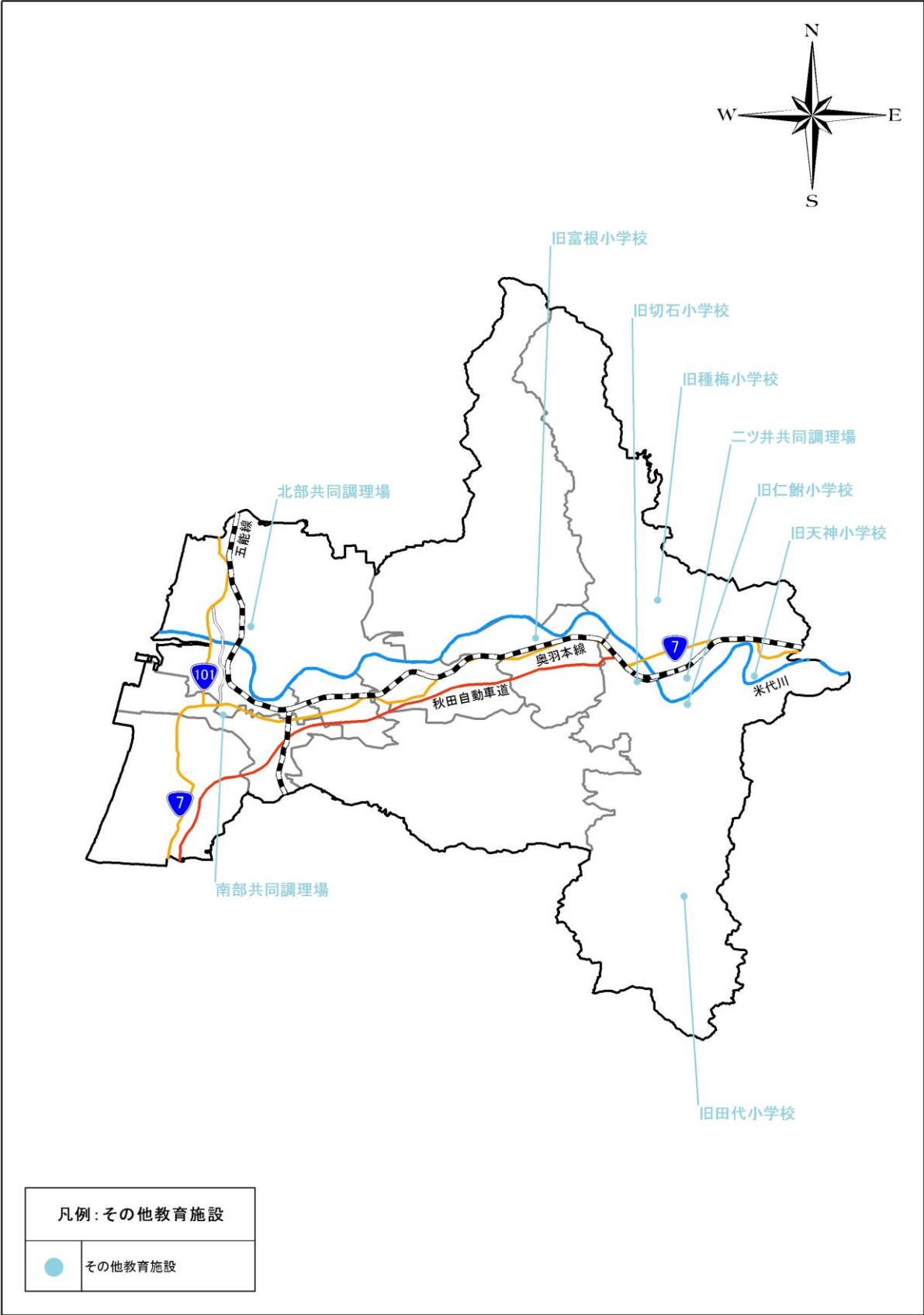
旧小学校は、廃校施設を地域の要望により活用しているものであり、二ツ井公民館の分館として利用されている施設も含まれています。

表 4-9-2 その他教育施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たりのコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
その他教育施設											
南部共同調理場	28,263	59,649	87,913	—	—	19,784	107,698	—	0	107,698	—
北部共同調理場	10,459	25,278	35,738	—	—	13,610	49,349	—	0	49,349	—
二ツ井共同調理場	13,779	25,804	39,583	—	—	11,671	51,255	—	0	51,255	—
旧仁鮎小学校	347	188	535	948	565	0	535	565	0	535	—
旧種梅小学校	40	346	386	888	435	0	386	435	0	386	—
旧田代小学校	377	147	525	152	3,456	0	525	3,456	0	525	—
旧切石小学校	159	710	870	2,389	364	0	870	364	0	870	—
旧天神小学校	61	169	230	367	629	0	230	629	0	230	—
旧富根小学校	410	853	1,264	1,735	728	12,525	13,789	7,948	0	13,789	—
小計	53,898	113,150	167,049	6,479	25,783	57,592	224,641	34,672	0	224,641	0
合計	53,898	113,150	167,049	6,479	25,783	57,592	224,641	34,672	0	224,641	0

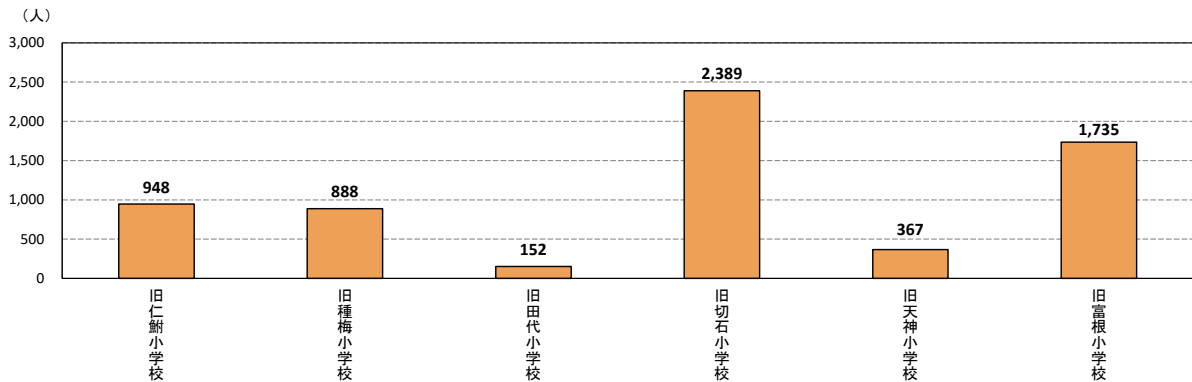
その他教育施設の利用者数の合計は 6,479 人です。これらの施設にかかるフルコストは 224,641 千円です。

図 4-9-1 その他教育施設の配置状況



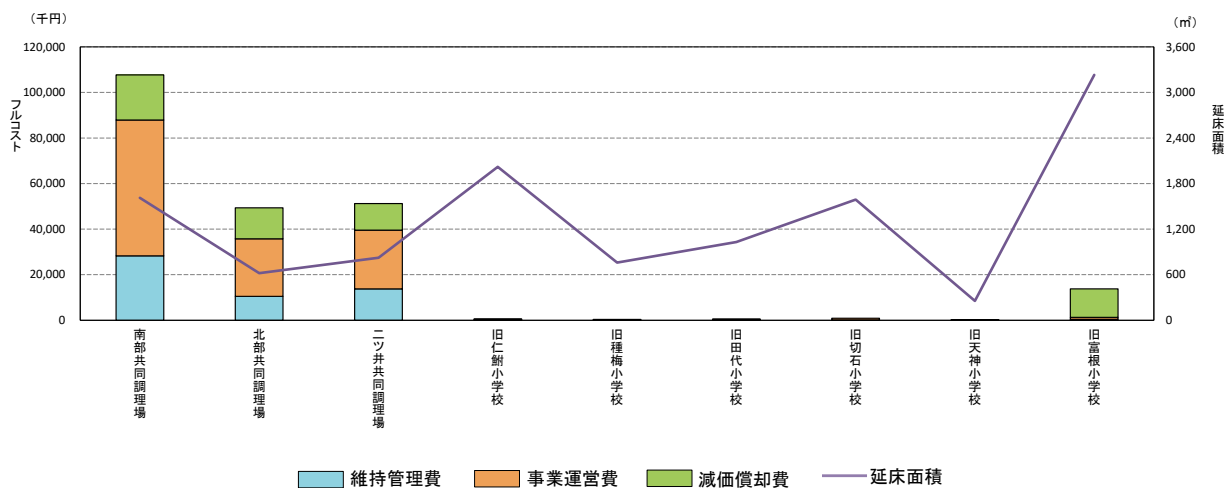
① 〔その他教育施設〕 その他教育施設の状況

図 4-9-2 その他教育施設の利用者数(平成 26 年度)



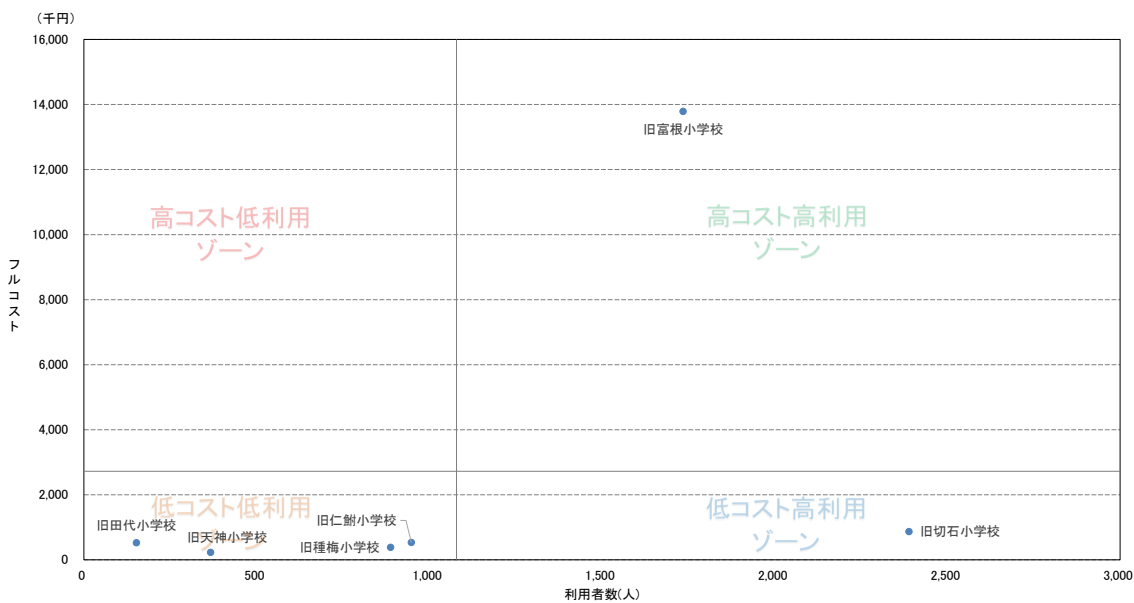
その他教育施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、旧切石小学校（2,389 人）であり、2 番目は旧富根小学校（1,735 人）です。最も利用者数が少ない施設は、旧田代小学校（152 人）であり、2 番目は旧天神小学校（367 人）です。

図 4-9-3 その他教育施設のフルコストと延床面積



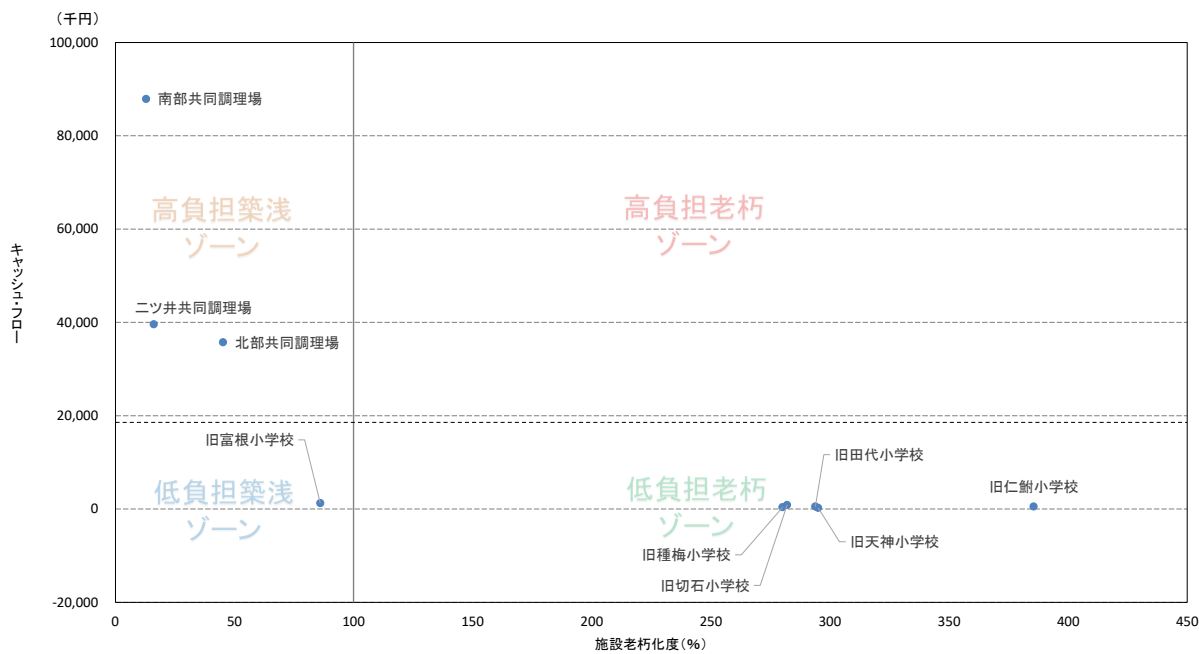
その他教育施設のうち、延床面積が最も広い施設は、旧富根小学校（3,231 m²）であり、2 番目は旧仁鮎小学校（2,020 m²）です。また、フルコストが最も高い施設は、南部共同調理場（107,698 千円）であり、2 番目はニツ井共同調理場（51,255 千円）です。

図 4-9-4 その他教育施設の利用者数とフルコスト



旧富根小学校のフルコストが高くなっていますが、減価償却費負担によるものです。その他の施設のフルコストは利用者数に関わらず低くなっています。

図 4-9-5 その他教育施設のキャッシュ・フローと老朽化度



その他教育施設では、旧仁鮎小学校、旧種梅小学校、旧田代小学校、旧切石小学校、旧天神小学校で老朽化度 100%を大きく超えており、老朽化が進んでいます。また、南部共同調理場は老朽化度は低くなっていますが、キャッシュ・フローの負担が多くなっています。

10 幼保・子ども園の状況

表 4-10-1 幼保・子ども園の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
保育所	本庁	1	第一保育所	直営	●	601	23.4	平成 15年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	本庁	2	第四保育所	直営		685	90.8	昭和 51年度	鉄筋コンクリート
	檜山	3	檜山保育所	直営		262	163.7	昭和 55年度	木造
	浅内	4	浅内保育所	直営		210	213.7	昭和 43年度	木造
	二ツ井	5	二ツ井子ども園	直営		864	175.5	昭和 53年度	木造
	二ツ井	6	きみまち子ども園	直営		668	144.2	昭和 58年度	木造
小計						3,290			
合計						3,290			

※檜山保育所は平成 26 年度で廃止となっています。

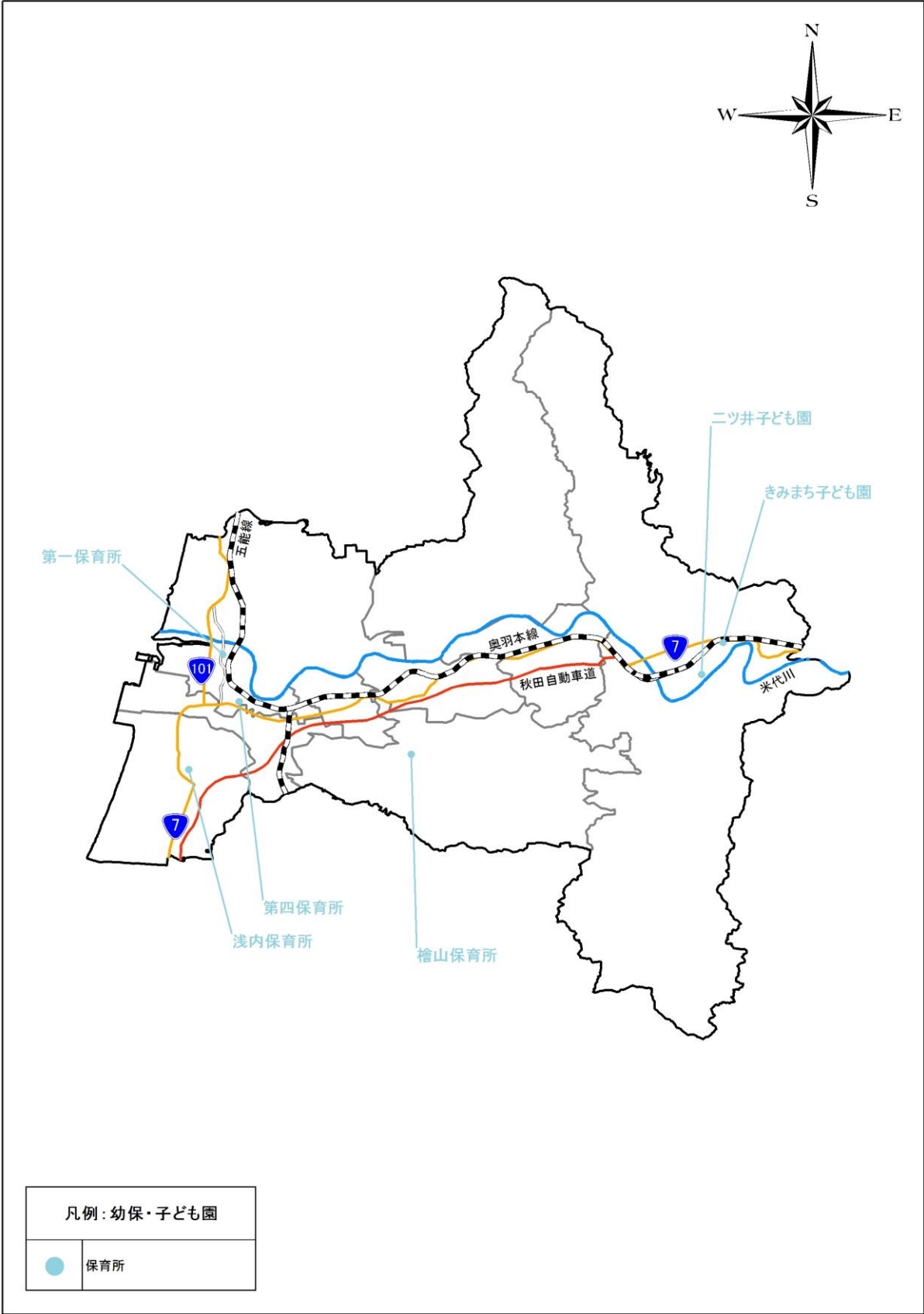
保育所は、市内に 6 施設あり、延床面積は合計 3,290 ㎡です。

表 4-10-2 幼保・子ども園の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	園児数 (人)	園児 1人当た りのコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	園児 1人当た りのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
保育所											
第一保育所	4,136	89,441	93,578	83	1,127,455	1,786	95,365	1,148,977	14,966	80,398	—
第四保育所	3,485	66,582	70,068	78	898,315	2,555	72,624	931,077	12,968	59,655	—
檜山保育所	702	15,323	16,025	4	4,006,415	0	16,025	4,006,415	269	15,756	—
浅内保育所	835	15,775	16,611	12	1,384,271	0	16,611	1,384,271	1,785	14,825	—
二ツ井子ども園	3,018	87,539	90,557	92	984,321	0	90,557	984,321	17,061	73,495	—
きみまち子ども園	4,350	85,557	89,908	87	1,033,430	0	89,908	1,033,430	13,599	76,308	—
小計	16,530	360,219	376,750	356	1,058,287	4,341	381,092	1,070,483	60,652	320,439	0
合計	16,530	360,219	376,750	356	1,058,287	4,341	381,092	1,070,483	60,652	320,439	0

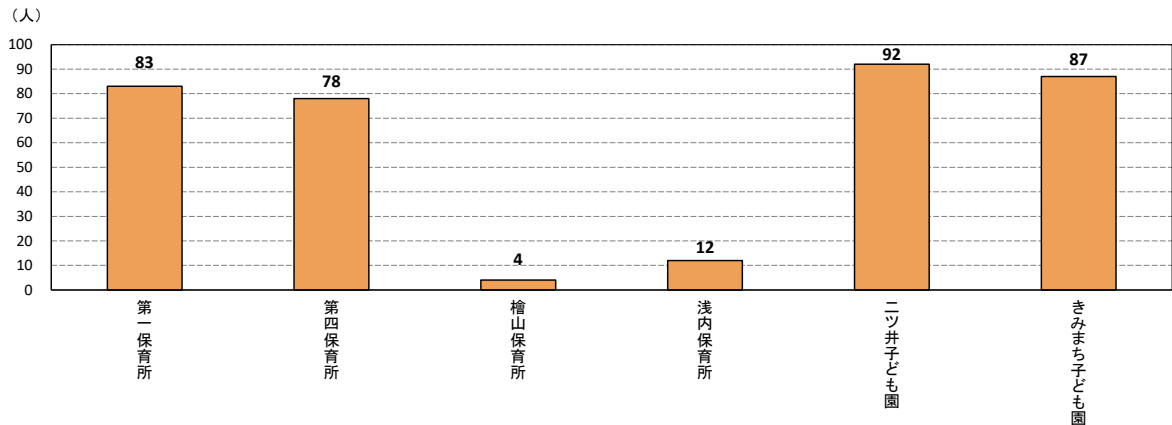
保育所の園児数の合計は356人です。これらの施設にかかるフルコストは381,092千円です。

図 4-10-1 幼保・子ども園の配置状況



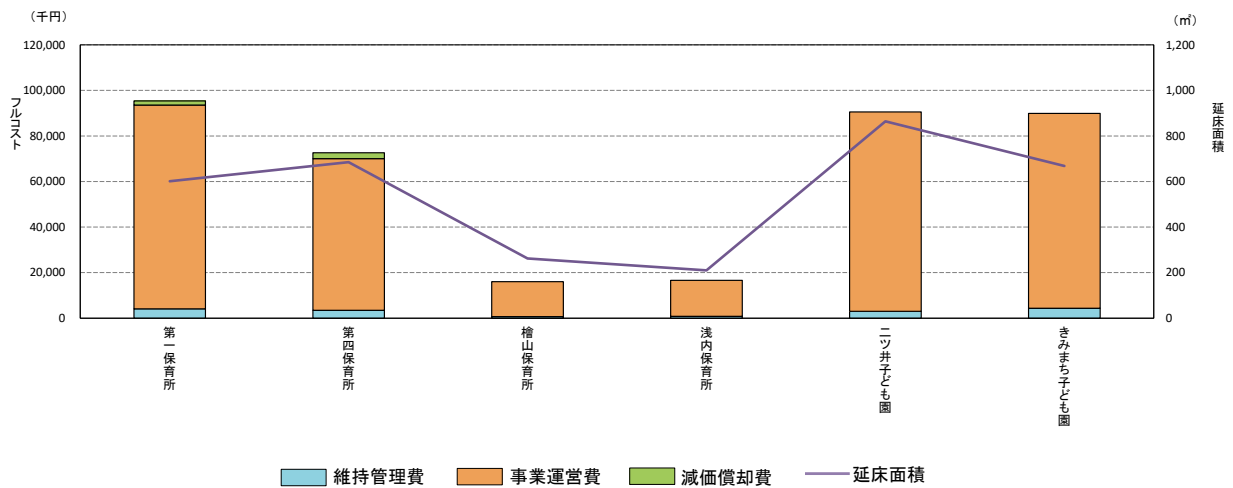
① 〔幼保・子ども園〕 保育所の状況

図 4-10-2 保育所の園児数



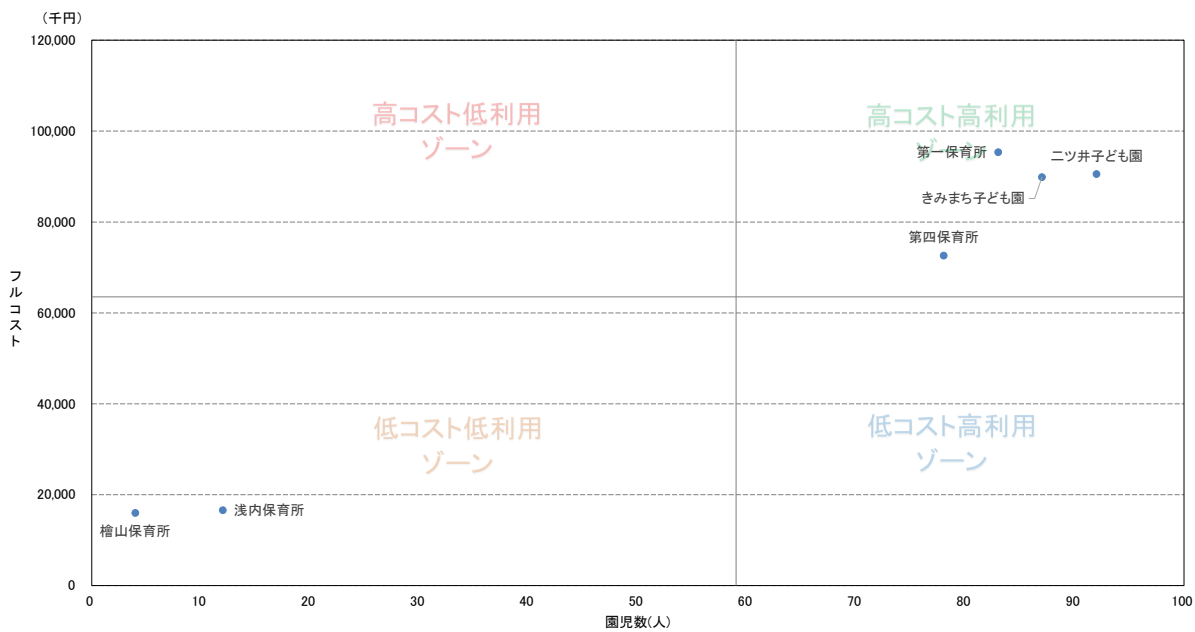
保育所の園児数は浅内保育所と檜山保育所を除き、ほぼ同水準となっています。

図 4-10-3 保育所のフルコストと延床面積



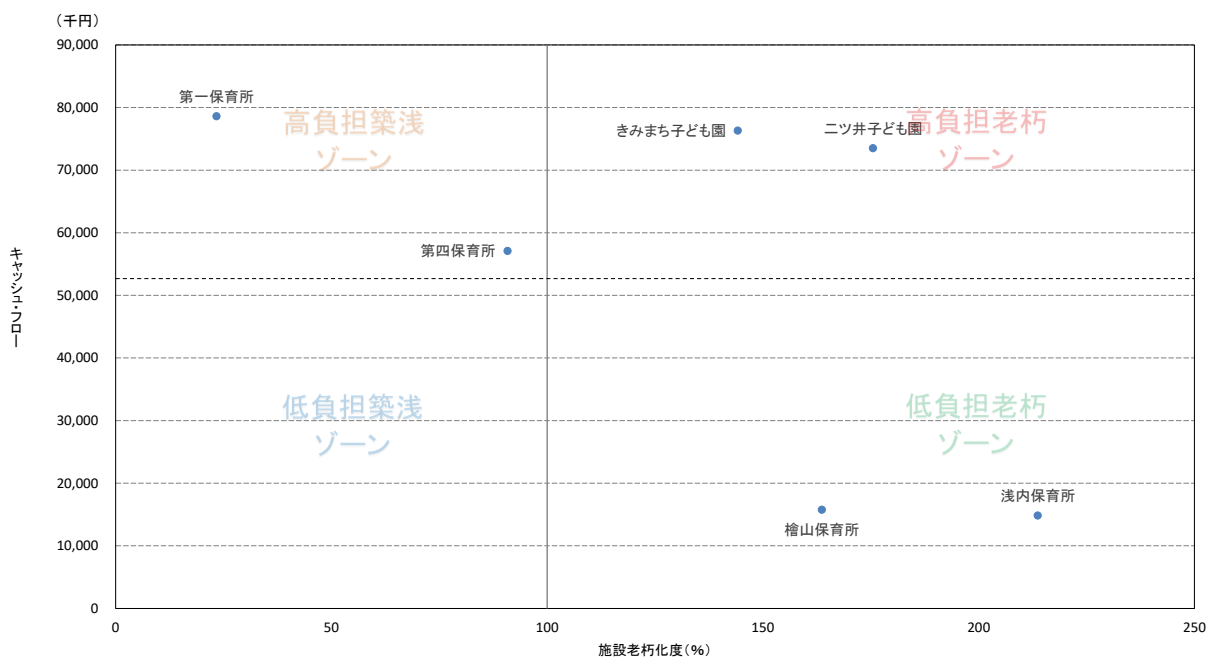
保育所のうち、延床面積が最も広い施設は、ニツ井子ども園 (864 ㎡) であり、2 番目は第四保育所 (685 ㎡) です。また、フルコストが最も高い施設は、第一保育所 (95,365 千円) であり、2 番目はニツ井子ども園 (90,557 千円) です。

図 4-10-4 保育所の園児数とフルコスト



浅内保育所と檜山保育所以外の4施設間で園児数、フルコストに大きな差はありません。

図 4-10-5 保育所のキャッシュ・フローと老朽化度



保育所では、第一保育所、第四保育所を除く施設で、老朽化度が 100%を超えており、老朽化が進んだ施設が多くなっています。

11 幼児・児童施設の状況

表 4-11-1 幼児・児童施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
子育て 支援センター	本庁	1	子育て支援センター(サンピノ)	直営	●	80	23.4	平成 15年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	二ツ井	2	子育て支援センター(さんぽえむ)	直営	●	502	154.6	昭和 56年度	木造
小計						583			
児童館	二ツ井	1	二ツ井児童館	直営		271	186.4	昭和 48年度	木造
小計						271			
放課後 児童クラブ	本庁	1	樽子山の家留守家庭児童会	業務委託		99	113.6	平成 1年度	木造
	本庁	2	四小青空会留守家庭児童会	業務委託		181	3.8	平成 26年度	軽量鉄骨造
	二ツ井	3	切石児童クラブ	直営		231	118.2	平成 1年度	木造
	富根	4	富根児童クラブ	直営		739	158.4	昭和 55年度	木造
小計						1,250			
合計						2,104			

※切石児童クラブ、富根児童クラブは平成 26 年度で廃止となっています。

子育て支援センターは、市内に 2 施設あり、延床面積は合計 583 ㎡です。

児童館は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 271 ㎡です。

放課後児童クラブは、専用施設として市内に 4 施設あり、延床面積は合計 1,250 ㎡です。その他、学校の多目的教室等を活用している施設があります。

表 4-11-2 幼児・児童施設の利用度とコストの一覧

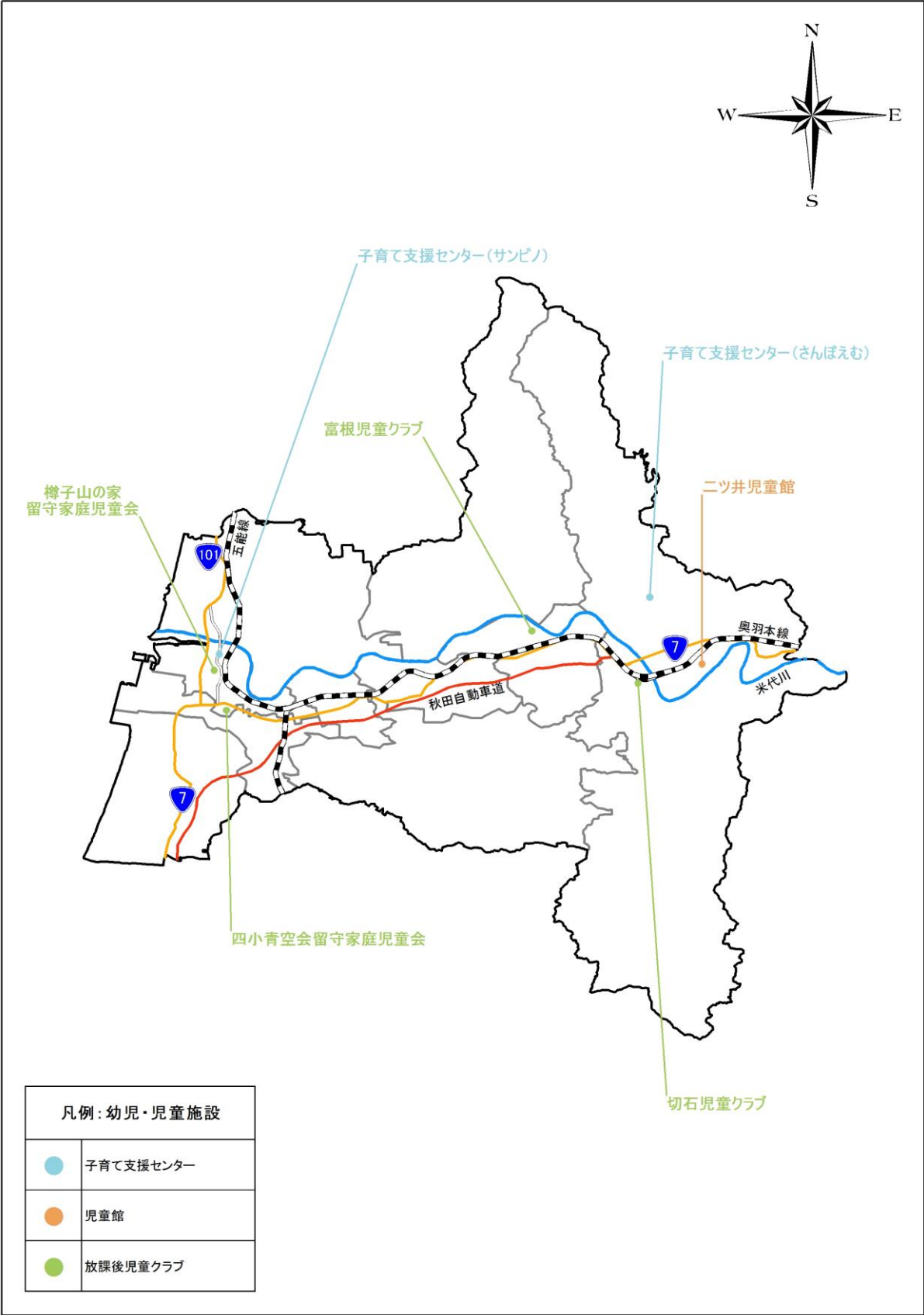
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たりの コスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たりの フルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
子育て支援センター											
子育て支援センター(サンピノ)	0	20,897	20,897	—	—	238	21,136	—	0	21,136	—
子育て支援センター(さんぽえむ)	674	11,271	11,946	—	—	0	11,946	—	0	11,946	—
小計	674	32,169	32,844	0	0	238	33,082	0	0	33,082	0
児童館											
二ツ井児童館	1,273	5,353	6,627	488	13,580	0	6,627	13,580	0	6,627	—
小計	1,273	5,353	6,627	488	13,580	0	6,627	13,580	0	6,627	0
放課後児童クラブ											
樽子山の家留守家庭児童会	1,029	3,833	4,863	11,475	423	0	4,863	423	2,696	2,167	—
四小青空会留守家庭児童会	562	7,883	8,445	14,419	585	304	8,749	606	3,316	5,433	—
切石児童クラブ	289	977	1,266	1,121	1,129	0	1,266	1,129	0	1,266	—
富根児童クラブ	348	999	1,348	1,431	942	0	1,348	942	0	1,348	—
小計	2,229	13,693	15,923	28,446	559	304	16,227	570	6,012	10,215	0
合計	4,178	51,216	55,395	28,934	1,914	542	55,937	1,933	6,012	49,925	0

子育て支援センターにかかるフルコストは 33,082 千円です。

児童館の利用者数の合計は 488 人です。これらの施設にかかるフルコストは 6,627 千円です。

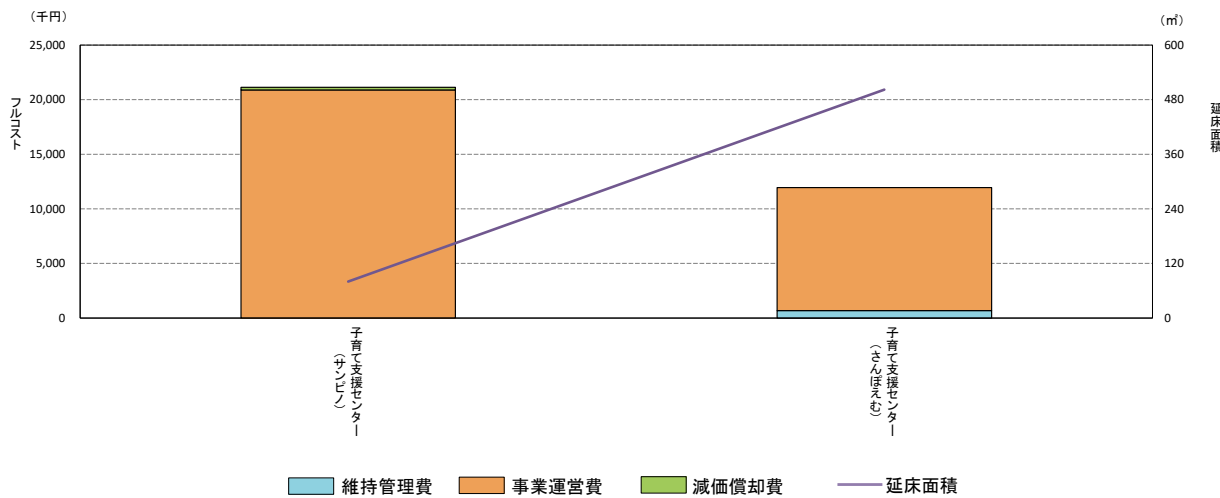
放課後児童クラブの利用者数の合計は 28,446 人です。これらの施設にかかるフルコストは 16,227 千円です。

図 4-11-1 幼児・児童施設の配置状況



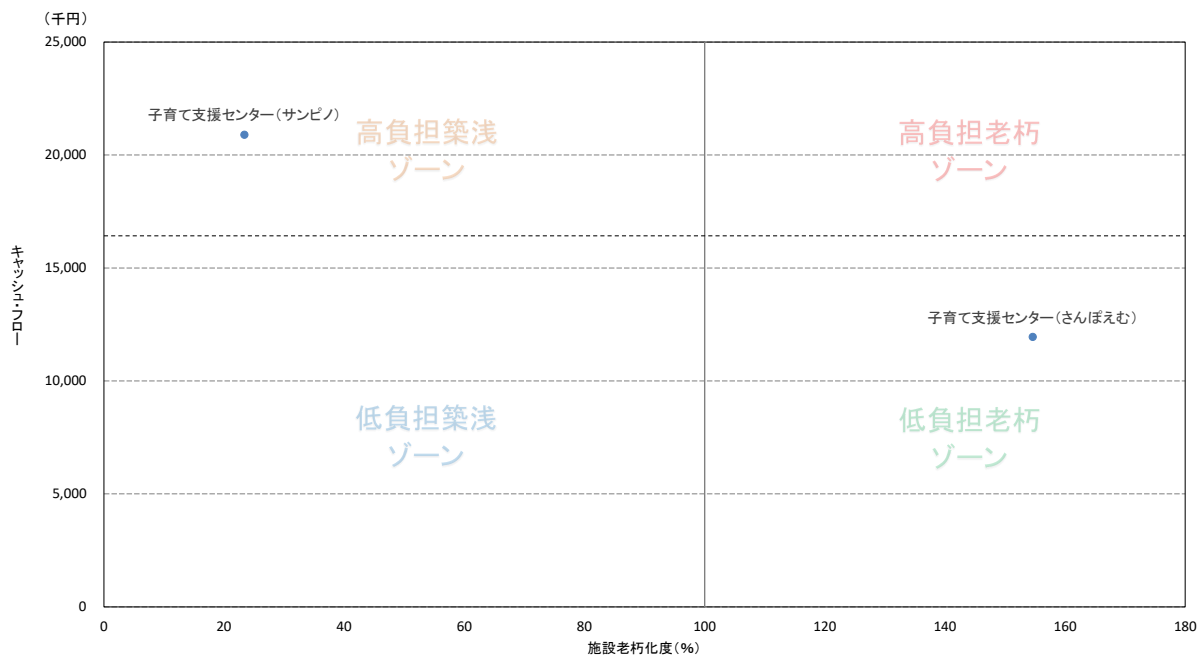
① 〔幼児・児童施設〕子育て支援センターの状況

図 4-11-2 子育て支援センターのフルコストと延床面積



子育て支援センターの延床面積は、子育て支援センター（サンピノ）が 80 ㎡で、子育て支援センター（さんぽえむ）が 502 ㎡です。また、フルコストは、子育て支援センター（サンピノ）が 21,136 千円であり、子育て支援センター（さんぽえむ）が 11,946 千円です。

図 4-11-3 子育て支援センターのキャッシュ・フローと老朽化度



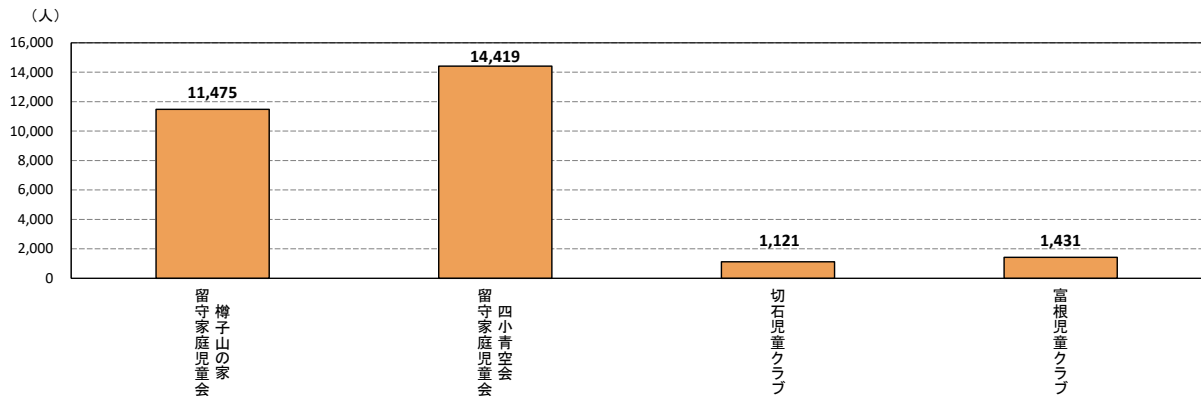
子育て支援センターでは、子育て支援センター（さんぽえむ）の老朽化が進んでいます。

② 〔幼児・児童施設〕児童館の状況

児童館の年間の利用者数は、二ツ井児童館が488人です。また、延床面積は271㎡、フルコストは6,627千円です。

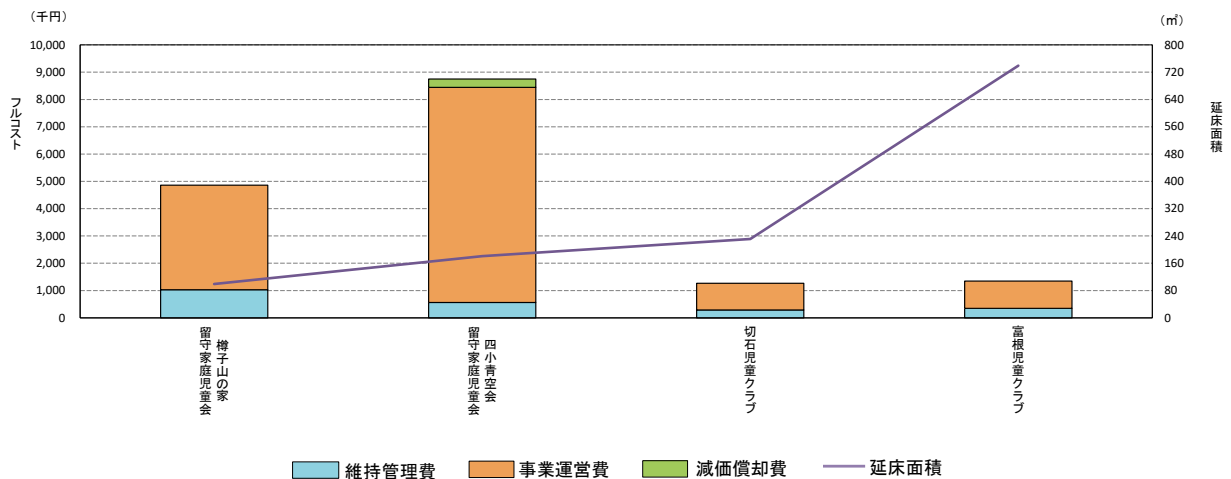
③ 〔幼児・児童施設〕放課後児童クラブの状況

図 4-11-4 放課後児童クラブの利用者数(平成 26 年度)



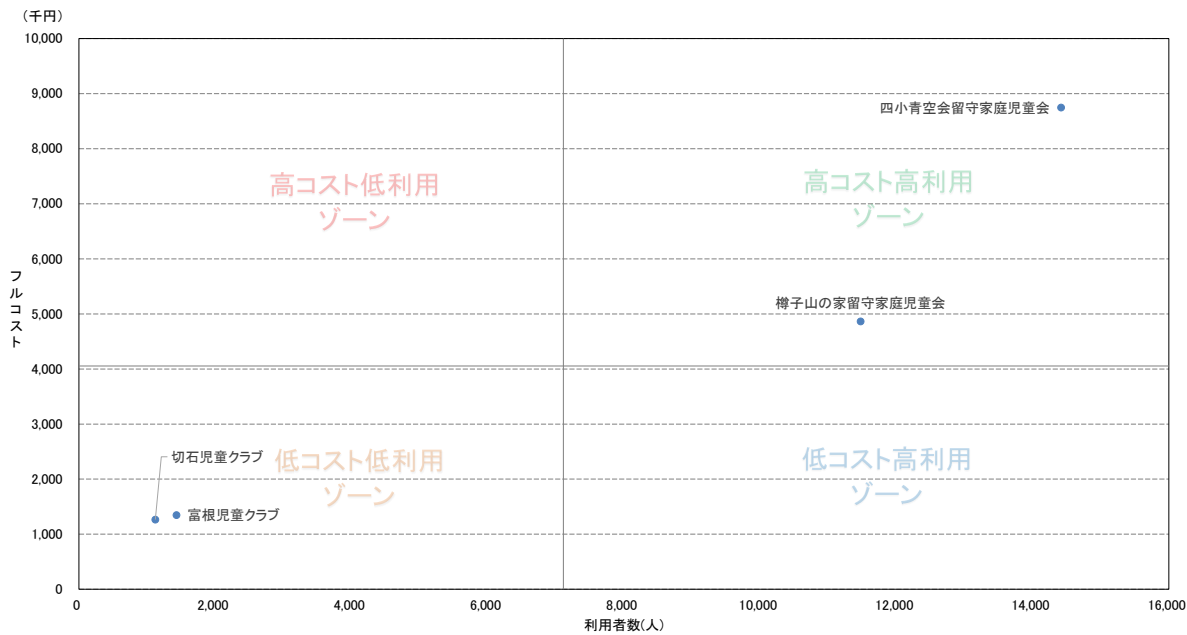
放課後児童クラブのうち、四小青空会留守家庭児童会と樽子山の家留守家庭児童会の利用者数が多く、切石児童クラブ、富根児童クラブの利用者数が少なくなっています。

図 4-11-5 放課後児童クラブのフルコストと延床面積



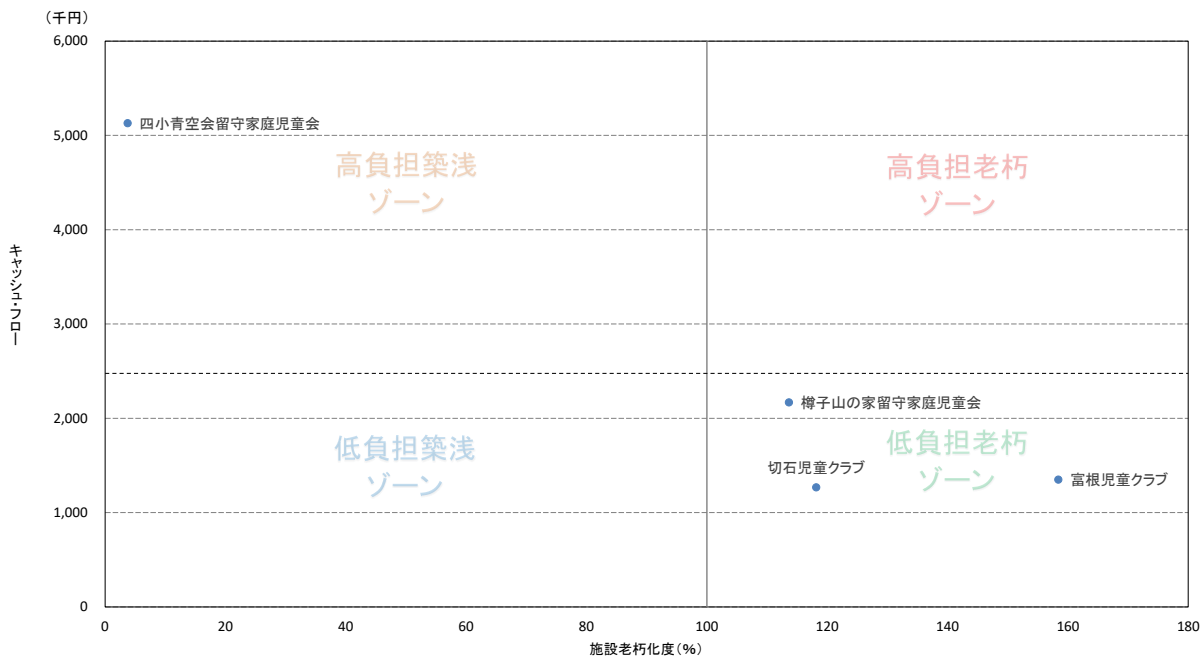
放課後児童クラブのうち、延床面積が最も広い施設は、富根児童クラブ(739㎡)であり、2番目は切石児童クラブ(231㎡)です。また、フルコストが最も高い施設は、四小青空会留守家庭児童会の(8,749千円)であり、2番目は樽子山の家留守家庭児童会(4,863千円)です。

図 4-11-6 放課後児童クラブの利用者数とフルコスト



年間利用者数は、四小青空会留守家庭児童会で 14,419 人、樽子山の家留守家庭児童会で 11,475 人と多くなっています。1 人当たりフルコストは、樽子山の家留守家庭児童会の 423 円/人に対し、四小青空会留守家庭児童会では 606 円/人となっています。

図 4-11-7 放課後児童クラブのキャッシュ・フローと老朽化度



放課後児童クラブでは、四小青空会留守家庭児童会以外の施設で老朽化が進んでいます。

12 高齢福祉施設の状況

表 4-12-1 高齢福祉施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
高齢福祉施設	本庁	1	能代ふれあいプラザ・ 高齢者友愛センター等	直営	●	2,229	23.4	平成 15年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	本庁	2	能代ふれあいデイサービスセンター	指定管理者	●	560	23.4	平成 15年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	本庁	3	東デイサービスセンター	指定管理者		401	121.2	昭和 47年度	鉄骨造
	本庁	4	緑町デイサービスセンター	指定管理者		530	44.1	平成 11年度	鉄骨造
	本庁	5	松籟荘	指定管理者		3,060	21.3	平成 16年度	鉄筋コンクリート
	本庁	6	緑町グループホーム	指定管理者		307	38.2	平成 13年度	鉄骨造
	向能代	7	白濤亭	指定管理者		477	87.2	昭和 48年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	8	高齢者ふれあい交流施設	直営		508	0.0	平成 26年度	木造
	富根	9	松風荘	直営		729	59.2	平成 3年度	鉄筋コンクリート
小計						8,801			
合計						8,801			

※能代ふれあいプラザ・高齢者友愛センター等には、集会交流室、交流空間（エントランスホール、ラウンジ）、ふれあいプラザ事務室、能代地域包括支援センター、能代市社会福祉協議会事務室及び廊下等の共用部分を含みます。

高齢福祉施設は、市内に9施設あり、延床面積は合計 8,801 ㎡です。

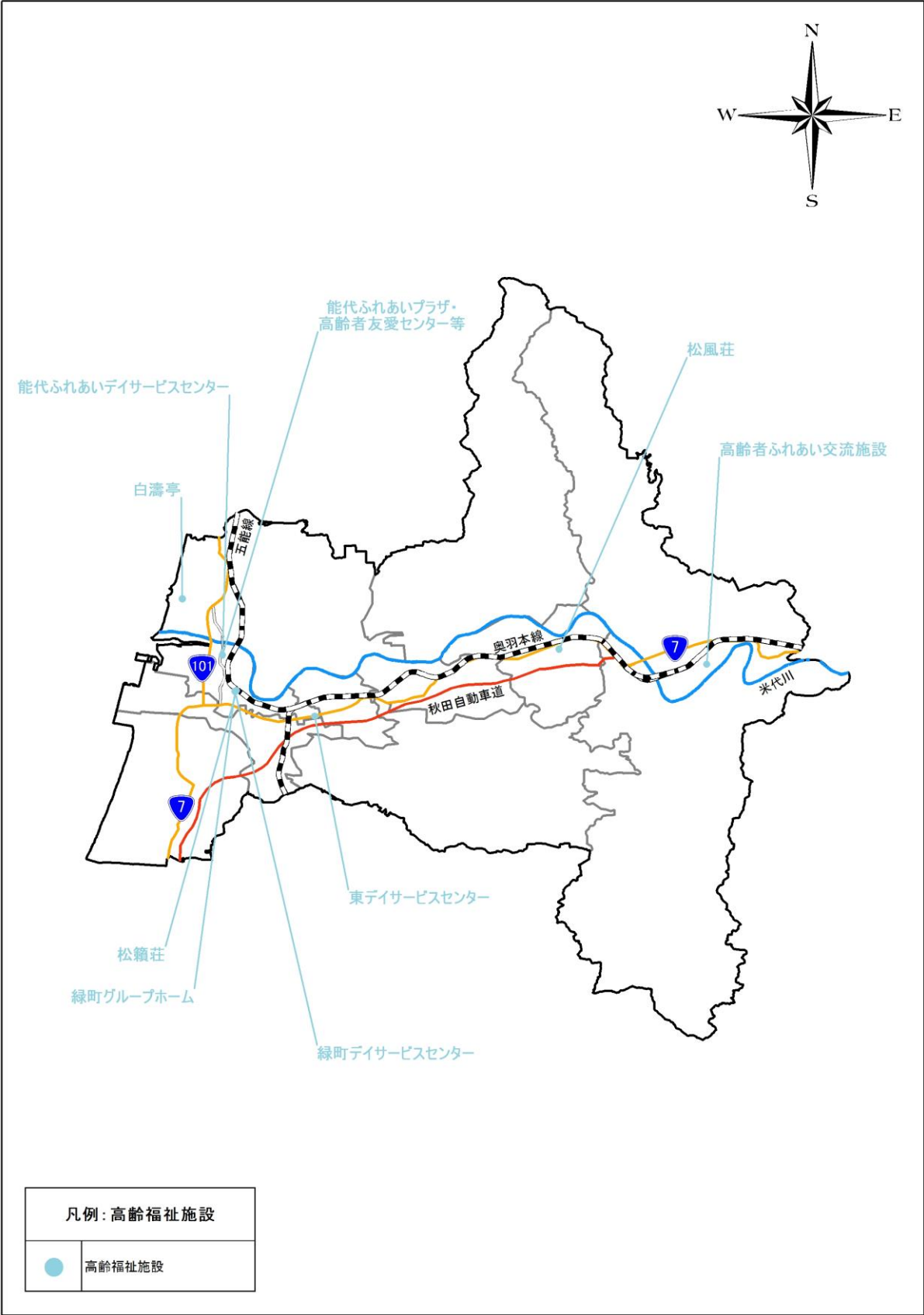
表 4-12-2 高齢福祉施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
高齢福祉施設											
能代ふれあいプラザ・ 高齢者友愛センター等	22,410	120,616	143,026	15,325	9,332	51,056	194,083	12,664	7,258	186,825	—
能代ふれあいデイサービスセンター	10,104	55,572	65,677	7,968	8,242	1,664	67,342	8,451	73,423	-6,081	0
東デイサービスセンター	8,069	45,641	53,710	6,475	8,295	72	53,783	8,306	51,525	2,257	0
緑町デイサービスセンター	11,351	67,594	78,946	11,432	6,905	8,088	87,035	7,613	100,249	-13,213	0
松籟荘	22,691	127,429	150,121	24,007	6,253	16,979	167,101	6,960	173,212	-6,111	121,147
緑町グループホーム	3,116	30,600	33,716	3,285	10,263	2,934	36,651	11,157	33,697	2,953	0
白濤亭	4,021	2,910	6,931	17,511	395	1,888	8,819	503	1,220	7,599	5,277
高齢者ふれあい交流施設	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
松風荘	5,369	2,659	8,029	2,845	2,822	517	8,547	3,004	953	7,593	—
小計	87,134	453,025	540,160	88,848	6,079	83,202	623,363	7,016	441,540	181,822	126,424
合計	87,134	453,025	540,160	88,848	6,079	83,202	623,363	7,016	441,540	181,822	126,424

※松籟荘の指定管理料には、入所者の生活費等が含まれています。

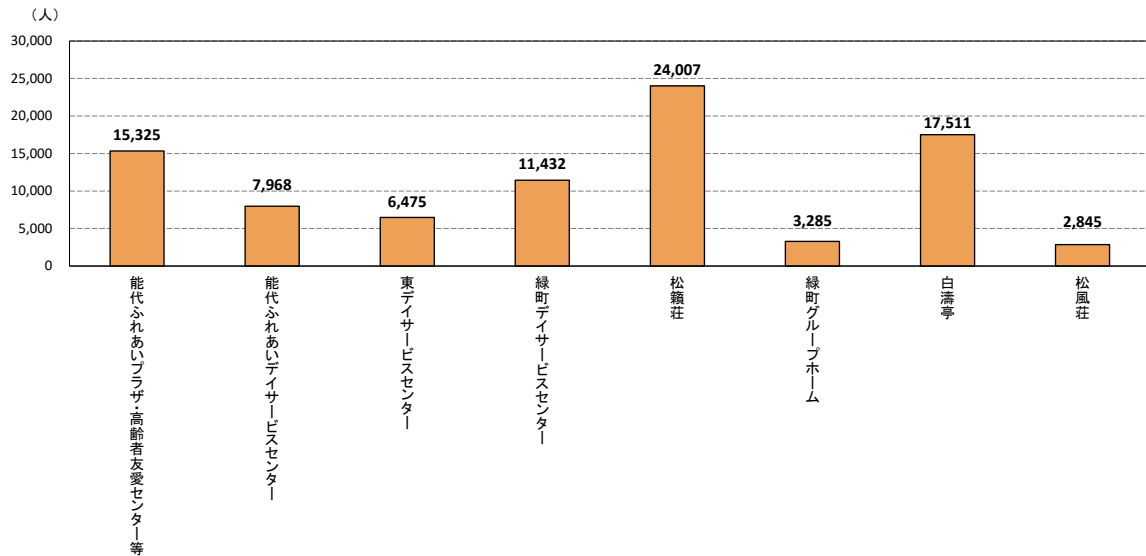
高齢福祉施設の利用者数の合計は 88,848 人です。これらの施設にかかるフルコストは 623,363 千円です。

図 4-12-1 高齢福祉施設の配置状況



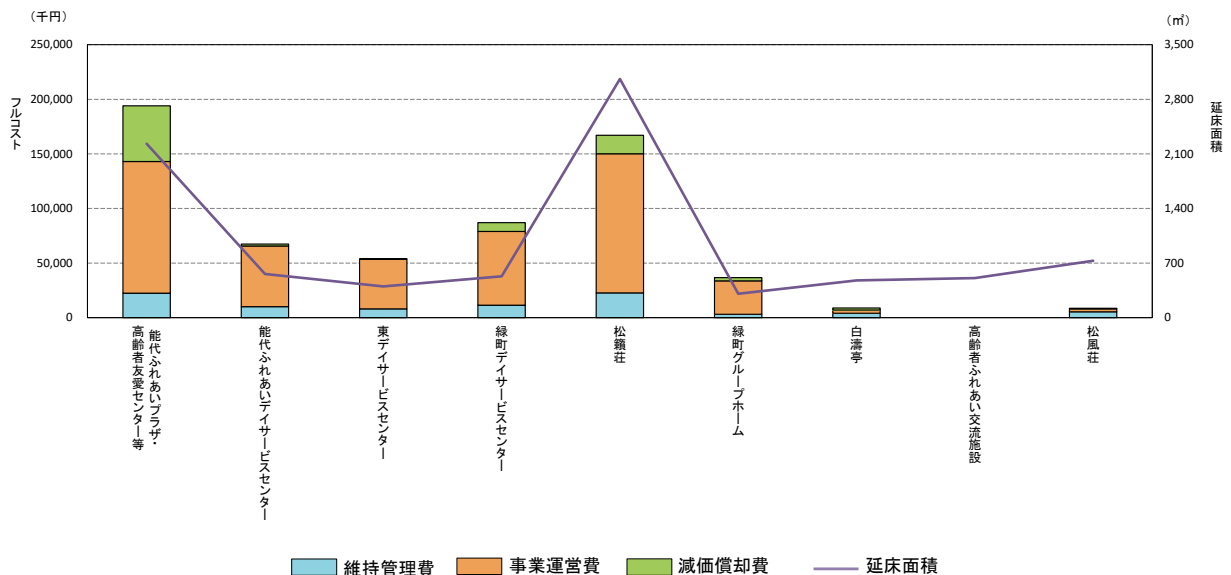
① 〔高齢福祉施設〕 高齢福祉施設の状況

図 4-12-2 高齢福祉施設の利用者数(平成 26 年度)



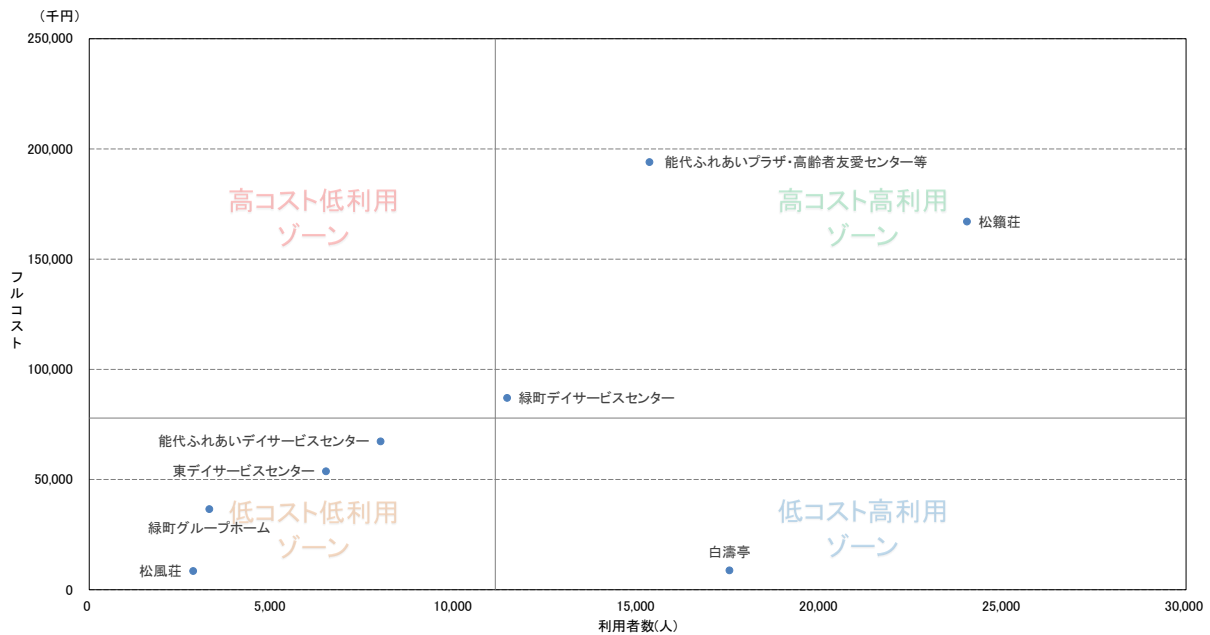
高齢福祉施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、松籟荘（24,007 人）であり、2 番目は白濤亭（17,511 人）です。最も利用者数が少ない施設は、松風荘（2,845 人）であり、2 番目は緑町グループホーム（3,285 人）です。

図 4-12-3 高齢福祉施設のフルコストと延床面積



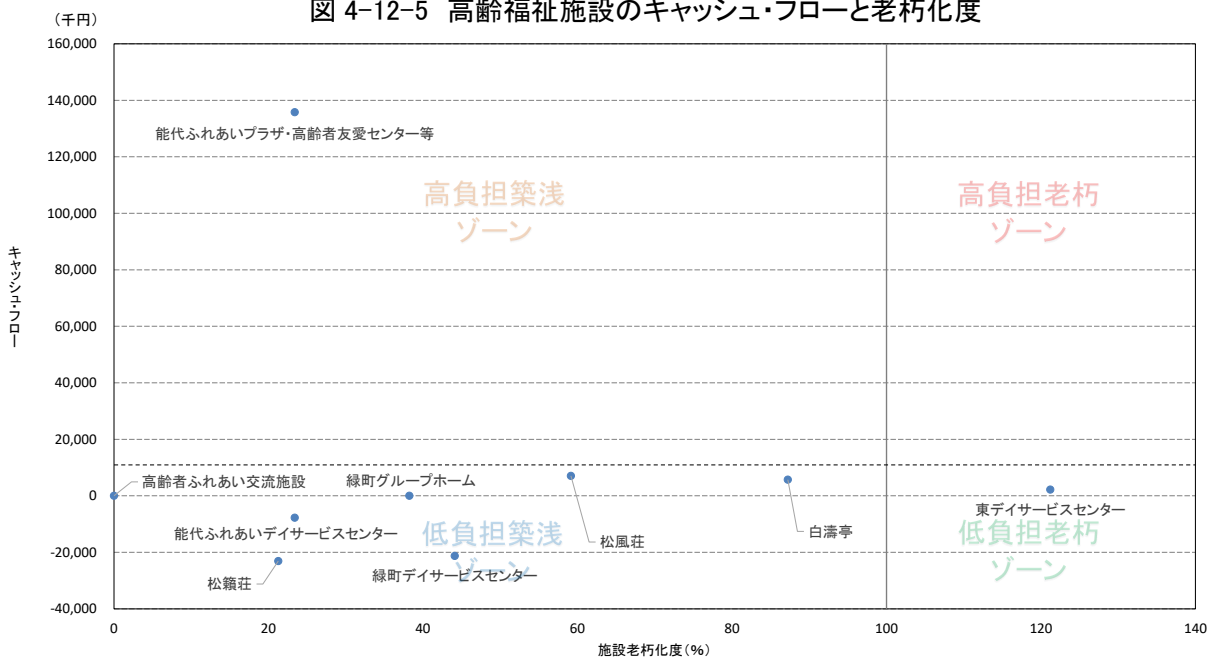
高齢福祉施設のうち、延床面積が最も広い施設は、松籟荘（3,060 ㎡）であり、2 番目は能代ふれあいプラザ・高齢者友愛センター等（2,229 ㎡）です。また、フルコストが最も高い施設は、能代ふれあいプラザ・高齢者友愛センター等（194,083 千円）であり、2 番目は松籟荘（167,101 千円）です。

図 4-12-4 高齢福祉施設の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、松籟荘で 24,007 人、白濤亭で 17,511 人と多くなっています。利用者数とフルコストの関係では、白濤亭を除き、利用者数が少ない施設ほど、1 人当たりフルコストが多くなる傾向にあります。

図 4-12-5 高齢福祉施設のキャッシュ・フローと老朽化度



高齢福祉施設では、東デイサービスセンターが老朽化度 100%を超えています。また、能代ふれあいプラザ・高齢者友愛センター等は老朽化度が低いものの、キャッシュ・フローの負担が多くなっています。

能代ふれあいデイサービスセンター、緑町デイサービスセンター、松籟荘の3施設は、キャッシュ・フローがマイナスとなっており、黒字となっていることを示しています。

1.3 障害福祉施設の状況

表 4-13-1 障害福祉施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
障害福祉施設	本庁	1	在宅障害者支援施設 とらいあんぐる	指定管理者		700	50.0	平成 15年度	木造
小計						700			
合計						700			

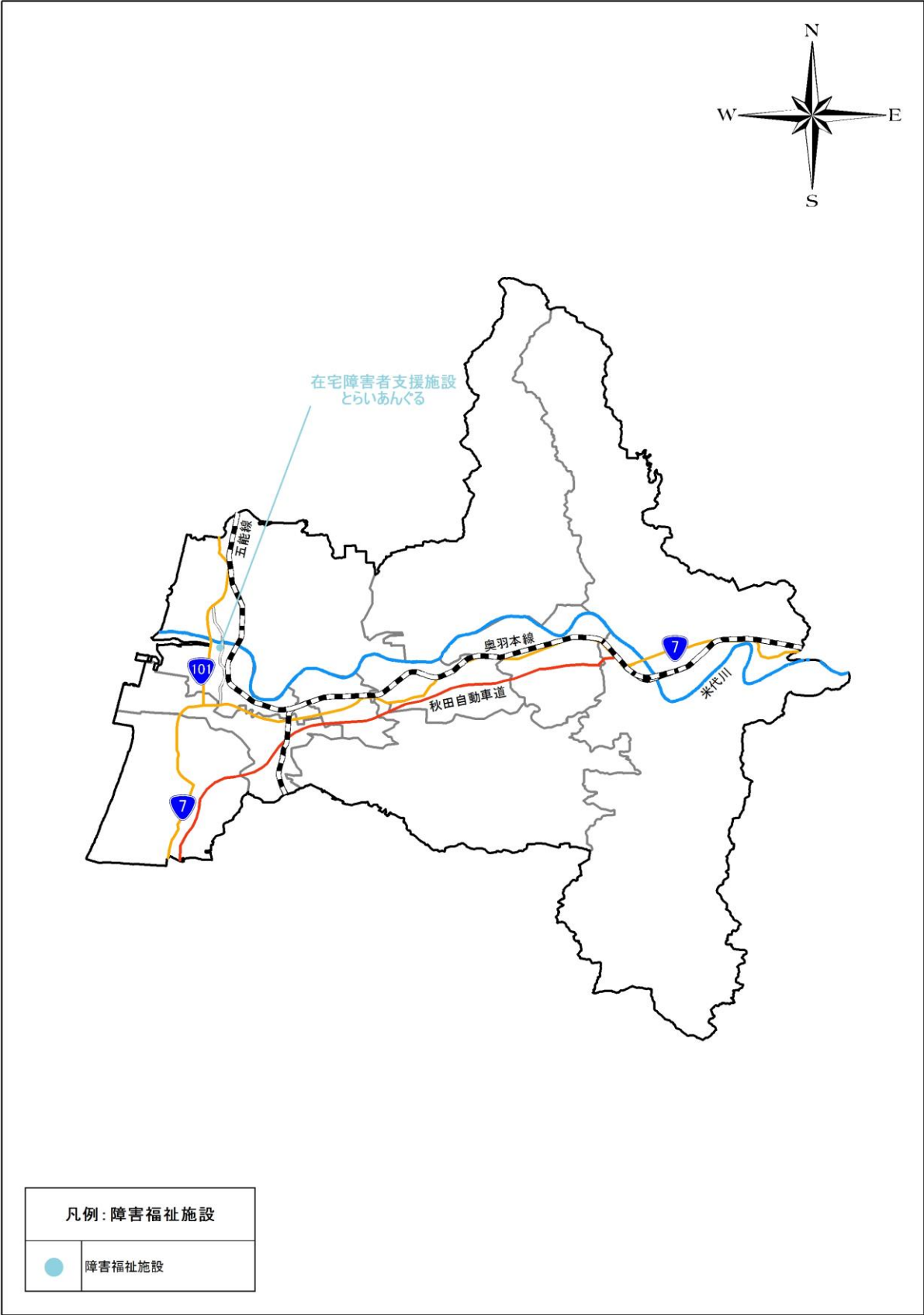
障害福祉施設は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 700 ㎡です。

表 4-13-2 障害福祉施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
障害福祉施設											
在宅障害者支援施設 とらいあんぐる	2,669	20,309	22,978	6,519	3,524	7,631	30,609	4,695	244	30,365	23,246
小計	2,669	20,309	22,978	6,519	3,524	7,631	30,609	4,695	244	30,365	23,246
合計	2,669	20,309	22,978	6,519	3,524	7,631	30,609	4,695	244	30,365	23,246

障害福祉施設の利用者数の合計は 6,519 人です。これらの施設にかかるフルコストは 30,609 千円です。

図 4-13 障害福祉施設の配置状況



14 児童福祉施設の状況

表 4-14-1 児童福祉施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
母子生活 支援施設	本庁	1	能代松原ホーム	直営		1,213	4.7	平成 25年度	木造
小計						1,213			
合計						1,213			

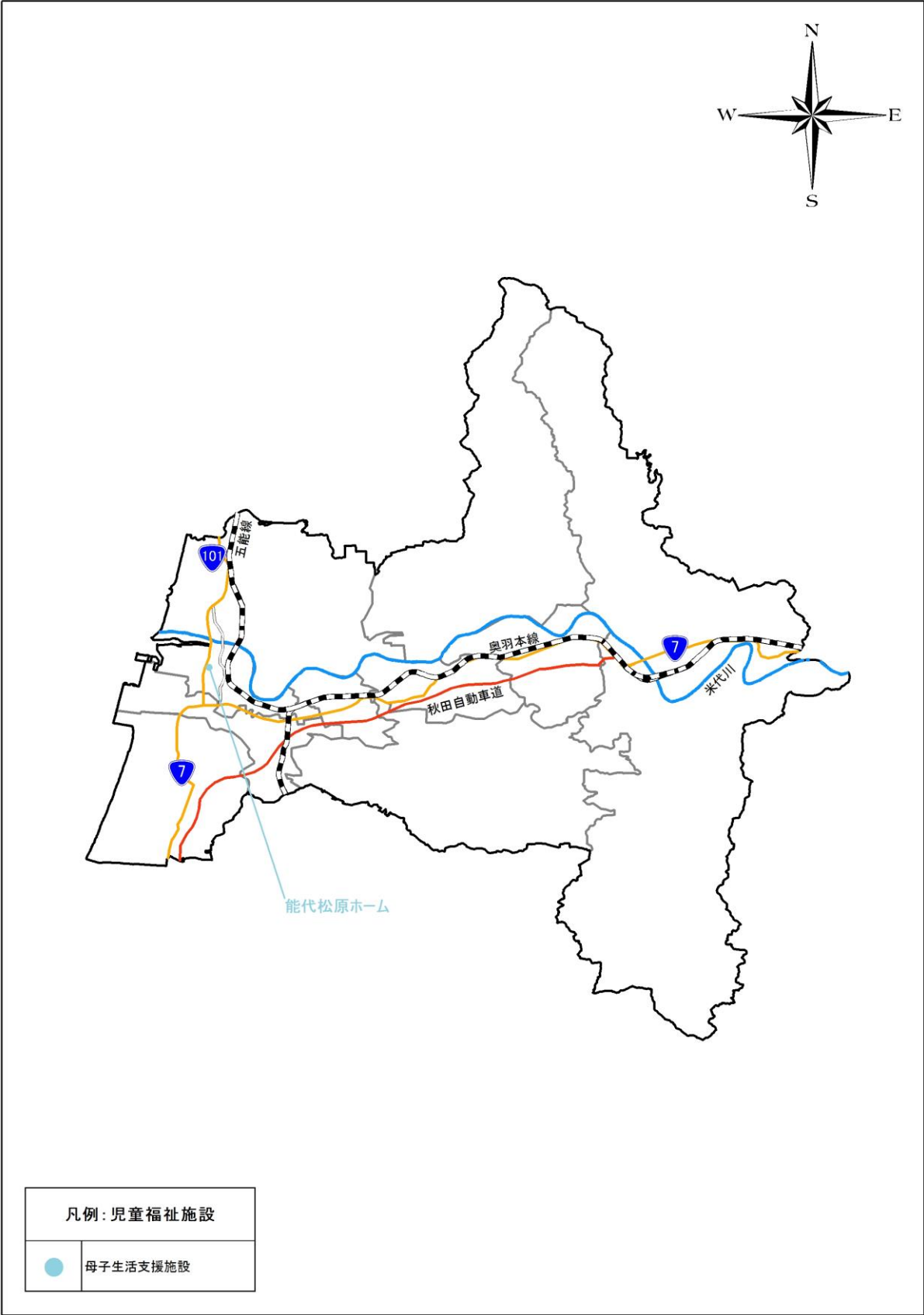
母子生活支援施設は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 1,213 ㎡です。

表 4-14-2 児童福祉施設の利用率とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	入居者数 (人)	入居者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	入居者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
母子生活支援施設											
能代松原ホーム	1,009	5,932	6,941	87	79,792	11,681	18,623	214,057	20	18,603	—
小計	1,009	5,932	6,941	87	79,792	11,681	18,623	214,057	20	18,603	0
合計	1,009	5,932	6,941	87	79,792	11,681	18,623	214,057	20	18,603	0

母子生活支援施設の入居者数の合計は 87 人です。これらの施設にかかるフルコストは 18,623 千円です。

図 4-14 児童福祉施設の配置状況



15 保健施設の状況

表 4-15-1 保健施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
保健センター	榊	1	保健センター	直営		1,715	59.3	昭和 61年度	鉄筋コンクリート
小計						1,715			
合計						1,715			

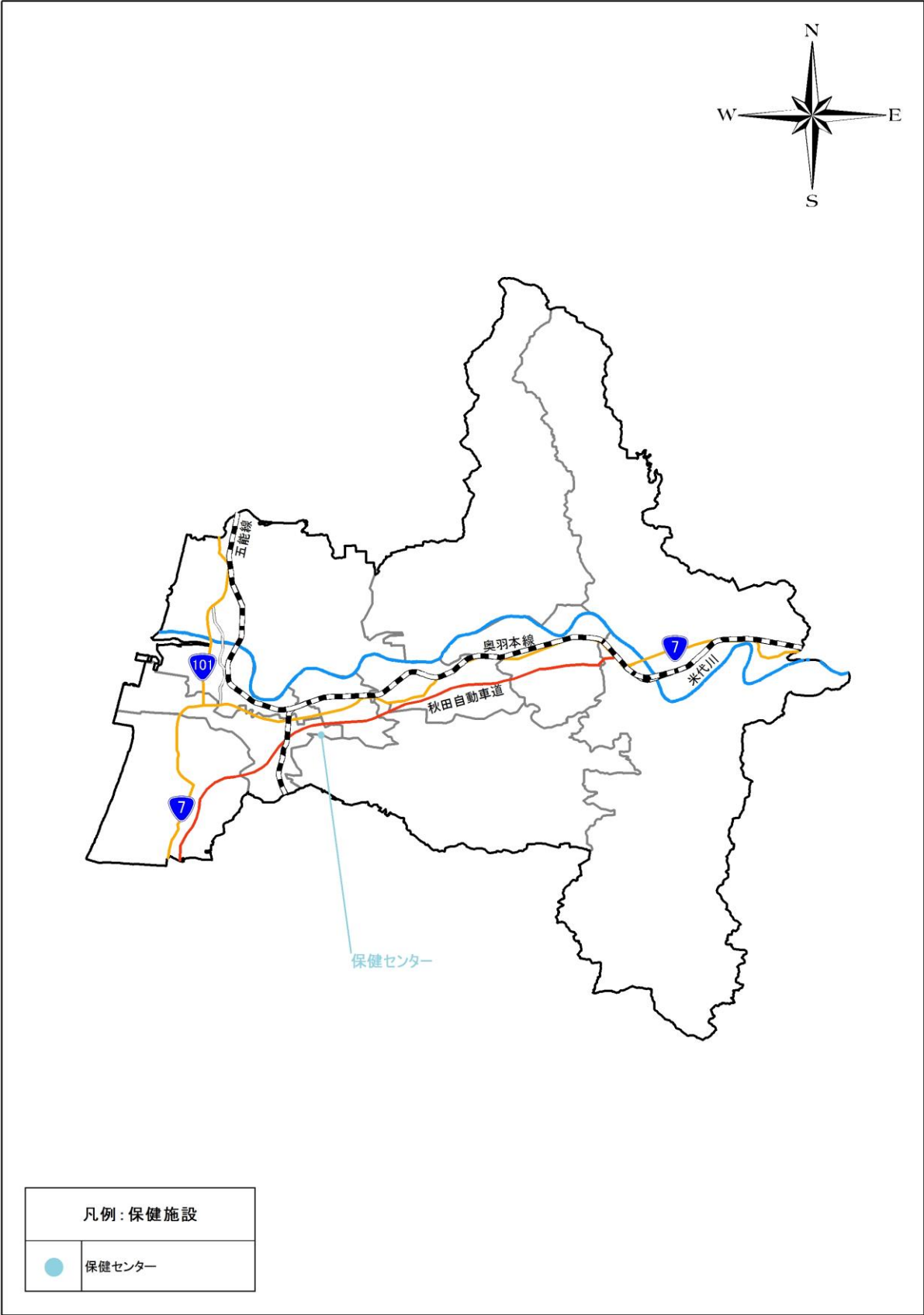
保健センターは、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 1,715 ㎡です。

表 4-15-2 保健施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
保健センター											
保健センター	8,280	208,924	217,205	6,536	33,232	4,818	222,023	33,969	40,833	181,189	—
小計	8,280	208,924	217,205	6,536	33,232	4,818	222,023	33,969	40,833	181,189	0
合計	8,280	208,924	217,205	6,536	33,232	4,818	222,023	33,969	40,833	181,189	0

保健センターの利用者数の合計は 6,536 人です。これらの施設にかかるフルコストは 220,023 千円です。

図 4-15 保健施設の配置状況



16 医療施設の状況

表 4-16-1 医療施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
診療所	檜山	1	檜山診療所	業務委託		191	207.8	昭和 42年度	木造
	鶴形	2	鶴形診療所	業務委託	●	23	125.0	昭和 59年度	木造
	常盤	3	常盤診療所	業務委託		64	127.3	昭和 61年度	木造
	富根	4	富根診療所	業務委託		211	245.8	昭和 30年度	木造
小計						489			
合計						489			

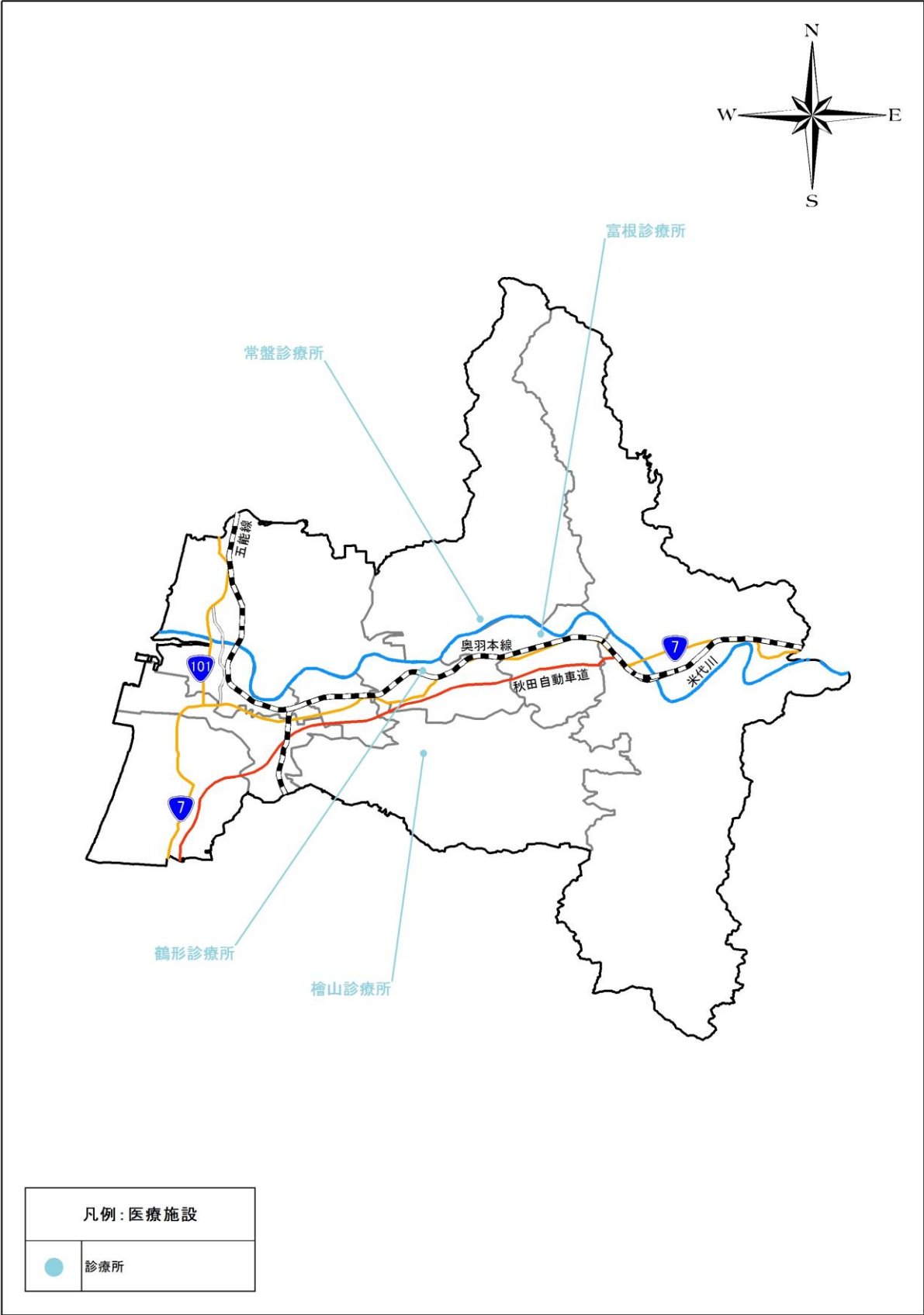
診療所は、市内に 4 施設あり、延床面積は合計 489 ㎡です。

表 4-16-2 医療施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
診療所											
檜山診療所	218	1,244	1,462	48	30,479	0	1,462	30,479	0	1,462	—
鶴形診療所	0	904	904	458	1,974	0	904	1,974	0	904	—
常盤診療所	250	2,031	2,281	719	3,173	0	2,281	3,173	0	2,281	—
富根診療所	990	944	1,935	2,661	727	0	1,935	727	247	1,687	—
小計	1,459	5,124	6,584	3,886	1,694	0	6,584	1,694	247	6,336	0
合計	1,459	5,124	6,584	3,886	1,694	0	6,584	1,694	247	6,336	0

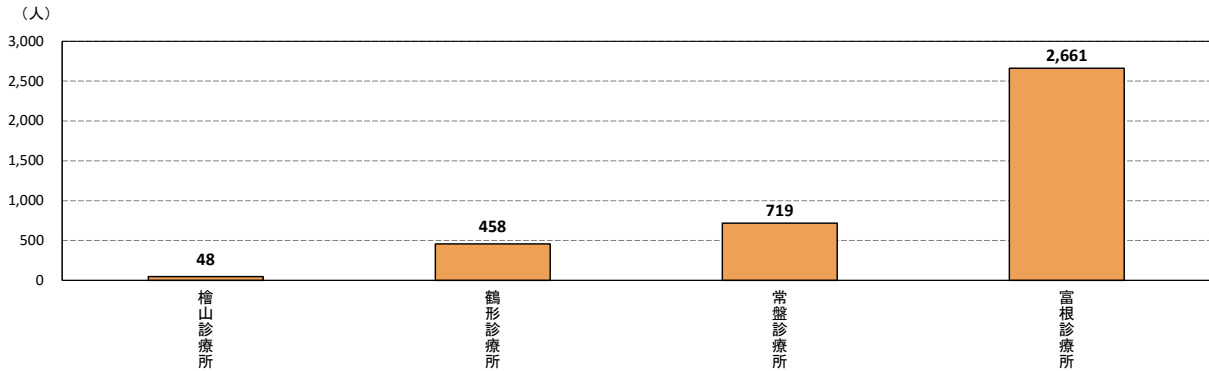
診療所の利用者数の合計は 3,886 人です。これらの施設にかかるフルコストは 6,584 千円です。

図 4-16-1 医療施設の配置状況



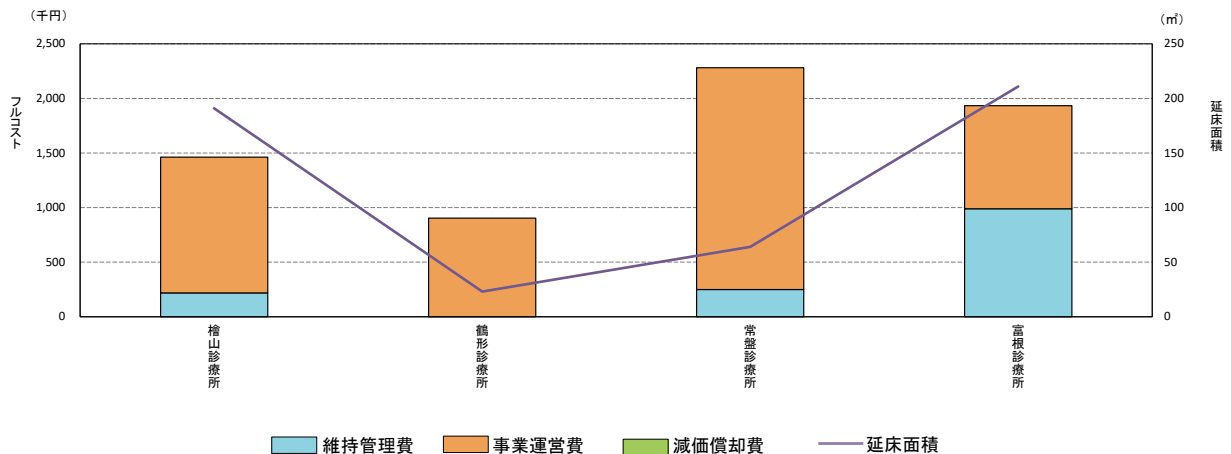
① 〔医療施設〕診療所の状況

図 4-16-2 診療所の利用者数(平成 26 年度)



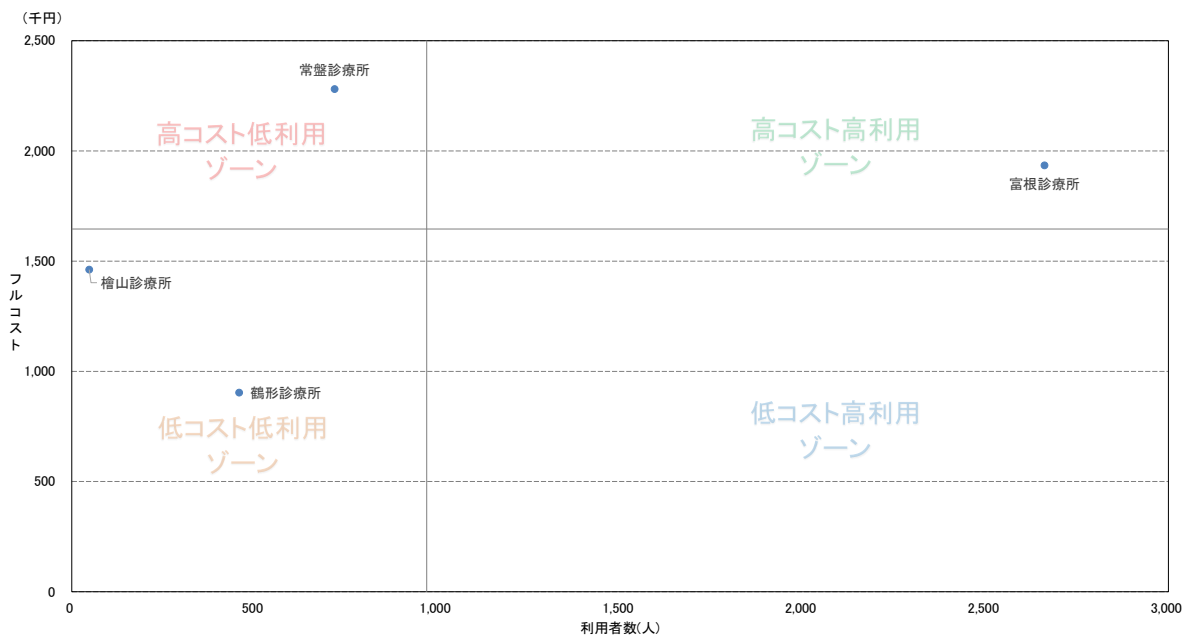
診療所のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、富根診療所(2,661 人)です。最も利用者数が少ない施設は、檜山診療所(48 人)です。

図 4-16-3 診療所のフルコストと延床面積



診療所のうち、延床面積が最も広い施設は、富根診療所の(211 ㎡)であり、2 番目は檜山診療所(191 ㎡)です。また、フルコストが最も高い施設は、常盤診療所の(2,281 千円)であり、2 番目は富根診療所(1,935 千円)です。

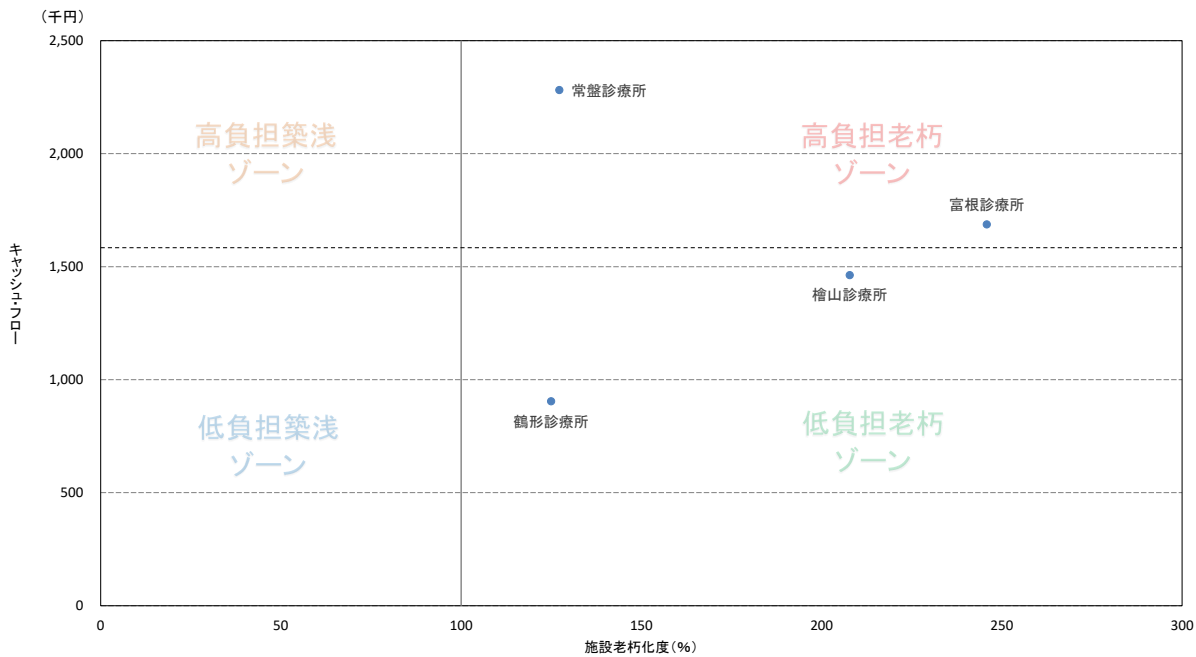
図 4-16-4 診療所の利用者数とフルコスト



年間利用者数では、富根診療所で 2,661 人と多くなっています。檜山診療所では 48 人と利用者が少なくっており、利用者 1 人当たりフルコストは 3 万円を超えています。

利用者数とフルコストの関係では、常盤診療所で利用者が少ないが、フルコストが高くなっており、同程度の利用者数である鶴形診療所のコストの 2.5 倍となっています。

図 4-16-5 診療所のキャッシュ・フローと老朽化度



診療所では、すべての診療所で老朽化度 100%を超えており、老朽化が進んでいます。

17 庁舎等の状況

表 4-17-1 庁舎等の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
庁舎	本庁	1	本庁舎	直営		1,736	128.0	昭和 25年度	鉄筋コンクリート
	本庁	2	第四庁舎	直営		1,681	198.2	昭和 33年度	木造
	本庁	3	第五庁舎	直営		428	96.0	昭和 41年度	鉄筋コンクリート
	本庁	4	公営企業庁舎	直営		345	212.5	昭和 38年度	木造
	本庁	5	議事堂	直営		884	238.7	昭和 25年度	木造
	本庁	6	(仮庁舎)旧湊城第二小学校	直営		3,628	104.9	昭和 41年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	7	二ツ井町庁舎	直営		5,584	44.7	平成 6年度	鉄筋コンクリート
小計						14,286			
出張所	向能代	1	向能代地域センター	直営	●	52	80.0	昭和 49年度	鉄筋コンクリート
	扇淵	2	扇淵地域センター	直営	●	23	74.0	昭和 52年度	鉄筋コンクリート
	檜山	3	檜山地域センター	直営	●	19	16.7	平成 22年度	木造
	鶴形	4	鶴形地域センター	直営	●	23	125.0	昭和 59年度	木造
	浅内	5	南地域センター	直営	●	41	66.7	平成 10年度	木造
	常盤	6	常盤地域センター	直営	●	21	50.0	平成 15年度	木造
	富根	7	富根出張所	直営	●	54	383.3	大正 11年度	木造
小計						234			
合計						14,519			

庁舎は、市内に 7 施設あり、延床面積は合計 14,286 ㎡です。

出張所は、市内に 7 施設あり、延床面積は合計 234 ㎡です。

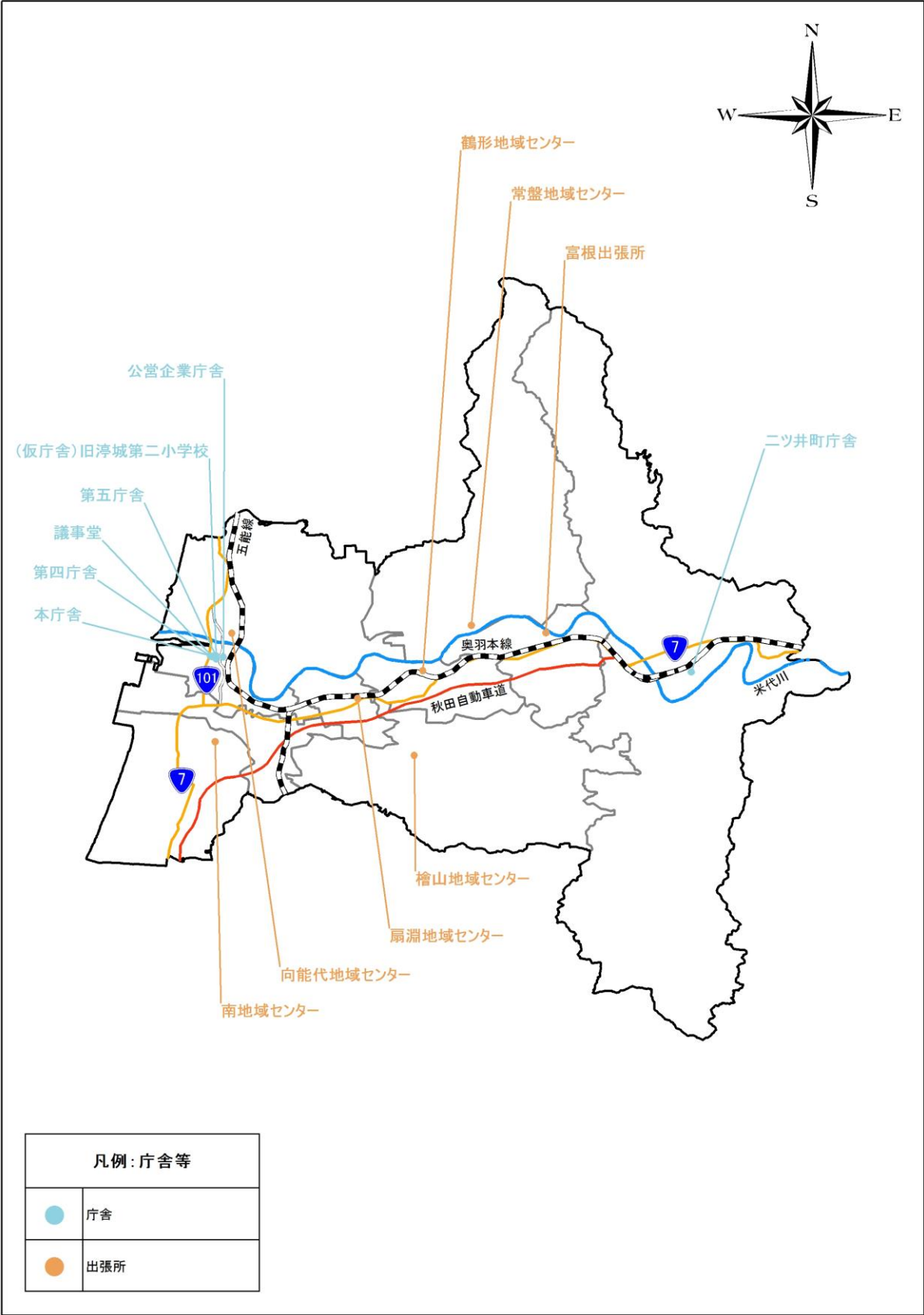
表 4-17-2 庁舎等の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
庁舎											
本庁舎	25,677	28,687	54,365	—	—	0	54,365	—	3,496	50,868	—
第四庁舎	12,911	3,109	16,021	—	—	0	16,021	—	0	16,021	—
第五庁舎	1,323	1,804	3,127	—	—	1,539	4,667	—	0	4,667	—
公営企業庁舎	2,755	1,385	4,141	—	—	0	4,141	—	0	4,141	—
議事堂	0	1,377	1,377	—	—	703	2,080	—	0	2,080	—
(仮庁舎)旧湊城第二小学校	6,077	8,184	14,261	—	—	0	14,261	—	0	14,261	—
二ツ井町庁舎	23,934	9,413	33,348	—	—	37,284	70,632	—	109	70,523	—
小計	72,680	53,962	126,642	0	0	39,527	166,170	0	3,605	162,564	0
出張所											
能代市向能代地域センター	465	1,159	1,625	—	—	186	1,811	—	0	1,811	—
能代市扇淵地域センター	212	482	694	—	—	83	777	—	0	777	—
能代市檜山地域センター	107	346	454	—	—	162	616	—	0	616	—
能代市鶴形地域センター	212	929	1,141	—	—	0	1,141	—	0	1,141	—
能代市南地域センター	315	737	1,053	—	—	582	1,636	—	0	1,636	—
能代市常盤地域センター	34	626	660	—	—	4,291	4,951	—	0	4,951	—
能代市富根出張所	129	2,170	2,299	—	—	0	2,299	—	0	2,299	—
小計	1,478	6,451	7,930	0	0	5,305	13,235	0	0	13,235	0
合計	74,158	60,413	134,572	0	0	44,833	179,405	0	3,605	175,800	0

庁舎にかかるフルコストは 166,170 千円です。

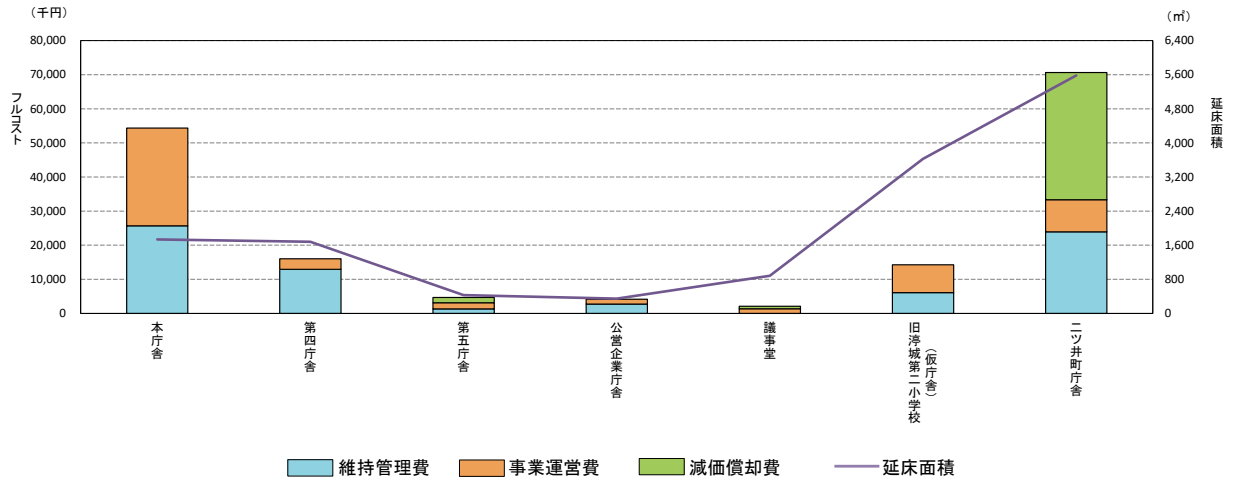
出張所にかかるフルコストは 13,235 千円です。

図 4-17-1 庁舎等の配置状況



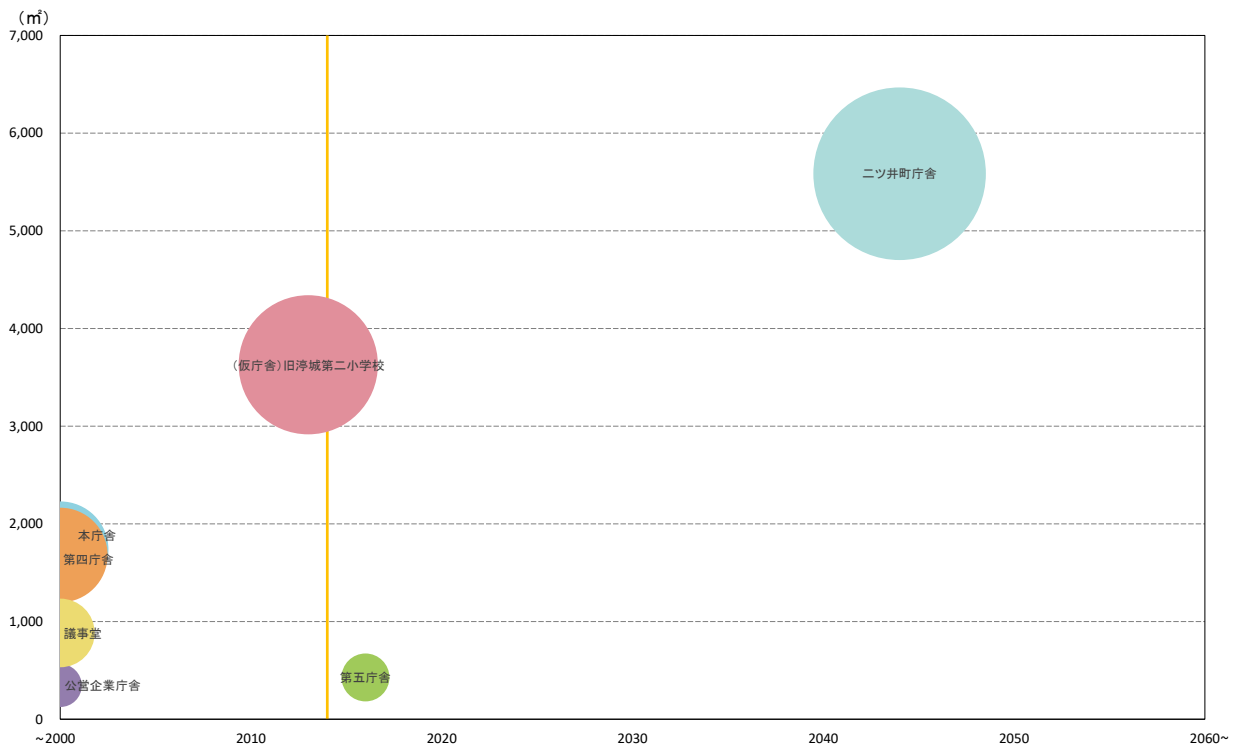
① 〔庁舎等〕 庁舎の状況

図 4-17-2 庁舎のフルコストと延床面積



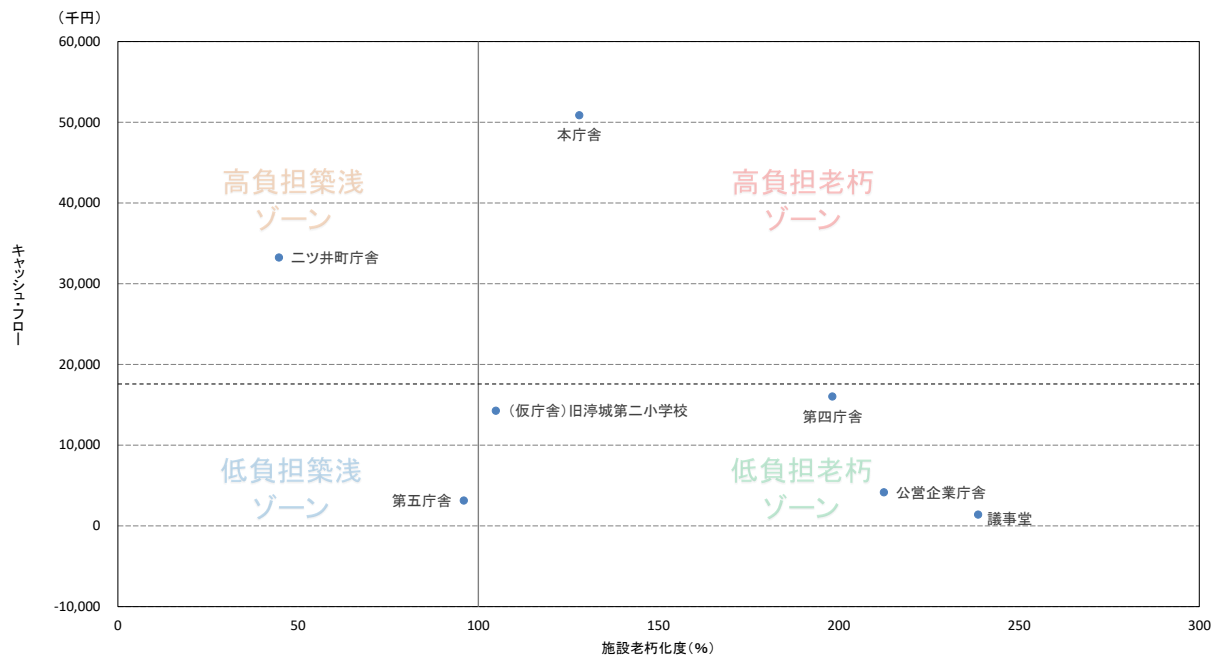
庁舎のうち、延床面積が最も広い施設は、ニツ井町庁舎 (5,584 ㎡) であり、2 番目は (仮庁舎) 旧湊城第二小学校 (3,628 ㎡) です。また、フルコストが最も高いのは、ニツ井町庁舎 (70,632 千円) であり、2 番目は本庁舎 (54,365 千円) です。

図 4-17-3 庁舎の延床面積と耐用年数到来年度



ニツ井町庁舎、第五庁舎を除く5施設は既に耐用年数到来年度を経過しており、老朽化が進んでいます。

図 4-17-4 庁舎のキャッシュ・フローと老朽化度



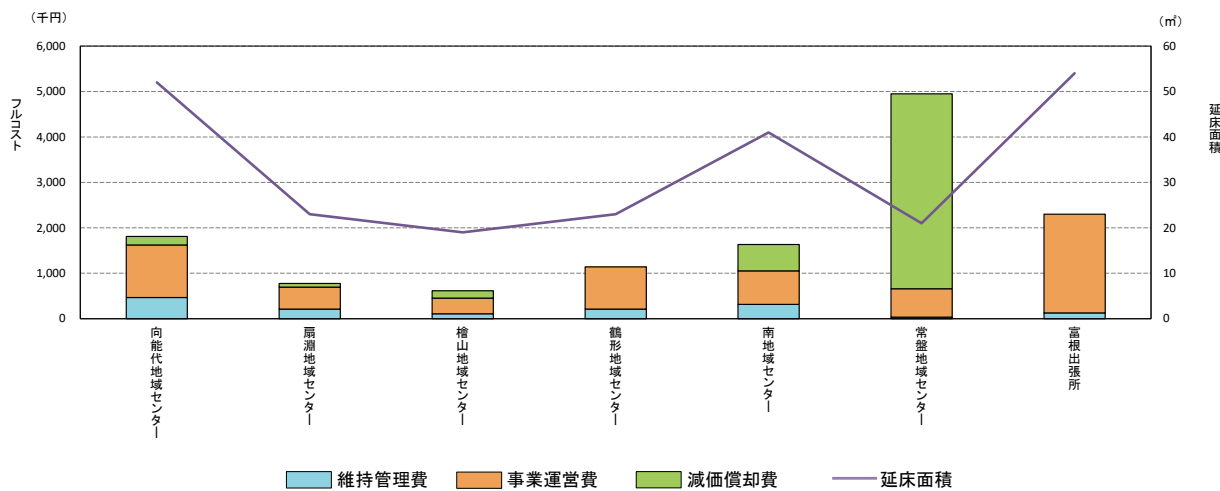
ニツ井町庁舎を除く施設は、老朽化が進んでいます。

現在、本庁舎の隣接する場所に新庁舎を建設していますが、新庁舎完成後も本庁舎と議事堂は継続して利用する予定であり、耐震化工事も実施済みとなっています。また、(仮庁舎)旧湊城第二小学校も書庫として利用を継続することが予定されており、現在廃止が決定しているのは、第四庁舎のみとなっています。

ニツ井町庁舎は新しい施設であり、老朽化度が低いものの、キャッシュ・フローの負担が多くなっています。

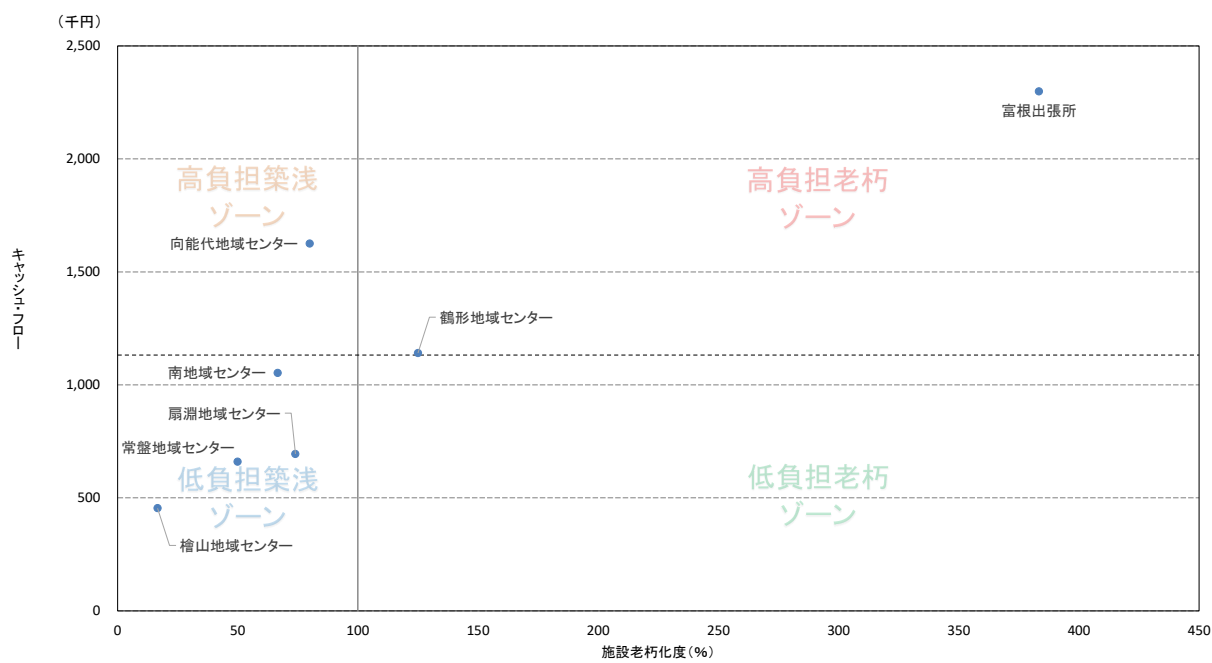
② 〔庁舎等〕出張所の状況

図 4-17-5 出張所のフルコストと延床面積



出張所のうち、延床面積が最も広い施設は、富根出張所（54 ㎡）であり、2 番目は向能代地域センター（52 ㎡）です。また、フルコストが最も高い施設は、常盤地域センター（4,951 千円）であり、2 番目は富根出張所（2,299 千円）です。

図 4-17-6 出張所のキャッシュ・フローと老朽化度



出張所では、富根出張所の老朽化度が 400%を超えています。

18 消防施設の状況

表 4-18 消防施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
出張所(消防)	本庁	1	西消防出張所	直営		222	68.3	昭和 59年度	鉄筋コンクリート
小計						222			
コミュニティ 消防センター等	本庁	1	万町地区コミュニティ消防センター	直営		83	63.6	平成 12年度	木造
	本庁	2	清助町地区コミュニティ消防センター	直営		101	72.7	平成 10年度	木造
	本庁	3	第3分団車庫兼休憩所	直営		79	182.4	昭和 58年度	木造
	本庁	4	柳町地区コミュニティ消防センター	直営		89	77.3	平成 9年度	木造
	本庁	5	第5分団車庫兼休憩所	直営		52	200.0	昭和 55年度	木造
	本庁	6	機織地区コミュニティ消防センター	直営		89	86.4	平成 7年度	木造
	本庁	7	第1工作分団車庫兼休憩所	直営		80	135.3	平成 3年度	木造
	本庁	8	長崎地区コミュニティ消防センター	直営		83	59.1	平成 13年度	木造
	榑	9	大内田地区コミュニティ消防センター	直営		66	81.8	平成 8年度	木造
	向能代	10	第6分団向能代班車庫兼休憩所	直営		78	158.8	昭和 62年度	木造
	向能代	11	第13分団比八田班車庫兼休憩所	直営		54	194.1	昭和 56年度	木造
	向能代	12	第15分団朴瀬班車庫兼休憩所	直営		58	147.1	平成 1年度	木造
	向能代	13	第17分団竹生班車庫兼休憩所	直営		79	200.0	昭和 55年度	木造
	扇淵	14	第8分団鍼灸班車庫兼休憩所	直営		60	129.4	平成 4年度	木造
	扇淵	15	第8分団車庫兼休憩所	直営		93	29.4	平成 21年度	木造
	檜山	16	第9分団車庫兼休憩所	直営		133	141.2	平成 2年度	木造
	檜山	17	第9分団下中沢班車庫兼休憩所	直営		58	61.8	平成 5年度	コンクリートブロック
	鶴形	18	第10分団車庫兼休憩所	直営		63	135.3	平成 3年度	木造
	浅内	19	第11分団車庫兼休憩所	直営		94	141.2	平成 2年度	木造
	浅内	20	第11分団成合班車庫兼休憩所	直営		58	152.9	昭和 63年度	木造
	浅内	21	黒岡地区コミュニティ消防センター	直営		75	90.9	平成 6年度	木造
	浅内	22	第11分団河戸川班車庫兼休憩所	直営		58	176.5	昭和 59年度	木造
	常盤	23	第12分団車庫兼休憩所	直営		102	35.3	平成 20年度	木造
	常盤	24	第12分団山谷班車庫兼休憩所	直営		54	194.1	昭和 56年度	木造
	富根	25	第3分団富根班車庫兼休憩所	直営		93	6.7	平成 25年度	木造
小計						1,931			
消防器具 置場等	本庁	1	第7分団機織班消防器具置場	直営		9	102.9	昭和 54年度	コンクリートブロック
	榑	2	第11分団小野沢班消防器具置場	直営		10	97.1	昭和 56年度	コンクリートブロック
	榑	3	第16分団田屋班消防器具置場	直営		10	100.0	昭和 55年度	コンクリートブロック
	榑	4	第16分団柏子所班消防器具置場	直営		10	52.9	平成 8年度	コンクリートブロック
	榑	5	安全情報伝達施設局舎	直営		5	61.8	平成 5年度	コンクリートブロック
	向能代	6	第6分団落合班消防器具置場	直営		15	105.9	昭和 53年度	コンクリートブロック
	向能代	7	第6分団向ヶ丘班消防器具置場	直営		10	135.3	昭和 43年度	コンクリートブロック
	向能代	8	第6分団開拓班消防器具置場	直営		10	8.8	平成 23年度	コンクリートブロック
	向能代	9	第13分団鳥形班車庫	直営		20	108.8	昭和 52年度	コンクリートブロック
	向能代	10	第13分団外荒巻班消防器具置場	直営		10	94.1	昭和 57年度	コンクリートブロック
	向能代	11	第15分団真壁地班消防器具置場	直営		10	123.5	昭和 47年度	コンクリートブロック
	向能代	12	第15分団荷八田班消防器具置場	直営		10	5.9	平成 24年度	コンクリートブロック
	向能代	13	第15分団吹越班消防器具置場	直営		10	135.3	昭和 43年度	コンクリートブロック
	向能代	14	第15分団築法師班消防器具置場	直営		10	5.9	平成 24年度	コンクリートブロック
	向能代	15	第15分団丑首頭班消防器具置場	直営		10	132.4	昭和 44年度	コンクリートブロック
	向能代	16	第15分団藤切台班消防器具置場	直営		10	117.7	昭和 49年度	コンクリートブロック
	向能代	17	第17分団須田班消防器具置場	直営		10	2.9	平成 25年度	コンクリートブロック
	向能代	18	第17分団栗山班消防器具置場	直営		10	8.8	平成 23年度	コンクリートブロック

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
消防器具 置場等	向能代	19	第17分団小土班消防器具置場	直営		10	117.7	昭和 49年度	コンクリートブロック
	向能代	20	第17分団天神前班消防器具置場	直営		10	105.9	昭和 53年度	コンクリートブロック
	扇淵	21	第8分団道地班消防器具置場	直営		20	108.8	昭和 52年度	コンクリートブロック
	扇淵	22	第8分団扇田班消防器具置場	直営		10	97.1	昭和 56年度	コンクリートブロック
	扇淵	23	第8分団樋口班消防器具置場	直営		10	58.8	平成 6年度	コンクリートブロック
	扇淵	24	第8分団四ツ屋班消防器具置場	直営		10	0.0	平成 26年度	コンクリートブロック
	扇淵	25	第8分団瀬野班消防器具置場	直営		10	64.7	平成 4年度	コンクリートブロック
	扇淵	26	第10分団谷地班消防器具置場	直営		10	108.8	昭和 52年度	コンクリートブロック
	扇淵	27	第10分団金拓班消防器具置場	直営		10	120.6	昭和 48年度	コンクリートブロック
	檜山	28	第9分団新田班消防器具置場	直営		10	100.0	昭和 55年度	コンクリートブロック
	檜山	29	第9分団今泉班消防器具置場	直営		10	117.7	昭和 49年度	コンクリートブロック
	檜山	30	第9分団新屋布班消防器具置場	直営		10	117.7	昭和 49年度	コンクリートブロック
	檜山	31	第9分団上母体班消防器具置場	直営		10	123.5	昭和 47年度	コンクリートブロック
	檜山	32	第9分団小沢口班消防器具置場	直営		10	108.8	昭和 52年度	コンクリートブロック
	檜山	33	第9分団羽立班消防器具置場	直営		10	105.9	昭和 53年度	コンクリートブロック
	檜山	34	第9分団下中沢班消防器具置場	直営		10	94.1	昭和 57年度	コンクリートブロック
	檜山	35	第9分団犬伏班消防器具置場	直営		10	97.1	昭和 56年度	コンクリートブロック
	檜山	36	第9分団大森班消防器具置場	直営		10	102.9	昭和 54年度	コンクリートブロック
	檜山	37	第9分団田床内班消防器具置場	直営		10	85.3	昭和 60年度	コンクリートブロック
	檜山	38	第9分団母体班車庫	直営		20	0.0	平成 26年度	木造
	鶴形	39	第15分団産物班消防器具置場	直営		10	123.5	昭和 47年度	コンクリートブロック
	浅内	40	第11分団寒川班消防器具置場	直営		10	120.6	昭和 48年度	コンクリートブロック
	浅内	41	第11分団浜浅内班消防器具置場	直営		10	47.1	平成 10年度	コンクリートブロック
	浅内	42	第11分団中浅内班消防器具置場	直営		10	114.7	昭和 50年度	コンクリートブロック
	浅内	43	第11分団福田班消防器具置場	直営		10	47.1	平成 10年度	コンクリートブロック
	常盤	44	第12分団四日市班車庫	直営		20	105.9	昭和 53年度	コンクリートブロック
	常盤	45	第12分団轟班消防器具置場	直営		10	38.2	平成 13年度	コンクリートブロック
	常盤	46	第12分団久喜沢班消防器具置場	直営		10	117.7	昭和 49年度	コンクリートブロック
	常盤	47	第12分団苅橋班消防器具置場	直営		10	94.1	昭和 57年度	コンクリートブロック
	常盤	48	第12分団外割田班消防器具置場	直営		10	50.0	平成 9年度	コンクリートブロック
	常盤	49	第12分団棚木岱班消防器具置場	直営		10	129.4	昭和 45年度	コンクリートブロック
	常盤	50	第12分団砂子田班消防器具置場	直営		10	52.9	平成 8年度	コンクリートブロック
	常盤	51	第12分団天内班消防器具置場	直営		10	38.2	平成 13年度	コンクリートブロック
	常盤	52	第12分団国見班消防器具置場	直営		10	126.7	平成 7年度	木造
	常盤	53	第12分団豊栄班消防器具置場	直営		10	0.0	平成 26年度	コンクリートブロック
	常盤	54	第12分団大柄班消防器具置場	直営		10	61.8	平成 5年度	コンクリートブロック
	常盤	55	山谷水防倉庫	直営		33	313.3	昭和 42年度	木造
	二ツ井	56	第1分団高丘班消防器具置場	直営		26	333.3	昭和 39年度	木造
	二ツ井	57	第1分団本町薄井班消防器具置場	直営		26	317.7	昭和 35年度	木造
	二ツ井	58	第4分団田代班消防器具置場(向田)	直営		10	313.3	昭和 42年度	木造
	二ツ井	59	第4分団田代班消防器具置場(濁川)	直営		10	146.7	平成 4年度	木造
	二ツ井	60	第6分団きみまち班消防器具置場	直営		50	13.3	平成 24年度	木造
	二ツ井	61	第6分団高岩班消防器具置場	直営		50	13.3	平成 24年度	木造
	二ツ井	62	第7分団種班消防器具置場	直営		17	140.0	平成 5年度	木造
	二ツ井	63	第7分団梅内班消防器具置場	直営		17	153.3	平成 3年度	木造
	二ツ井	64	第7分団梅内班消防器具置場 (馬子岱)	直営		10	260.0	昭和 50年度	木造
	二ツ井	65	第2分団消防器具置場(小繋)	直営		44	300.0	昭和 44年度	木造
	二ツ井	66	第2分団消防器具置場(麻生)	直営		13	280.0	昭和 47年度	木造

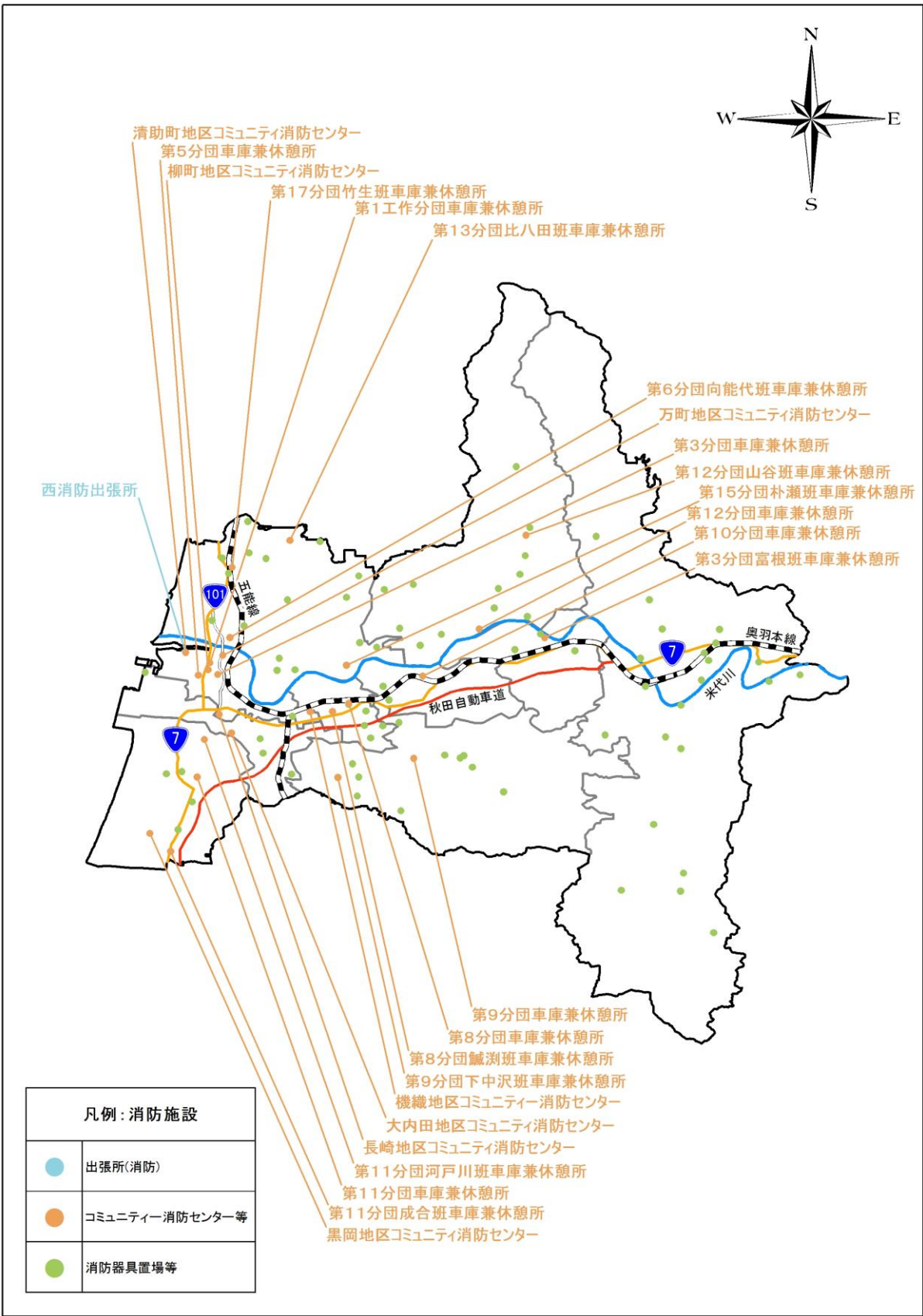
小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
消防器具 置場等	二ツ井	67	第2分団消防器具置場(下田平)	直営		46	133.3	平成 6年度	木造
	二ツ井	68	第5分団仁鮎班消防器具置場	直営		50	13.3	平成 24年度	木造
	二ツ井	69	第5分団仁鮎班消防器具置場(鬼神)	直営		10	253.3	昭和 51年度	木造
	二ツ井	70	第5分団切石班消防器具置場	直営		50	6.7	平成 25年度	木造
	二ツ井	71	第4分団小掛班消防器具置場 (仙ノ台)	直営		17	140.0	平成 5年度	木造
	二ツ井	72	第7分団種班消防器具置場(外面)	直営		10	246.7	昭和 52年度	木造
	二ツ井	73	第4分団小掛班消防器具置場(沢田)	直営		17	246.7	昭和 52年度	木造
	二ツ井	74	第4分団田代班消防器具置場(七村)	直営		12	240.0	昭和 53年度	木造
	二ツ井	75	第4分団田代班消防器具置場 (出羽田代)	直営		10	160.0	平成 2年度	木造
	二ツ井	76	第5分団切石班消防器具置場 (荻又石)	直営		10	193.3	昭和 60年度	木造
	二ツ井	77	沢口倉庫	直営		444	100.0	昭和 58年度	鉄骨造
	富根	78	第3分団富根班消防器具置場(駒形)	直営		10	213.3	昭和 57年度	木造
	富根	79	第3分団羽立班消防器具置場	直営		17	160.0	平成 2年度	木造
	富根	80	富根水防倉庫	直営		33	273.3	昭和 48年度	木造
小計						1,608			
合計						3,762			

出張所(消防)は、市内に1施設あり、延床面積は合計222㎡です。

コミュニティ消防センター等は、市内に25施設あり、延床面積は合計1,931㎡です。

消防器具置場等は、市内に80施設あり、延床面積は合計1,608㎡です。

図 4-18 消防施設の配置状況



19 その他行政系施設の状況

表 4-19-1 その他行政系施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
書庫、物置	本庁	1	環境衛生課物置	直営		411	204.0	昭和 41年度	木造
	本庁	2	井坂記念館(収蔵庫)	直営		16	110.5	昭和 47年度	鉄筋コンクリート
	向能代	3	観光振興課物置	直営		282	139.3	昭和 59年度	木造
	檜山	4	旧檜山出張所	直営		43	213.3	昭和 57年度	木造
	檜山	5	旧檜山診療所	直営		79	213.6	昭和 42年度	木造
小計						832			
車庫	本庁	1	道路河川課車庫	直営		543	127.8	昭和 62年度	軽量鉄骨造
	二ツ井	2	教育委員会車庫	直営		318	125.8	昭和 50年度	鉄骨造
	二ツ井	3	福祉バス車庫	直営		167	71.0	平成 4年度	鉄骨造
	二ツ井	4	二ツ井町除雪センター	直営		769	77.4	平成 2年度	鉄骨造
小計						1,798			
備蓄倉庫	本庁	1	防災備蓄倉庫	直営		10	66.7	平成 10年度	軽量鉄骨造
小計						10			
合計						2,639			

書庫、物置は、市内に 5 施設あり、延床面積は合計 832 です。

車庫は、市内に 4 施設あり、延床面積は合計 1,798 ㎡です。

備蓄倉庫は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 10 ㎡です。

表 4-19-2 その他行政系施設の利用率とコストの一覧

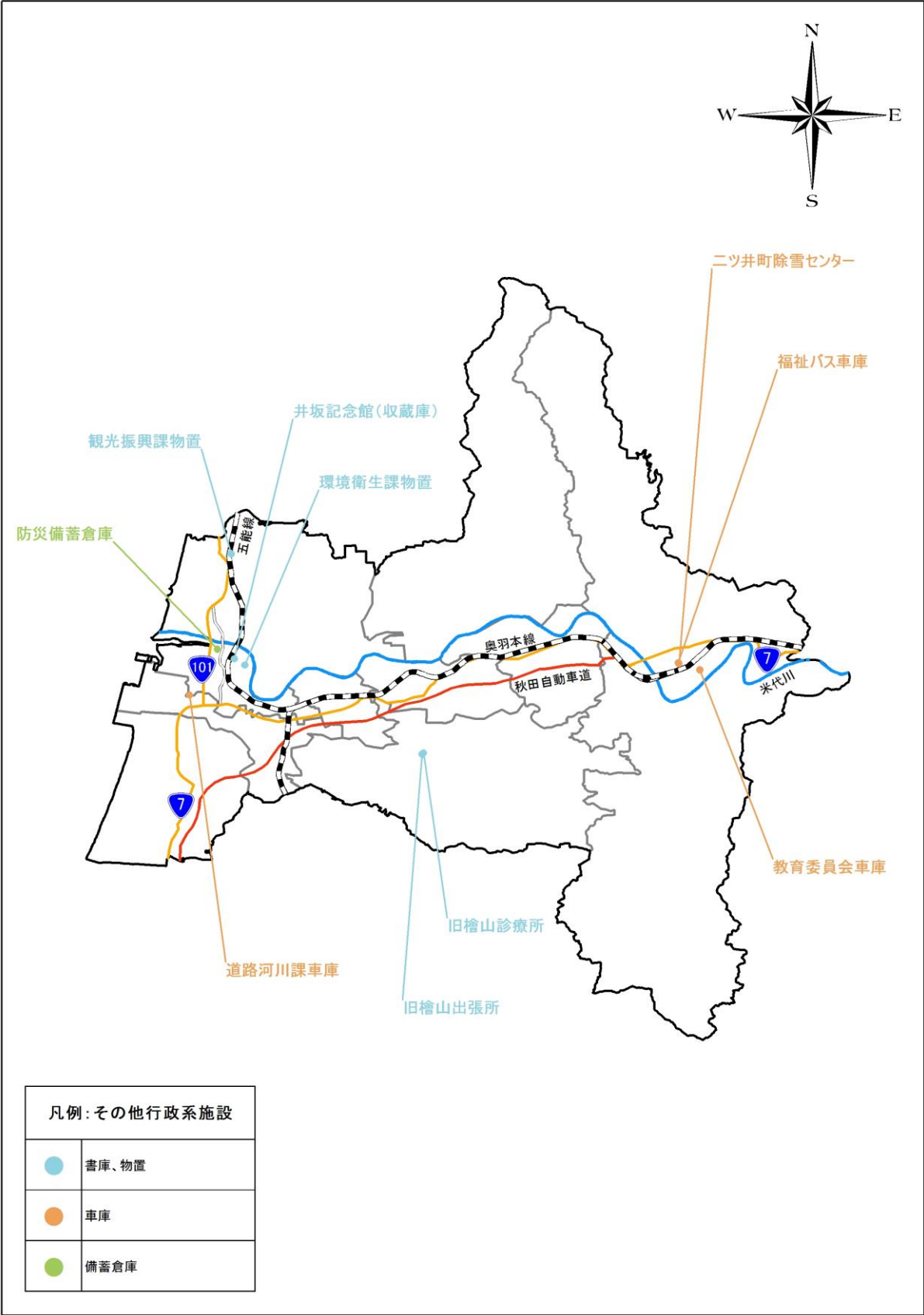
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
書庫、物置											
環境衛生課物置	31	0	31	—	—	0	31	—	0	31	—
井坂記念館(収蔵庫)	9	0	9	—	—	0	9	—	0	9	—
観光振興課物置	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧檜山出張所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧檜山診療所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
小計	42	0	42	0	0	0	42	0	0	42	0
車庫											
道路河川課車庫	1,998	42	2,040	—	—	0	2,040	—	0	2,040	—
教育委員会車庫	2	0	2	—	—	0	2	—	0	2	—
福祉バス車庫	52	0	52	—	—	708	761	—	0	761	—
二ツ井町除雪センター	0	0	0	—	—	2,285	2,285	—	0	2,285	—
小計	2,054	42	2,096	0	0	2,994	5,090	0	0	5,090	0
備蓄倉庫											
防災備蓄倉庫	0	0	0	—	—	60	60	—	0	60	—
小計	0	0	0	0	0	60	60	0	0	60	0
合計	2,096	42	2,138	0	0	3,054	5,193	0	0	5,193	0

書庫、物置にかかるフルコストは 42 千円です。

車庫にかかるフルコストは 5,090 千円です。

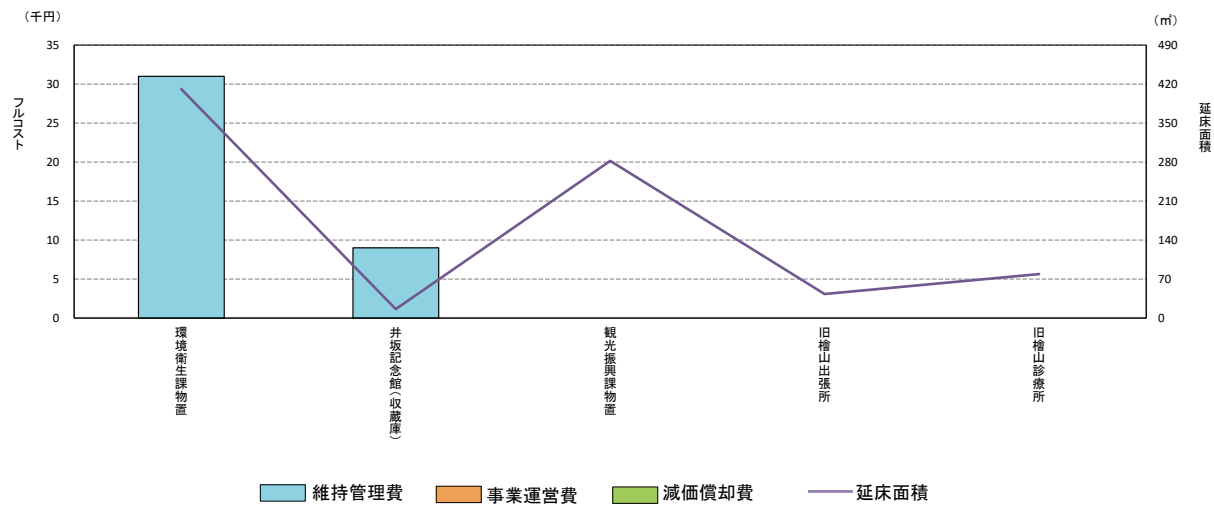
備蓄倉庫にかかるフルコストは 5,193 千円です。

図 4-19-1 その他行政系施設の配置状況



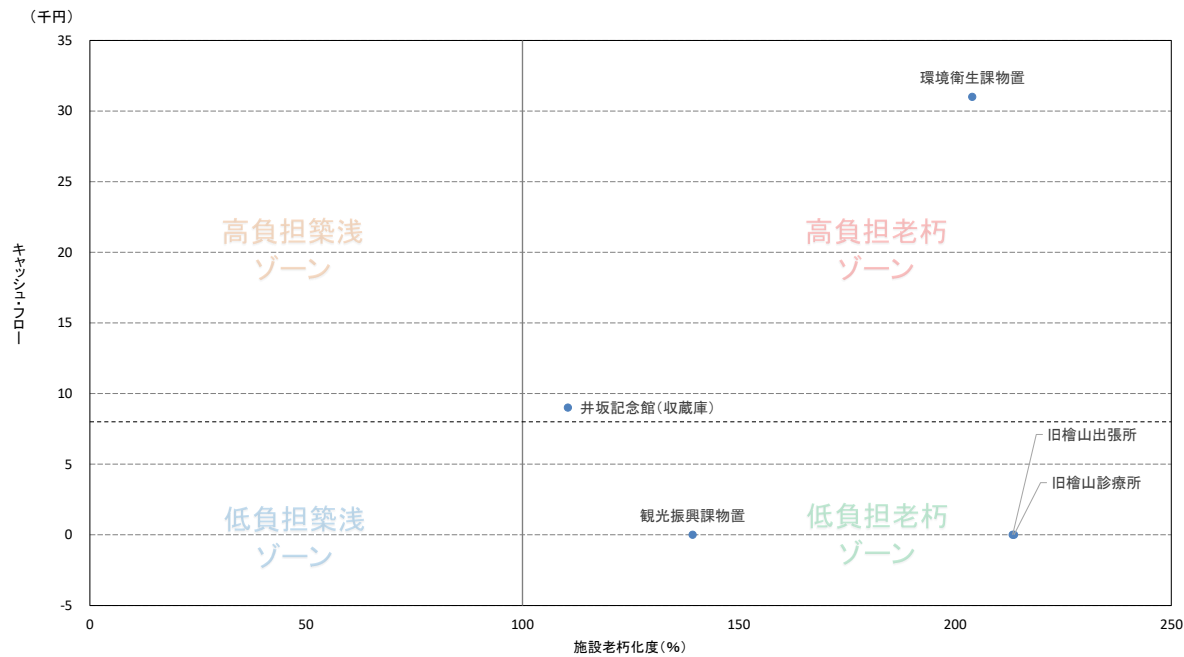
① 〔その他行政系施設〕書庫、物置の状況

図 4-19-2 書庫、物置のフルコストと延床面積



書庫、物置のうち、延床面積が最も広い施設は、環境衛生課物置（411 ㎡）であり、2 番目は観光振興課物置（282 ㎡）です。

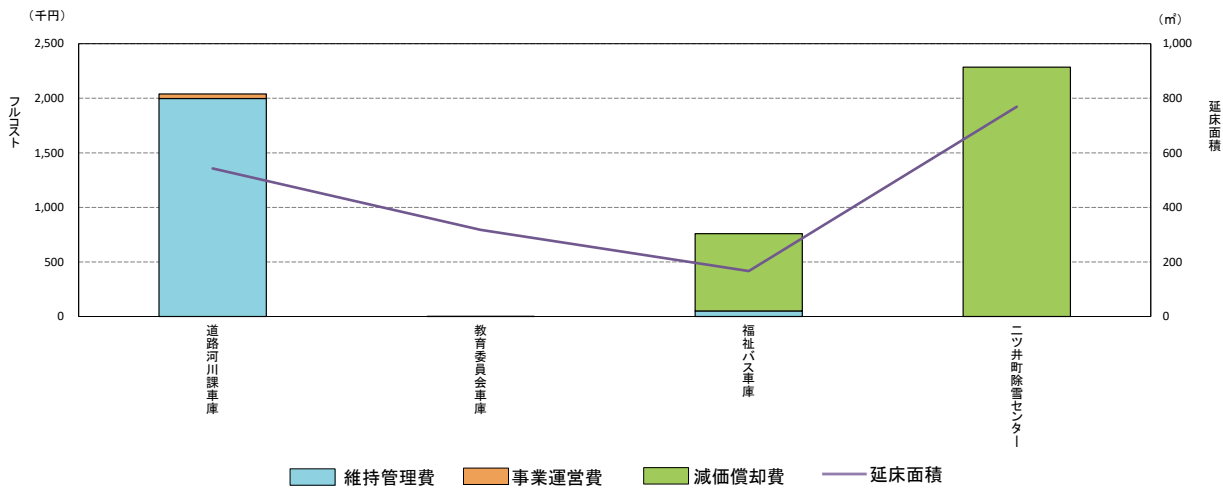
図 4-19-3 書庫、物置のキャッシュ・フローと老朽化度



書庫、物置では、すべての施設で老朽化度 100%を超えております。

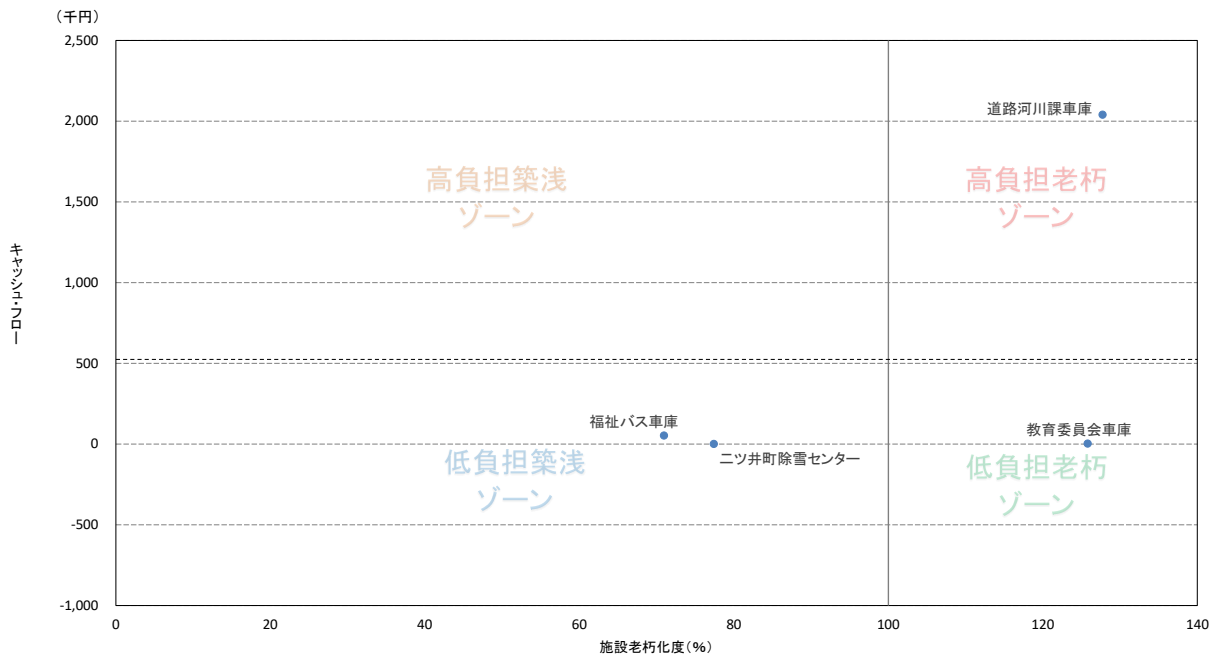
② 〔その他行政系施設〕車庫の状況

図 4-19-4 車庫のフルコストと延床面積



車庫のうち、延床面積が最も広い施設は、ニツ井町除雪センター（769 ㎡）であり、2 番目は道路河川課車庫（543 ㎡）です。また、フルコストが最も高い施設は、ニツ井町除雪センター（2,285 千円）です。

図 4-19-5 車庫のキャッシュ・フローと老朽化度



車庫では、道路河川課車庫及び教育委員会車庫で老朽化度 100%を超えております。また、道路河川課車庫でキャッシュ・フローの負担が多くなっています。

③ 〔その他行政系施設〕備蓄倉庫の状況

防災備蓄倉庫の延床面積は 10 ㎡です。また、フルコストは 60 千円です。

20 公営住宅の状況

表 4-20-1 公営住宅の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
市営住宅	本庁	1	市営万町住宅	直営		1,953	134.6	昭和 26年度	鉄筋コンクリート
	本庁	2	市営松山町住宅	直営		2,343	0.0	平成 26年度	木造
	本庁	3	市営住吉町住宅	直営		12,050	6.4	平成 23年度	鉄筋コンクリート
	本庁	4	市営大瀬住宅	直営		16,686	98.0	昭和 50年度	鉄筋コンクリート
	本庁	5	市営上町住宅	直営	●	3,753	23.4	平成 15年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	榑	6	市営芝童森住宅	直営		5,335	73.4	昭和 56年度	鉄筋コンクリート
	向能代	7	市営下前田住宅	直営		981	136.8	昭和 44年度	コンクリートブロック
	向能代	8	市営向ヶ丘住宅	直営		8,069	76.7	昭和 54年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	9	市営山根住宅	直営		3,308	117.3	昭和 54年度	木造
	二ツ井	10	市営高丘住宅	直営		1,192	148.9	昭和 59年度	木造
	二ツ井	11	市営竹原住宅	直営		1,193	93.7	平成 12年度	木造
小計						56,864			
合計						56,864			

※市営松山町住宅は平成 27 年に入居を開始した施設です。

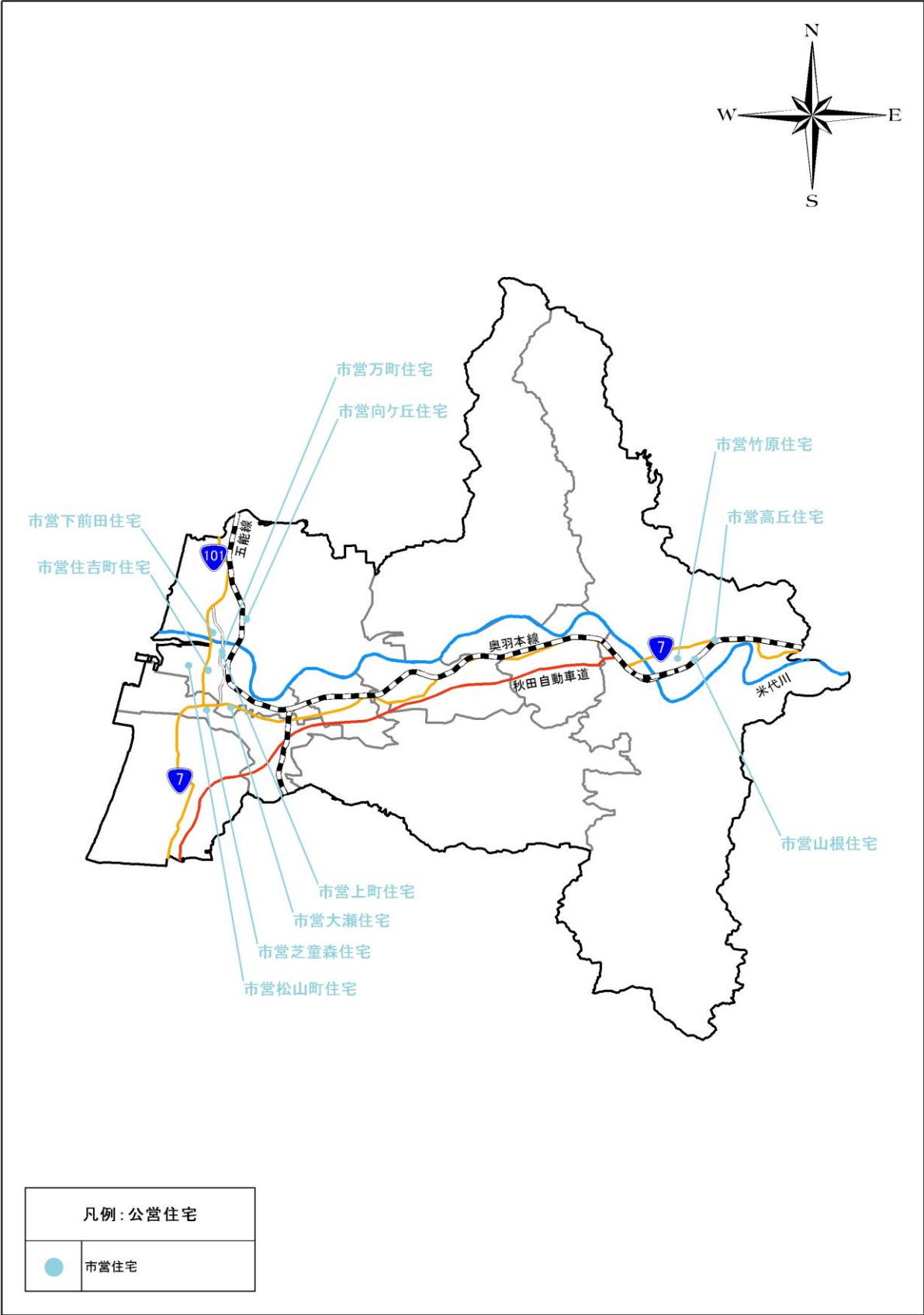
市営住宅は、市内に 11 施設あり、延床面積は合計 56,864 ㎡です。

表 4-20-2 公営住宅の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	入居戸数 (戸)	入居戸数 当たりの コスト (円/戸)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	入居戸数 当たりの フルコスト (円/戸)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
市営住宅											
市営万町住宅	280	82	363	32	11,365	0	363	11,365	2,436	-2,073	—
市営松山町住宅	16	15	31	—	—	0	31	—	20	11	—
市営住吉町住宅	5,093	181	5,275	145	36,379	48,203	53,478	368,816	30,814	22,663	—
市営大瀬住宅	10,065	488	10,554	312	33,827	36,266	46,820	150,065	41,395	5,424	—
市営上町住宅	2,243	71	2,315	39	28,943	11,147	13,462	168,287	11,013	2,449	—
市営芝童森住宅	1,627	140	1,768	80	45,339	18,147	19,915	510,657	19,294	620	—
市営下前田住宅	1,630	50	1,681	108	15,569	0	1,681	15,569	2,206	-524	—
市営向ヶ丘住宅	1,621	235	1,857	108	17,195	27,085	28,942	267,988	18,543	10,399	—
市営山根住宅	26,406	715	27,121	49	553,501	11,777	38,899	793,863	10,215	28,683	—
市営高丘住宅	11,035	424	11,460	20	573,002	0	11,460	573,002	2,972	8,487	—
市営竹原住宅	2,979	432	3,412	18	189,564	5,552	8,964	498,038	3,678	5,286	—
小計	63,001	2,838	65,840	911	72,272	158,180	224,021	245,906	142,592	81,428	0
合計	63,001	2,838	65,840	911	72,272	158,180	224,021	245,906	142,592	81,428	0

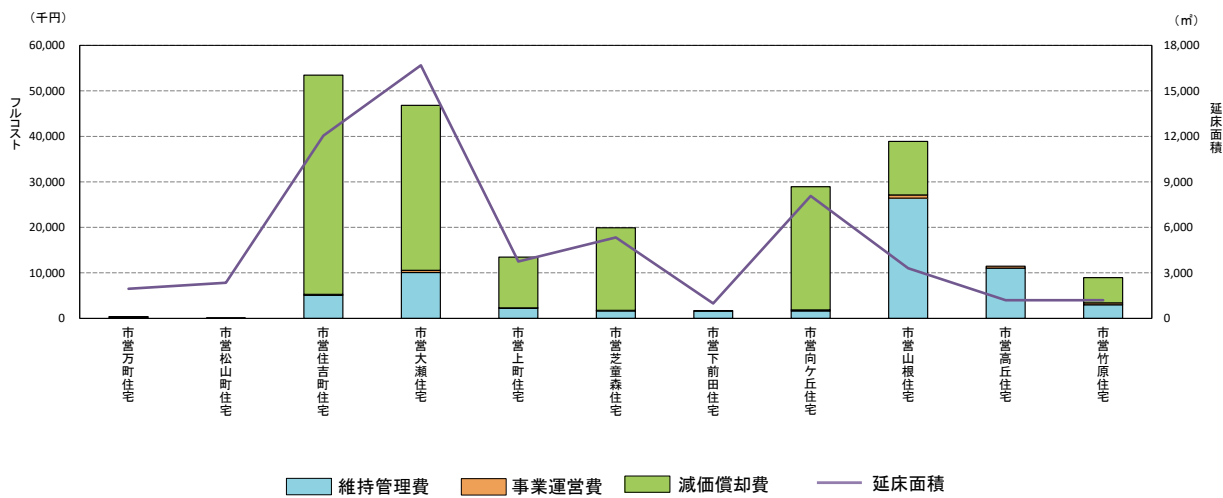
市営住宅にかかるフルコストは 224,021 千円です。

図 4-20-1 公営住宅の配置状況



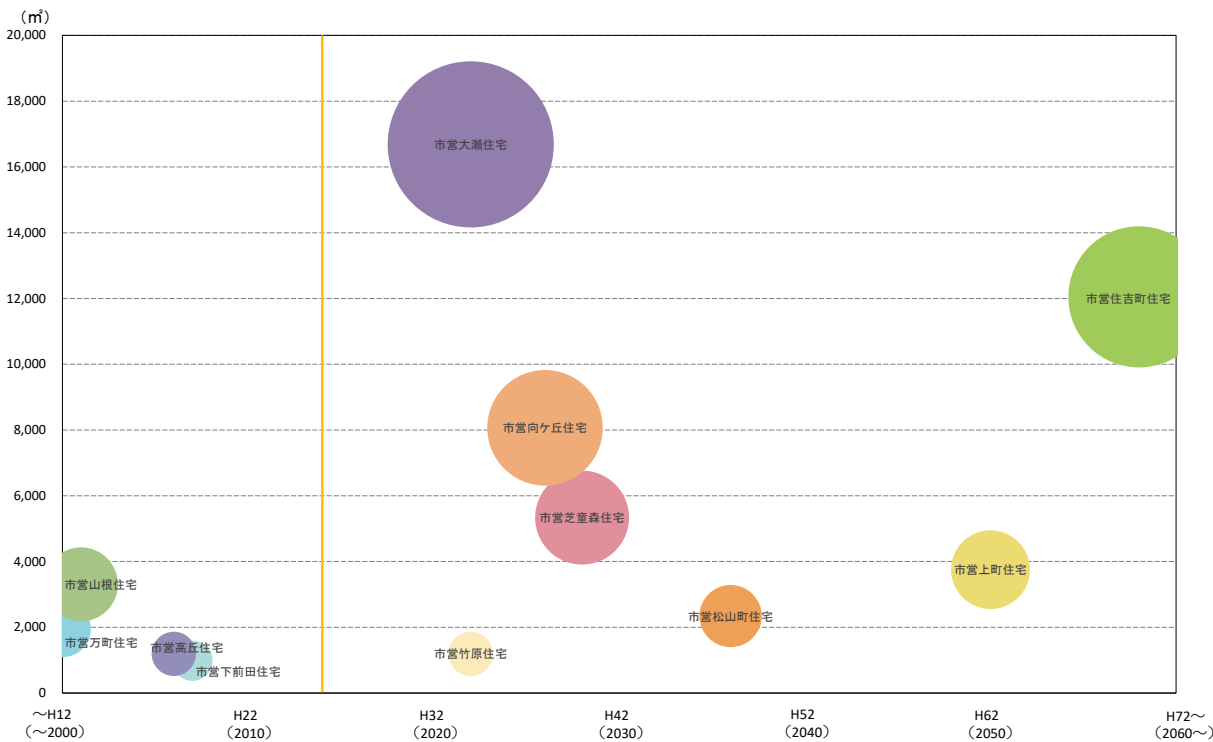
① 〔公営住宅〕市営住宅の状況

図 4-20-2 市営住宅のフルコストと延床面積



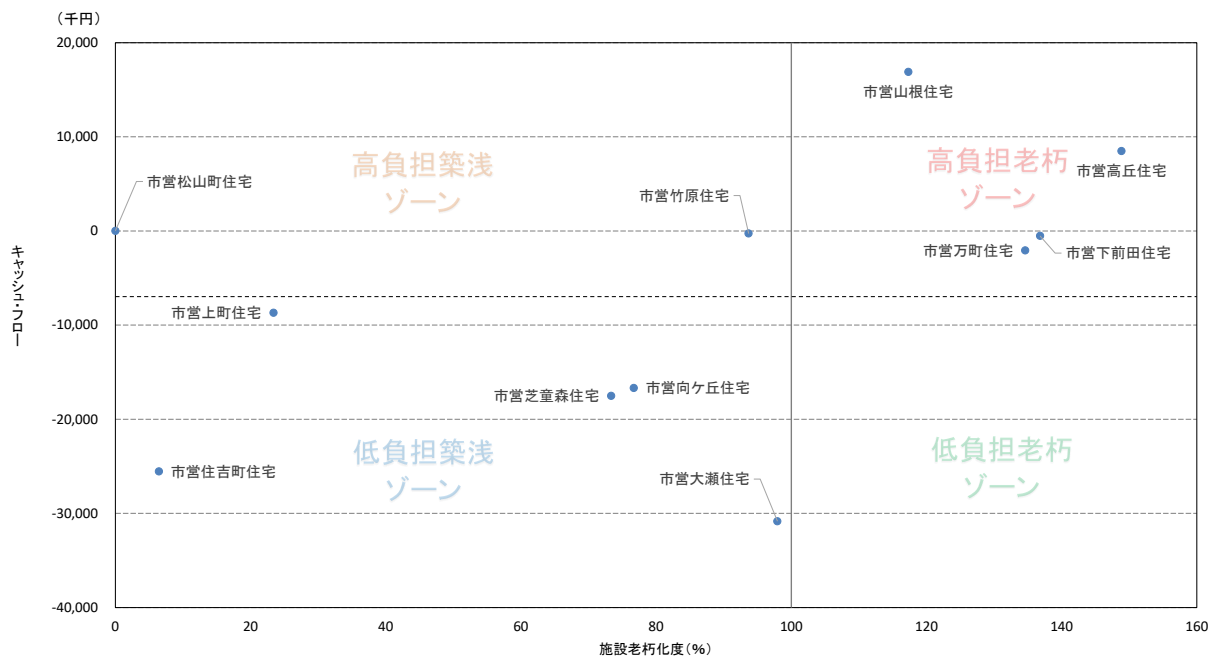
市営住宅のうち、延床面積が最も広い施設は、市営大瀬住宅（16,686㎡）であり、2番目は市営住吉町住宅（12,050㎡）です。また、フルコストが最も高い施設は、市営住吉町住宅（53,478千円）であり、2番目は市営大瀬住宅（46,820千円）です。

図 4-20-3 市営住宅の延床面積と耐用年数到来年度



市営住宅は、すでに耐用年数の到来している施設が複数存在します。今後耐用年数の到来する施設の多くは延床面積も広く、近い将来に更新費用が多額に生じることが予想されます。

図 4-20-4 市営住宅のキャッシュ・フローと老朽化度



市営住宅では、昭和 50 年代以前に多くの市営住宅が建築されていることから、老朽化度 100% を超える施設が多くあります。市営山根住宅と市営高丘住宅はキャッシュ・フローの負担が多くなっています。

2.1 公園附属建築物の状況

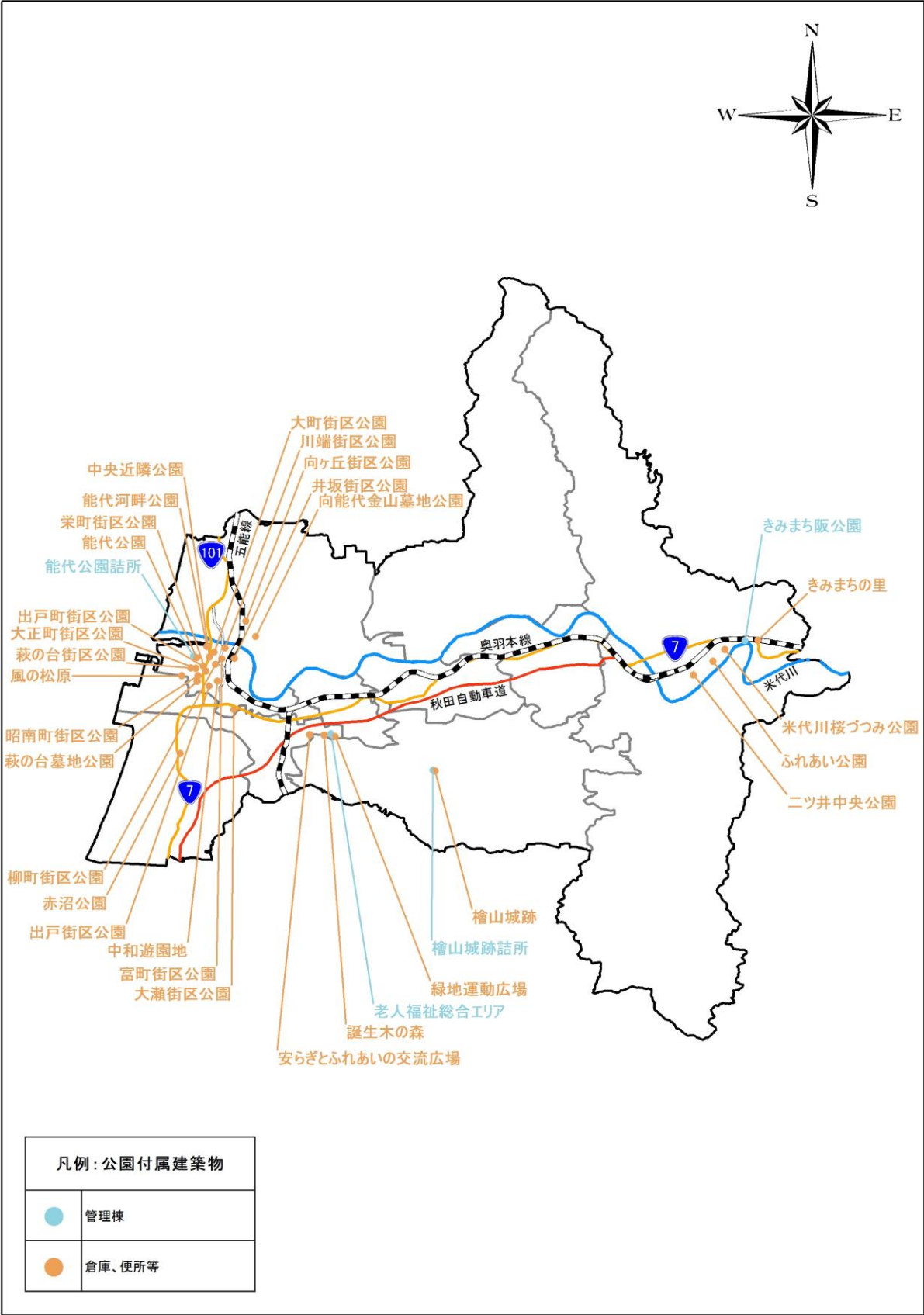
表 4-21 公園附属建築物の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
管理棟	本庁	1	能代公園詰所	直営		233	181.2	昭和 40年度	木造
	榊	2	老人福祉総合エリア	直営		10	109.1	平成 2年度	木造
	檜山	3	檜山城跡詰所	直営		67	241.7	昭和 31年度	木造
	二ツ井	4	きみまち阪公園	直営		126	90.0	平成 8年度	木造
小計						436			
倉庫、便所等	本庁	1	能代公園	直営		62	153.8	平成 14年度	木造
	本庁	2	能代河畔公園	直営		83	69.8	平成 9年度	木造
	本庁	3	柳町街区公園	直営		37	133.0	昭和 53年度	鉄筋コンクリート
	本庁	4	中央近隣公園	直営		27	143.5	平成 4年度	木造
	本庁	5	風の松原	直営		120	144.0	平成 6年度	木造
	本庁	6	富町街区公園	直営		15	93.3	平成 12年度	木造
	本庁	7	出戸町街区公園	直営		15	93.3	平成 12年度	木造
	本庁	8	栄町街区公園	直営		6	161.8	昭和 34年度	コンクリートブロック
	本庁	9	萩の台街区公園	直営		15	93.3	平成 12年度	木造
	本庁	10	大正町街区公園	直営		15	80.0	平成 14年度	木造
	本庁	11	川端街区公園	直営		6	150.0	昭和 38年度	コンクリートブロック
	本庁	12	井坂街区公園	直営		6	141.2	昭和 41年度	コンクリートブロック
	本庁	13	中和遊園地	直営		6	120.6	昭和 48年度	コンクリートブロック
	本庁	14	大瀬街区公園	直営		14	11.8	平成 22年度	コンクリートブロック
	本庁	15	昭南町街区公園	直営		15	93.3	平成 12年度	木造
	本庁	16	大町街区公園	直営		15	86.7	平成 13年度	木造
	本庁	17	出戸街区公園	直営		15	80.0	平成 14年度	木造
	本庁	18	萩の台墓地公園	直営		59	82.7	平成 5年度	軽量鉄骨造
	榊	19	安らぎとふれあいの交流広場	直営		43	140.9	平成 1年度	木造
	榊	20	誕生木の森	直営		13	147.1	平成 1年度	木造
	榊	21	緑地運動広場	直営		16	144.8	平成 3年度	木造
	向能代	22	向ヶ丘街区公園	直営		6	313.3	昭和 42年度	木造
	向能代	23	向能代金山墓地公園	直営		16	126.8	昭和 63年度	軽量鉄骨造
	檜山	24	檜山城跡	直営		10	153.7	昭和 47年度	コンクリートブロック
	浅内	25	赤沼公園	直営		93	117.6	平成 26年度	木造
	二ツ井	26	二ツ井中央公園	直営		30	41.2	平成 19年度	木造
	二ツ井	27	米代川桜づつみ公園	直営		39	147.3	平成 3年度	木造
	二ツ井	28	きみまちの里	直営		28	123.5	平成 5年度	木造
	二ツ井	29	ふれあい公園	直営		29	105.9	平成 8年度	木造
小計						852			
合計						1,288			

管理棟は、市内に 4 施設あり、延床面積は合計 436 ㎡です。

倉庫、便所等は、市内に 29 施設あり、延床面積は合計 852 ㎡です。

図 4-21 公園付属建築物の配置状況



2.2 供給処理施設の状況

表 4-22-1 供給処理施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
廃棄物処理場	向能代	1	一般廃棄物最終処分場	直営		500	61.4	平成 6 年度	鉄骨造
小計						500			
給排水施設	向能代	1	落合団地排水施設	直営		24	89.5	昭和 55 年度	鉄筋コンクリート
	向能代	2	能代温泉	直営		40	73.3	平成 15 年度	木造
	扇淵	3	能代工業団地排水機場	直営		189	81.6	昭和 58 年度	鉄筋コンクリート
	浅内	4	浜浅内地区農業集落排水処理施設	直営		244	39.5	平成 11 年度	鉄筋コンクリート
	ニツ井	5	分譲団地水道ポンプ室	直営		19	120.0	平成 8 年度	木造
	ニツ井	6	泉ポンプ室	直営		4	64.7	平成 4 年度	コンクリートブロック
	ニツ井	7	高丘住宅水道ポンプ小屋	直営		11	105.9	昭和 53 年度	コンクリートブロック
	ニツ井	8	山根住宅水道ポンプ小屋	直営		9	102.9	昭和 54 年度	コンクリートブロック
	ニツ井	9	竹原住宅水道ポンプ小屋	直営		5	85.3	昭和 60 年度	コンクリートブロック
	ニツ井	10	仁鮎簡易水道事務所	指定管理者		35	20.8	平成 21 年度	木造
	ニツ井	11	仁鮎簡易水道取水管理室	指定管理者		7	104.9	昭和 46 年度	コンクリートブロック
	ニツ井	12	仁鮎簡易水道管理室	指定管理者		48	82.9	昭和 55 年度	鉄筋コンクリート
	ニツ井	13	水道用建築物 (沢口浄水場・配水場(浄水管理棟))	直営		222	5.3	平成 24 年度	鉄筋コンクリート
	富根	14	烏野水道	直営		2	126.7	平成 7 年度	木造
小計						859			
リサイクル センター	向能代	1	リサイクルセンター	直営		760	140.9	昭和 44 年度	鉄筋コンクリート
小計						760			
合計						2,119			

廃棄物処理場は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 500 ㎡です。

給排水施設は、市内に 14 施設あり、延床面積は合計 859 ㎡です。

リサイクルセンターは、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 760 ㎡です。

表 4-22-2 供給処理施設の利用度とコストの一覧

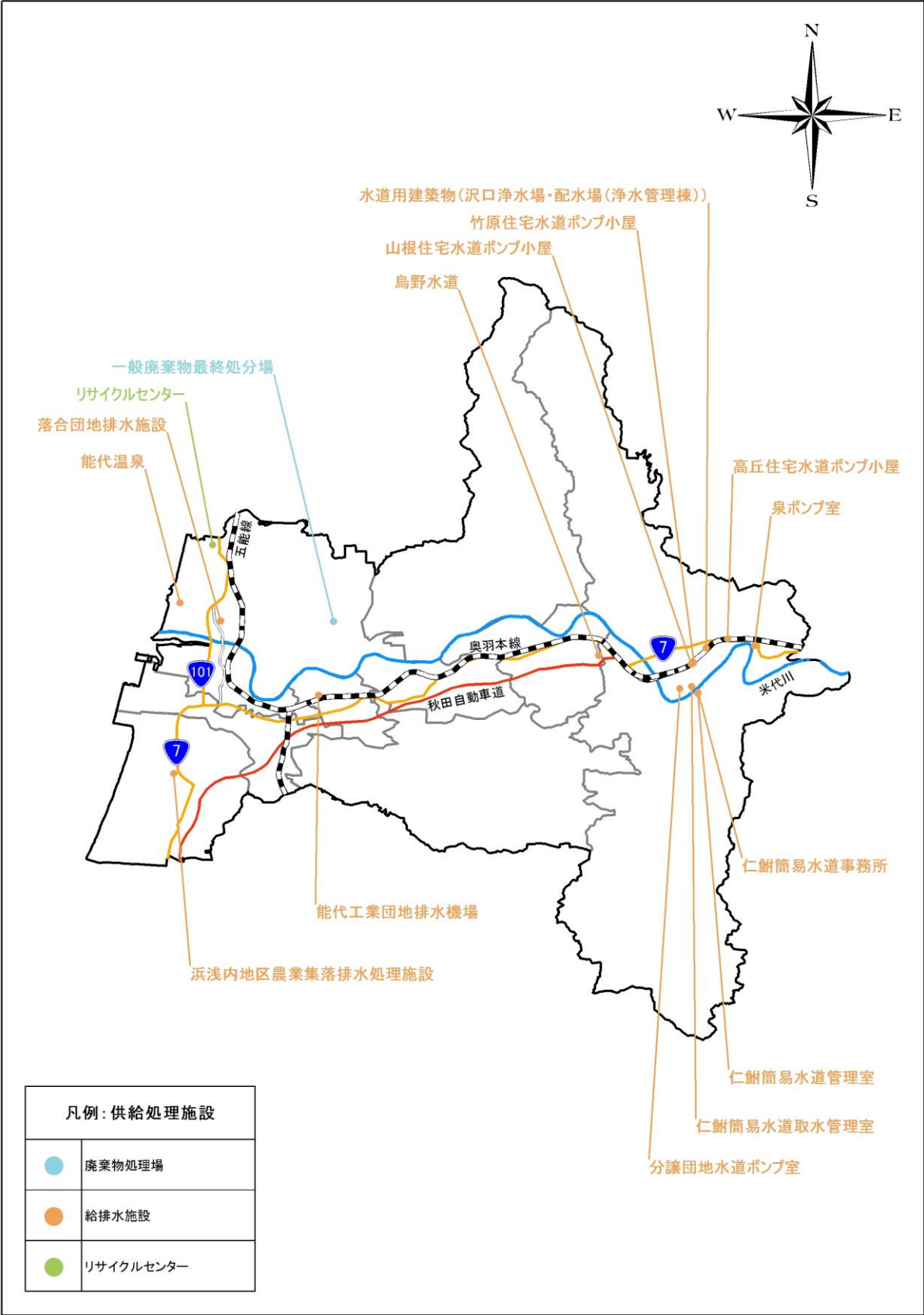
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
廃棄物処理場											
一般廃棄物最終処分場	11,110	22,195	33,306	—	—	4,413	37,719	—	25,611	12,108	—
小計	11,110	22,195	33,306	0	0	4,413	37,719	0	25,611	12,108	0
給排水施設											
落合団地排水施設	356	0	356	—	—	99	456	—	0	456	—
能代温泉	2,053	9	2,063	—	—	204	2,267	—	1,286	980	—
能代工業団地排水機場	5,428	88	5,516	—	—	790	6,306	—	0	6,306	—
浜浅内地区農業集落排水処理施設	896	5,756	6,653	—	—	1,243	7,896	—	3,455	4,440	—
分譲団地水道ポンプ室	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
泉ポンプ室	51	0	51	—	—	12	63	—	0	63	—
高丘住宅水道ポンプ小屋	0	0	0	—	—	22	22	—	0	22	—
山根住宅水道ポンプ小屋	0	0	0	—	—	18	18	—	0	18	—
竹原住宅水道ポンプ小屋	0	0	0	—	—	10	10	—	0	10	—
仁鮎簡易水道事務所	691	2,266	2,957	—	—	150	3,107	—	368	2,739	3,126
仁鮎簡易水道取水管室	691	2,266	2,957	—	—	0	2,957	—	368	2,588	3,126
仁鮎簡易水道管理室	691	2,266	2,957	—	—	215	3,172	—	368	2,804	3,126
水道用建築物(沢口浄水場・配水場 (浄水管理棟))	2,560	2,371	4,931	—	—	2,721	7,653	—	1,297	6,356	—
烏野水道	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
小計	13,419	15,025	28,445	0	0	5,488	33,933	0	7,145	26,788	9,380
リサイクルセンター											
リサイクルセンター	5,124	417	5,542	—	—	0	5,542	—	0	5,542	—
小計	5,124	417	5,542	0	0	0	5,542	0	0	5,542	0
合計	29,654	37,638	67,293	0	0	9,902	77,195	0	32,756	44,439	9,380

廃棄物処理場にかかるフルコストは 37,719 千円です。

給排水施設にかかるフルコストは 33,933 千円です。

リサイクルセンターにかかるフルコストは 5,542 千円です。

図 4-22-1 供給処理施設の配置状況

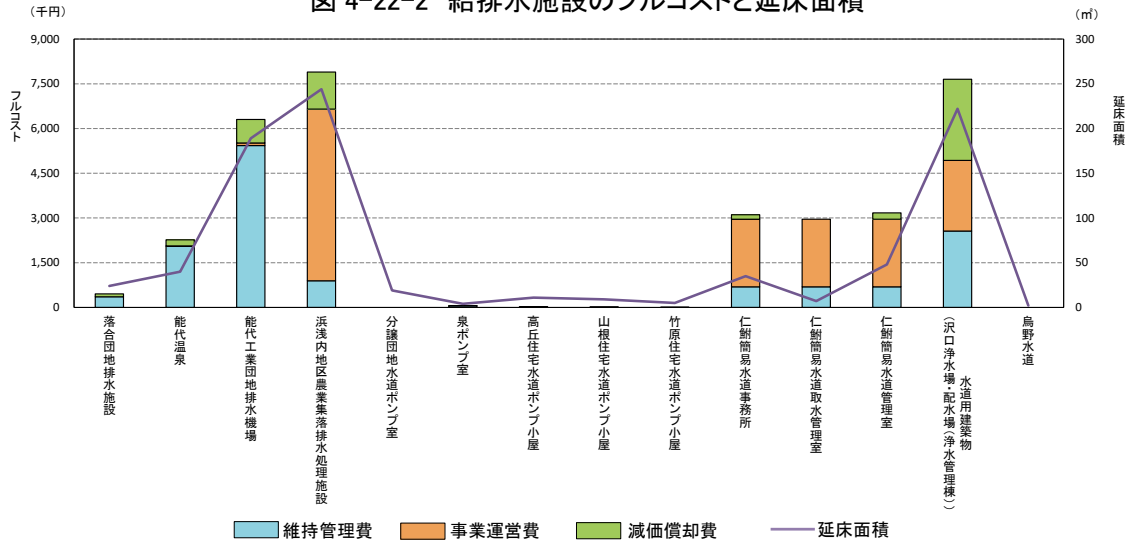


① 〔供給処理施設〕廃棄物処理場の状況

一般廃棄物最終処分場の延床面積は 500 m²です。また、フルコストは 37,719 千円です。

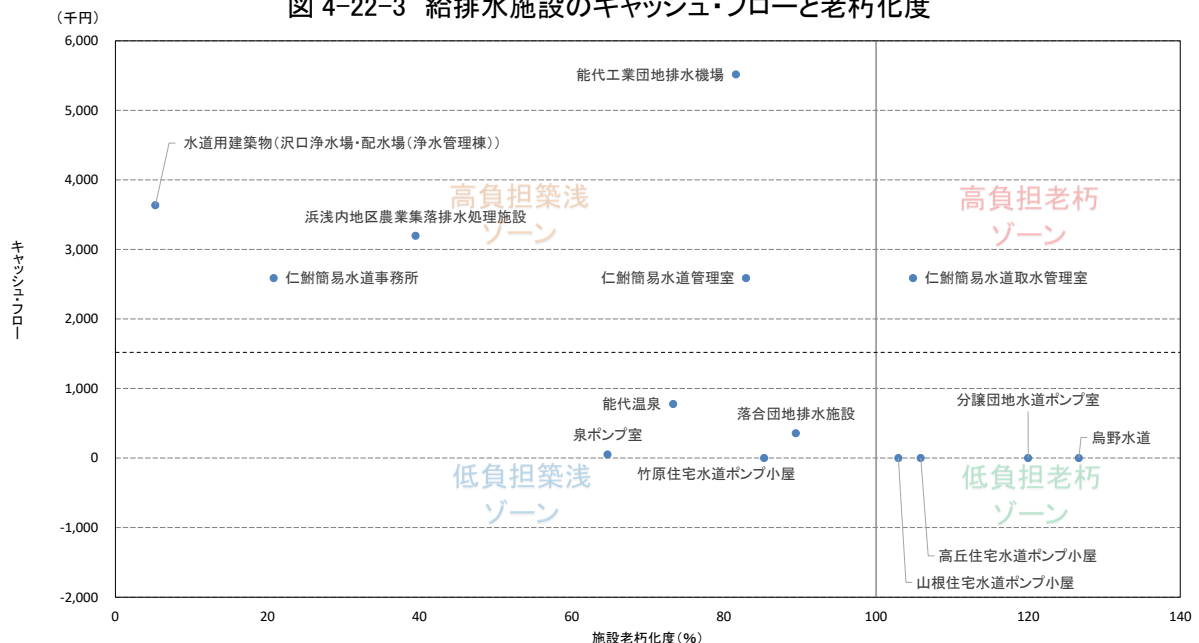
② 〔供給処理施設〕給排水施設の状況

図 4-22-2 給排水施設のフルコストと延床面積



給排水施設のうち、延床面積が最も広い施設は、浜浅内地区農業集落排水処理施設 (244 m²) であり、2 番目は水道用建築物 (沢口浄水場・配水場 (浄水管理棟)) (222 m²) です。また、フルコストが最も高い施設は、浜浅内地区農業集落排水処理施設 (7,896 千円) であり、2 番目は水道用建築物 (沢口浄水場・配水場 (浄水管理棟)) (7,653 千円) です。

図 4-22-3 給排水施設のキャッシュ・フローと老朽化度



給排水施設では、昭和 40 年代以降に多くの施設が建築されていることから、老朽化度 100% を超える施設が多くあります。どの施設もキャッシュ・フローは数百万程度と少額となっています。

③ 〔供給処理施設〕リサイクルセンターの状況

リサイクルセンターの延床面積は 760 m²です。また、フルコストは 5,542 千円です。

23 その他施設の状況

表 4-23-1 その他施設の一覧

小分類	地区	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	老朽 化度 (%)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
斎場	本庁	1	斎場	直営		1,117	34.3	平成 9年度	鉄筋コンクリート
小計						1,117			
公衆便所	本庁	1	米代川河川緑地	直営		4	95.8	平成 3年度	軽量鉄骨造
	二ツ井	2	きみまち阪リフレッシュトイレ	直営		166	60.5	平成 3年度	鉄筋コンクリート
	二ツ井	3	水沢参考林駐車場便所	直営		10	0.0	平成 26年度	木造
	二ツ井	4	七座山便所	直営		10	0.0	平成 26年度	木造
小計						190			
その他	向能代	1	旧日影小学校	直営		978	203.8	昭和 48年度	木造
	鶴形	2	鶴形保育所	直営		222	165.3	昭和 55年度	木造
	浅内	3	福田保育所	直営		193	209.5	昭和 44年度	木造
	常盤	4	旧常盤保育所	直営		328	130.9	昭和 61年度	木造
	二ツ井	5	旧二ツ井小学校	直営		5,197	254.9	昭和 32年度	木造
	二ツ井	6	旧天神小学校スキー場ヒュッテ	直営		35	241.2	昭和 48年度	木造
	二ツ井	7	環境創造資源活用事業作業所	直営		183	300.0	昭和 44年度	木造
小計						7,136			
普通財産	本庁	1	旧錦織邸	貸付		143	213.6	昭和 42年度	木造
	本庁	2	旧青少年ホーム	貸付		543	162.7	昭和 36年度	コンクリートブロック
	本庁	3	旧第3分団消防器具置場	貸付		56	147.1	昭和 39年度	コンクリートブロック
	本庁	4	旧失業対策就労者詰所	直営		60	179.2	昭和 46年度	木造
	本庁	5	旧第2分団車庫兼休憩所	貸付		55	138.2	昭和 42年度	コンクリートブロック
	本庁	6	旧能代山本労働福祉会館	直営		274	204.2	昭和 40年度	木造
	本庁	7	福祉サービスセンター	貸付		627	89.4	昭和 47年度	鉄筋コンクリート
	向能代	8	旧第6分団向能代班消防器具置場	貸付		20	326.7	昭和 40年度	木造
	向能代	9	旧身体障害者憩の家	貸付		356	188.0	昭和 47年度	木造
	向能代	10	旧向能代留守家庭児童会施設	直営		80	122.2	昭和 56年度	軽量鉄骨造
	常盤	11	旧常盤公民館山谷分館	直営		1,028	254.6	昭和 33年度	木造
	二ツ井	12	旧荷上場老人憩の家	直営		106	172.7	昭和 51年度	木造
	二ツ井	13	旧外国青年用住宅	直営		297	64.2	平成 11年度	木造
	二ツ井	14	旧仁鮎保育園	直営		632	163.0	昭和 54年度	木造
	二ツ井	15	旧法務局	直営		181	53.7	平成 4年度	コンクリートブロック
小計						4,458			
合計						12,901			

斎場は、市内に 1 施設あり、延床面積は合計 1,117 ㎡です。

公衆便所は、市内に 4 施設あり、延床面積は合計 190 ㎡です。

その他は、市内に 7 施設あり、延床面積は合計 7,136 ㎡です。

普通財産は、市内に 15 施設あり、延床面積は合計 4,458 ㎡です。

表 4-23-2 その他施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フル コスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット コスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
斎場											
斎場	16,902	16,868	33,771	887	38,074	12,594	46,366	52,273	5,723	40,643	—
小計	16,902	16,868	33,771	887	38,074	12,594	46,366	52,273	5,723	40,643	0
公衆便所											
米代川河川緑地	0	0	0	—	—	21	21	—	0	21	—
きみまち阪リフレッシュトイレ	4,320	234	4,555	—	—	693	5,249	—	0	5,249	—
水沢参考林駐車場便所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
七座山便所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
小計	4,320	234	4,555	0	0	715	5,270	0	0	5,270	0
その他											
旧日影小学校	0	15	15	—	—	302	318	—	0	318	—
鶴形保育所	16	63	80	—	—	0	80	—	0	80	—
福田保育所	7	0	7	—	—	0	7	—	0	7	—
旧常盤保育所	19	0	19	—	—	0	19	—	0	19	—
旧二ツ井小学校	13	355	369	—	—	0	369	—	0	369	—
旧天神小学校スキー場ヒュッテ	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
環境創造資源活用事業作業所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
小計	56	435	491	0	0	302	794	0	0	794	0
普通財産											
旧錦織邸	0	0	0	—	—	0	0	—	45	-44	—
旧青少年ホーム	1	0	1	—	—	0	1	—	0	1	—
旧第3分団消防器具置場	0	0	0	—	—	0	0	—	32	-32	—
旧失業対策就労者詰所	1	0	1	—	—	0	1	—	0	1	—
旧第2分団車庫兼休憩所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧能代山本労働福祉会館	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
福祉サービスセンター	14	0	14	—	—	2,484	2,498	—	0	2,498	—
旧第6分団向能代班消防器具置場	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧身体障害者憩の家	12	0	12	—	—	0	12	—	215	-203	—
旧向能代留守家庭児童会施設	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧常盤公民館山谷分館	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧荷上場老人憩の家	0	6	6	—	—	438	445	—	0	445	—
旧外国青年用住宅	0	11	11	—	—	1,187	1,198	—	0	1,198	—
旧仁鮎保育園	0	7	7	—	—	0	7	—	0	7	—
旧法務局	0	1	1	—	—	520	521	—	0	521	—
小計	31	26	57	0	0	4,630	4,688	0	293	4,395	0
合計	21,311	17,564	38,876	887	43,829	18,243	57,119	64,396	6,017	51,102	0

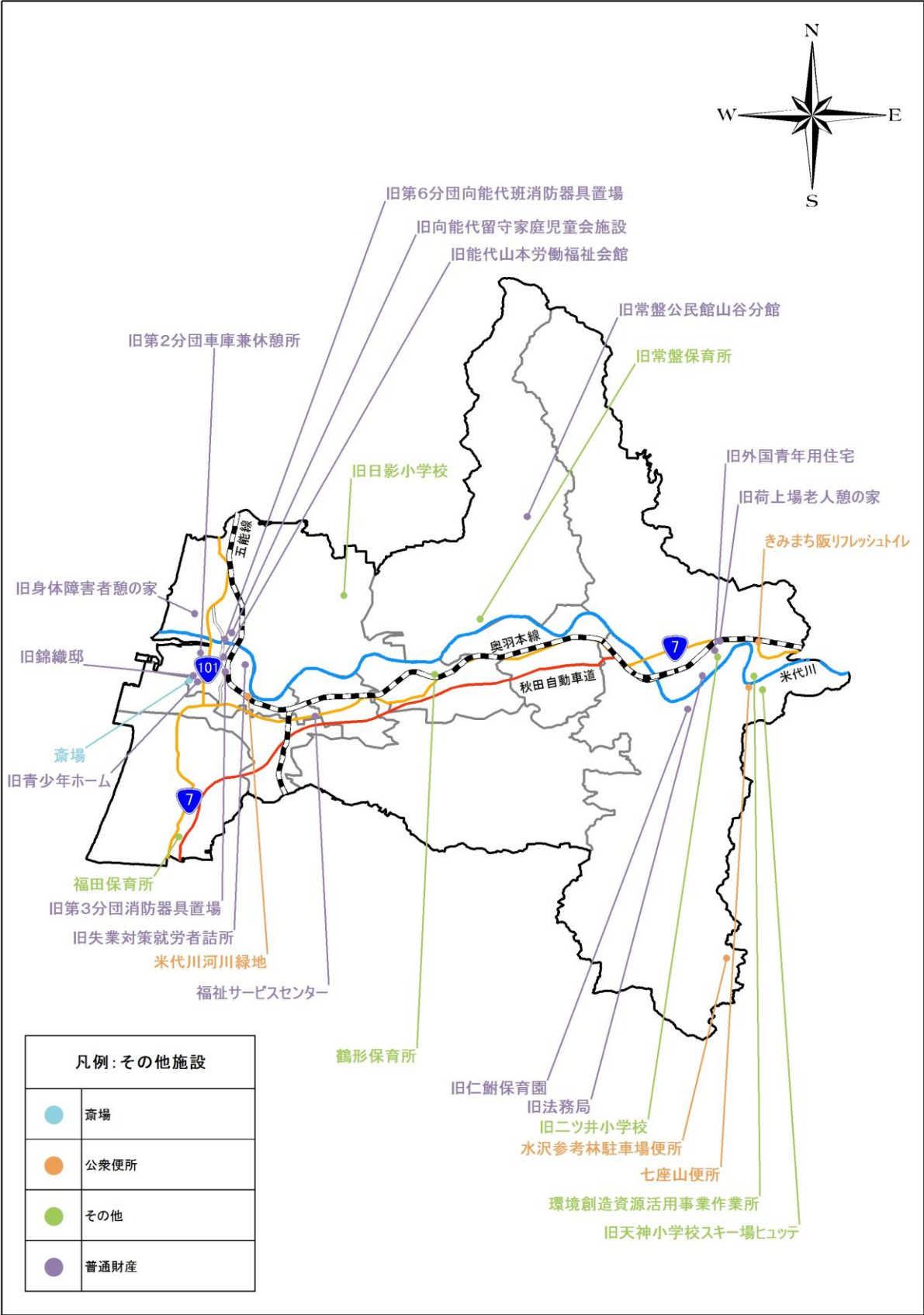
斎場の利用者数の合計は887人です。これらの施設にかかるフルコストは46,366千円です。

公衆便所にかかるフルコストは5,270千円です。

その他にかかるフルコストは794千円です。

普通財産にかかるフルコストは4,688千円です。

図 4-23-1 その他施設の配置状況

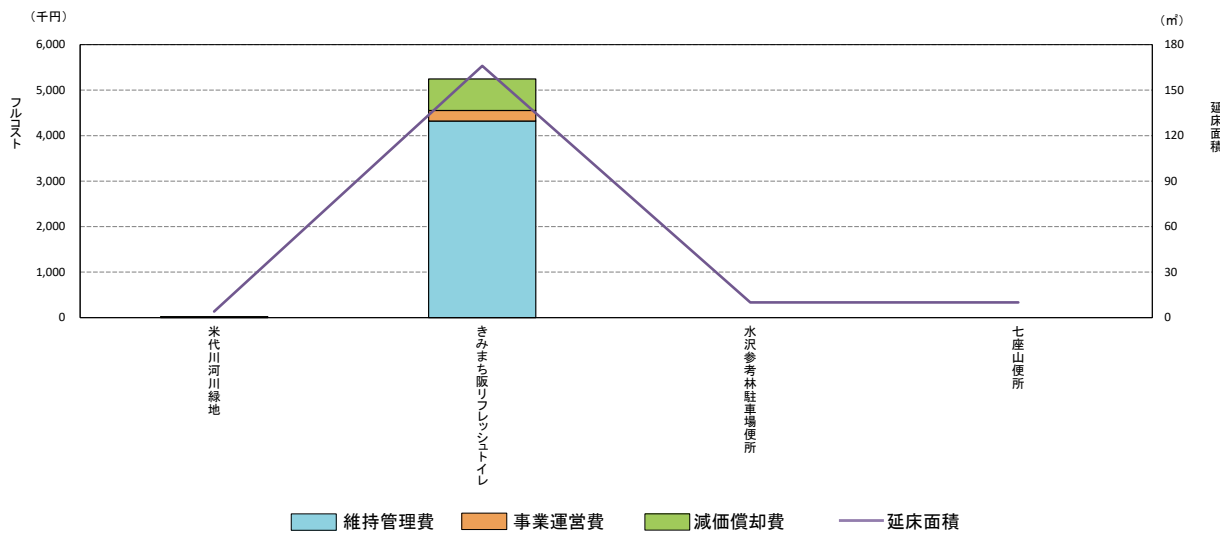


① 〔その他施設〕斎場の状況

斎場の年間の利用者数は、887 人です。また、延床面積は 1,117 m²、フルコストは 46,366 千円です。

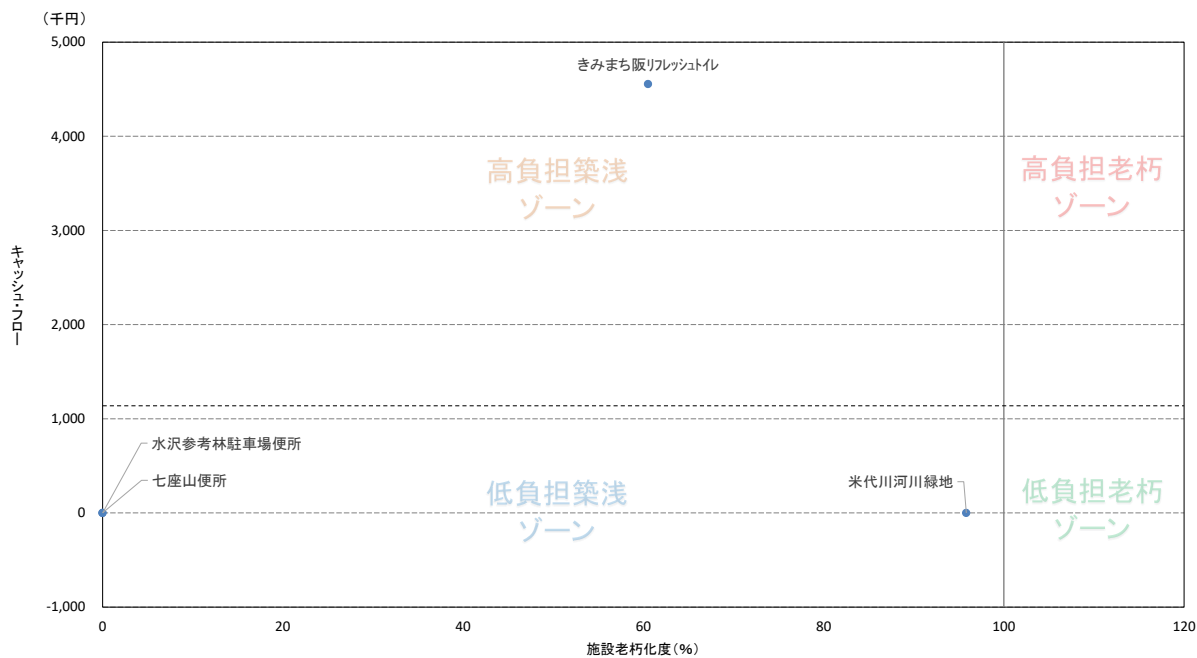
② 〔その他施設〕公衆便所の状況

図 4-23-2 公衆便所のフルコストと延床面積



きみまち阪リフレッシュトイレの延床面積、フルコストがともに最も大きくなっています。

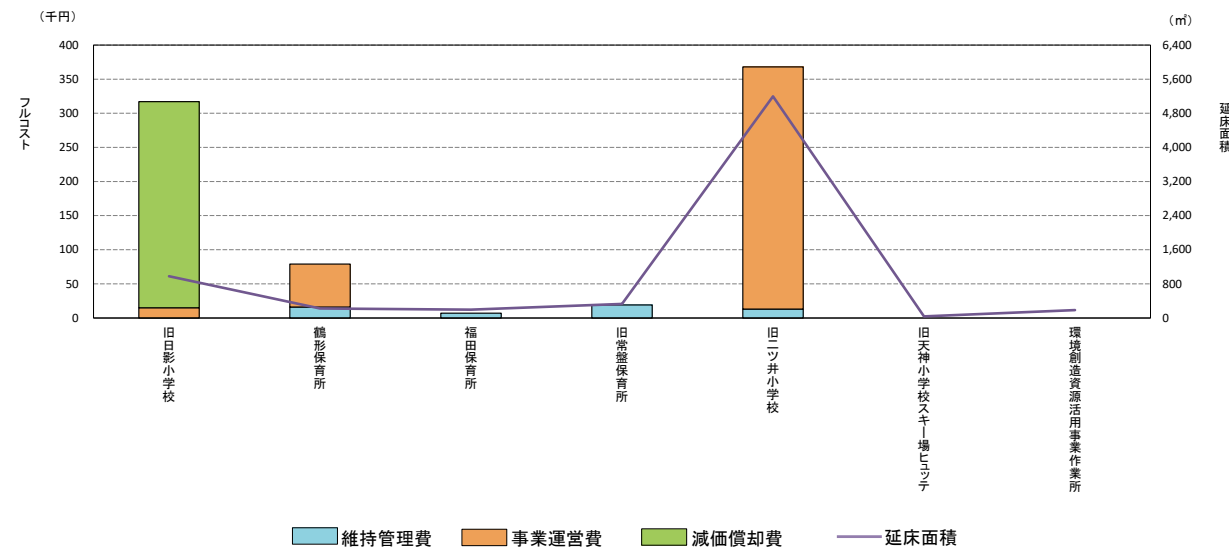
図 4-23-3 公衆便所のキャッシュ・フローと老朽化度



公衆便所では、水沢参考林駐車場便所及び七座山便所で老朽化度 100%を超えています。また、きみまち阪リフレッシュトイレは、老朽化度は低いものの、キャッシュ・フローの負担が多くなっています。

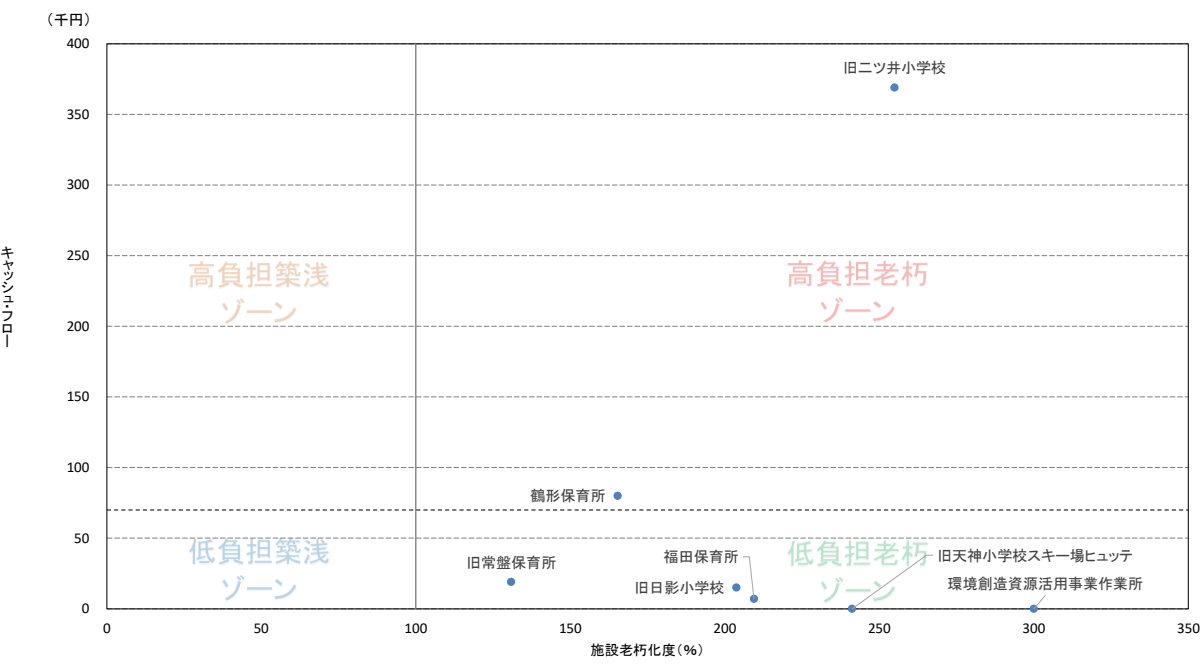
③ 〔その他施設〕その他の状況

図 4-23-4 その他のフルコストと延床面積



二ツ井小学校の延床面積、フルコストがともに最も大きくなっています。

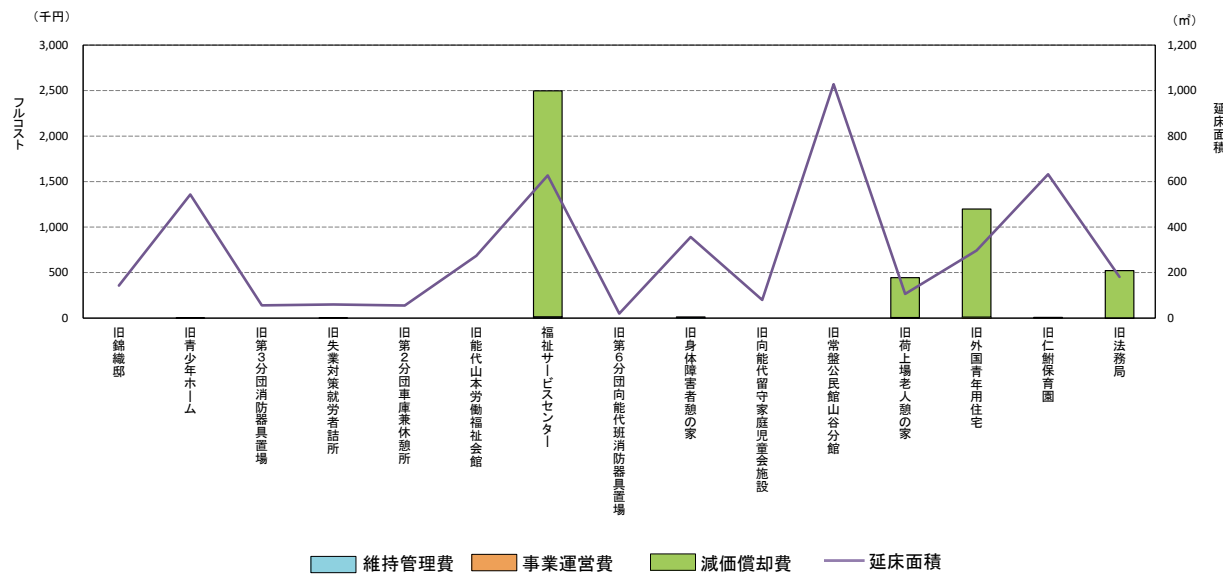
図 4-23-5 その他のキャッシュ・フローと老朽化度



その他では、すべての施設が老朽化度 100%を超えております。また、旧二ツ井小学校で、キャッシュ・フローの負担が多くなっています。

④ 「その他施設」普通財産の状況

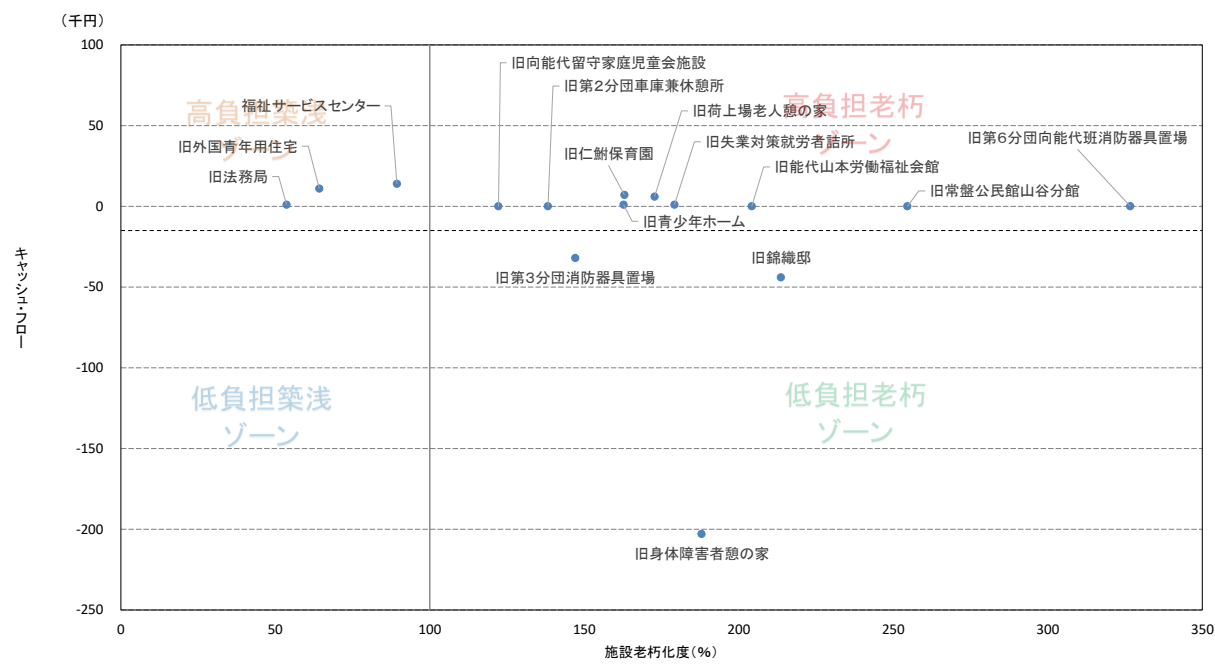
図 4-23-6 普通財産のフルコストと延床面積



普通財産のうち、延床面積が最も広い施設は、旧常盤公民館山谷分館（1,028 ㎡）であり、2 番目は旧仁鮎保育園（632 ㎡）です。

※旧常盤公民館山谷分館は、平成27年度に解体済みです。

図 4-23-7 普通財産のキャッシュ・フローと老朽化度



普通財産では、多くの施設が昭和40年代以降に建築されており、老朽化度100%を大きく超えている施設が多くあります。